

HP Designjet 4000 および 4000ps プリンタ



クイック リファレンス ガイド



i n v e n t

法律に関する注記

このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

弊社は、本マニュアルの特殊目的に対する適合性、市場性などについて、一切の保証をいたしかねます。

また、本マニュアルにおける誤り、あるいは備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。本マニュアルの内容の一部または全部を、無断でコピーしたり他の言語に翻訳することは、法律で禁止されています。

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、およびPostScript®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.のカラー標準であり、商標です。

連絡先

Hewlett-Packard Company

Inkjet Commercial Division

Avenida Graells, 50108174

Sant Cugat del Vallès

Barcelona, Spain

目次

1	はじめに	5
	このガイドの使用方法.....	5
	プリンタの主な機能.....	6
	プリンタの主なコンポーネント.....	7
	フロントパネル.....	8
	プリンタ ソフトウェア.....	10
2	プリンタを操作するには	11
	プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには.....	11
	プリンタを再起動するには.....	12
	フロントパネルの言語を変更するには.....	13
	内蔵Webサーバにアクセスするには.....	13
	内蔵Webサーバの言語を変更するには.....	15
	内蔵Webサーバをパスワードで保護するには.....	15
	特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするに は.....	16
	スリープ モード設定を変更するには.....	16
	ブザーをオフにするには.....	16
	フロントパネルのコントラストを変更するには.....	16
	測定単位を変更するには.....	17
	標高を調整するには.....	17
3	用紙を取り付けるには	19
	ロール紙をスピンドルに取り付けるには.....	19
	ロール紙をプリンタに取り付けるには.....	22
	ロール紙をプリンタから取り外すには.....	27
	カット紙を取り付けるには.....	28
	カット紙を取り外すには.....	32
	サポートされている用紙の種類を選択するには.....	32
	用紙に関する情報を表示するには.....	34
	メディア プロファイルをダウンロードするには.....	35
	HP純正用紙以外の用紙を使用するには.....	35
	乾燥時間をキャンセルするには.....	36
	乾燥時間を変更するには.....	36
4	インク システムを取り扱うには	37
	インクカートリッジを取り外すには.....	37
	インクカートリッジを取り付けるには.....	41
	プリントヘッドを取り外すには.....	43
	プリントヘッドを取り付けるには.....	47
	プリントヘッドのモニタ状況を管理するには.....	50

	プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには	50
	プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには	50
	プリントヘッドの軸合わせを行うには	56
	プリントヘッドクリーナを取り外すには	57
	プリントヘッドクリーナを取り付けるには	59
	インク システムのステータスを確認するには	60
	インクカートリッジ情報を確認するには	61
	プリントヘッド情報を確認するには	62
	プリンタの使用状況に関する情報を確認するには	62
5	印刷イメージを調整するには	63
	ページ サイズを変更するには	63
	カスタム ページ サイズを作成するには	63
	印刷品質を変更するには	65
	印刷品質設定を選択するには	65
	最高速度で印刷するには	67
	マージンを調整するには	68
	オーバーサイズ用の紙サイズに印刷するには	68
	用紙の印刷の向きを変更するには	69
	イメージを回転するには	70
	左右反転印刷を行うには	70
	イメージを拡大縮小するには	71
	パレットの設定を変更するには	72
	重なった線の処理方法を変更するには	73
	グラフィック言語の設定を変更するには	74
6	プリンタで高いカラー精度を得るには	75
	カラー キャリブレーションを実行するには	75
	黒点の補正を実行するには	76
	レンダリング用途を設定するには	77
	カラー エミュレーション モードを選択するには	78
	他のHP Designjetプリンタの印刷物と一致する印刷を実現するには	78
	Adobe Photoshop CS (HP-GL/2 & RTLドライバ) で高いカラー精度を得るには	78
	Adobe Photoshop CS (PostScriptドライバ) で高いカラー精度を得るには	83
	Adobe InDesign CSで高いカラー精度を得るには	87
	QuarkXPress 6で高いカラー精度を得るには	92
	Autodesk AutoCAD 2002で高いカラー精度を得るには	95
	Microsoft Office 2003で高いカラー精度を得るには	95
	ESRI ArcGIS 9で高いカラー精度を得るには	95
7	印刷ジョブを管理するには	99
	ジョブを送信するには	99
	ジョブを保存するには	100
	保存したジョブを印刷するには	100

目次

	ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには	100
	ジョブをキャンセルするには	101
	印刷キューを管理するには	101
	ジョブをネスティングしてロール紙を節約するには	103
8	プリンタの保守を行うには	107
	プリンタの外側のクリーニングを行うには	107
	プラテンのクリーニングを行うには	107
	プリントヘッドキャリッジを潤滑するには	110
	インクカートリッジの保守を行うには	111
	プリンタを移動または保管するには	111
	プリンタのファームウェアをアップデートするには	111
9	イメージ診断印刷を使用するには	113
	イメージ診断印刷を印刷するには	113
	イメージ診断印刷を使用するには	114
	イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには	114
	イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには	116
	イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには	119
	問題が解決されない場合には	120
10	拡張精度キャリブレーションを実行するには	121
11	印刷品質の問題	127
	一般的なヒント	127
	帯状のムラがある (イメージに横線)	128
	線が印刷されない、または細い印刷品質の問題	129
	イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる	129
	ざらつきが発生する	131
	用紙が平らになっていない	131
	触れたときに印刷が汚れる	132
	用紙にインクが残る	132
	印刷の開始近くで不具合が発生する	134
	線が段状になる	134
	線が二重または間違った色で印刷される	135
	線が連続していない問題	136
	線がぼやけている (インクが線でにじむ)	136
	線が少しゆがんでいる	137
	カラー精度の問題	137
	PANTONEカラー精度の問題	137
	他のHP Designjetと色が一致しない	139
12	イメージエラーの問題	143
	まったく印刷されない	143
	一部しか印刷されない	143
	イメージの一部が印刷されない	144
	イメージが印刷可能の範囲に小さく印刷される	145
	イメージが誤った向きに回転される	145

	イメージが左右反対に印刷される	145
	印刷が歪むまたは不鮮明になる	146
	同じシート上でイメージが別のイメージと重なる	146
	ペンの設定が適用されない	146
13	インク システムの問題	147
	インクカートリッジを取り付けられない	147
	プリントヘッドを取り付けられない	147
	プリントヘッド クリーナを取り付けられない	147
	フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換する ようにメッセージが表示される	148
	インクカートリッジのステータス メッセージが表示される	148
	プリントヘッドのステータス メッセージが表示される	148
	プリントヘッド クリーナのステータス メッセージが表示される	149
14	用紙の問題	151
	用紙が正しく取り付けられない	151
	紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)	153
	印刷物が用紙スタッカに正しく積み重ねられない	156
	プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される	156
15	その他の問題	157
	プリンタのスタートアップが完了しない	157
	フロントパネルにメッセージが表示される	158
	「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示され る	161
	「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表 示される	162
	プリンタで印刷ができない	162
	印刷ジョブがタイムアウトまで待機している	163
	プリンタの印刷が遅い	163
	コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある	164
	ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない	165
	メモリ不足エラーが発生する	165
	AutoCAD 2000でメモリ アロケーション エラーが発生する	166
	プラテン ローラーからきしみ音がする	166
16	法律情報	169
	全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000 プリンタ シリーズ	169
	Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書	173
	オープン ソースについて	174
	規格適合情報	175
	適合宣言(DECLARATION OF CONFORMITY)	178
	索引	181

1 はじめに

- 5 ページの [このガイドの使用方法]
- 6 ページの [プリンタの主な機能]
- 7 ページの [プリンタの主なコンポーネント]
- 8 ページの [フロントパネル]
- 10 ページの [プリンタ ソフトウェア]

このガイドの使用方法

[ユーザーズ ガイド] および [クイック リファレンス ガイド] は、以下の章で構成されています。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法

この章では、用紙の取り付け方法やインクカートリッジの交換方法など、さまざまな操作の手順について説明します。手順は、大部分が図を使用して説明されています。一部の手順では、アニメーションも使用されています ([ユーザーズ ガイド] のみ)。

トラブルシューティング

この章では、印刷中に発生する問題の解決方法について説明します。

詳細

[ユーザーズ ガイド] にのみ記載されています。この章では、プリンタの仕様や各種用紙の製品番号、インク サプライ品、その他のアクセサリなどのリファレンス情報を参照できます。

法律情報

この章には、HPの限定保証条項、ソフトウェア ライセンス契約、オープンソースの承認、規格適合情報、および適合宣言(DECLARATION OF CONFORMITY)が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

プリンタの主な機能

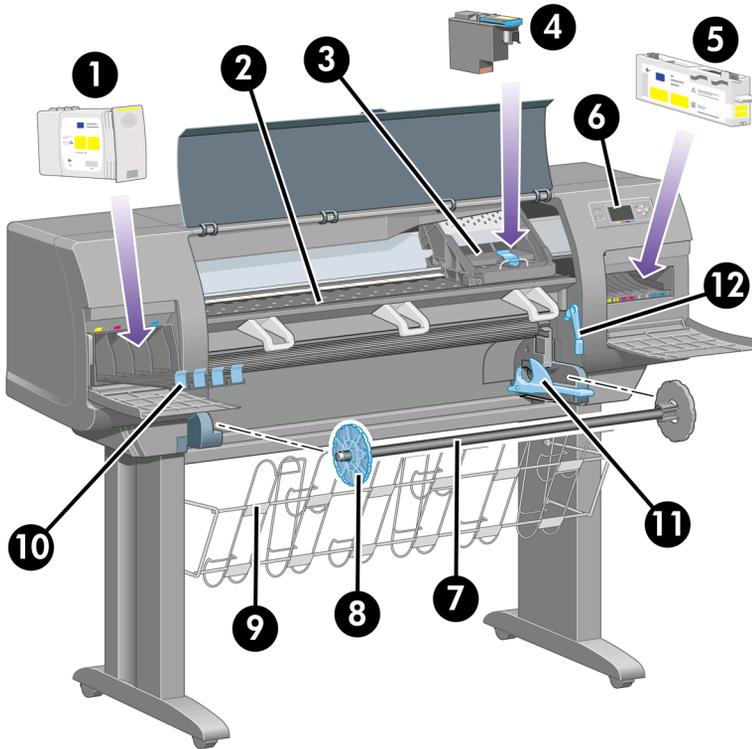
このプリンタは、最大幅1.06m (42インチ) の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- 最大印刷速度1.5m²/分 (16ft²/分) (HPスタンダード普通紙で **[高速]** 印刷品質オプションと **[描画/テキスト]** 最適化オプションを使用した場合)
- 入力時1200 × 1200dpiのイメージを最大2400 × 1200dpiの最適化された解像度で印刷 (**[高品質]** 印刷品質オプション、**[高精細]** オプション、および**[イメージ最適化]** オプションで光沢紙を使用した場合) (印刷解像度の詳細については、[ユーザーズ ガイド]の「プリンタ機能の仕様について」を参照してください)
- 400mlインクカートリッジと長さ90m (300フィート) のロール紙を使用した無人印刷が可能 (詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「インクカートリッジについて」を参照してください)
- マルチファイル ジョブ送信、ジョブのプレビュー、キューイング、ネスティングなど、プリンタの内蔵Webサーバを使用した高生産性を実現する機能 (詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「内蔵Webサーバについて」を参照してください)
- インクと用紙の使用状況を、フロントパネルおよび内蔵WebサーバによるWeb上で確認可能
- 一貫した高精度のカラーを再現するいくつかの機能
 - － 米国、ヨーロッパ、日本標準の印刷エミュレーション、およびカラー モニタのRGBエミュレーション (詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「カラー エミュレーション モードについて」を参照してください)
 - － 自動カラー キャリブレーション

プリンタの主なコンポーネント

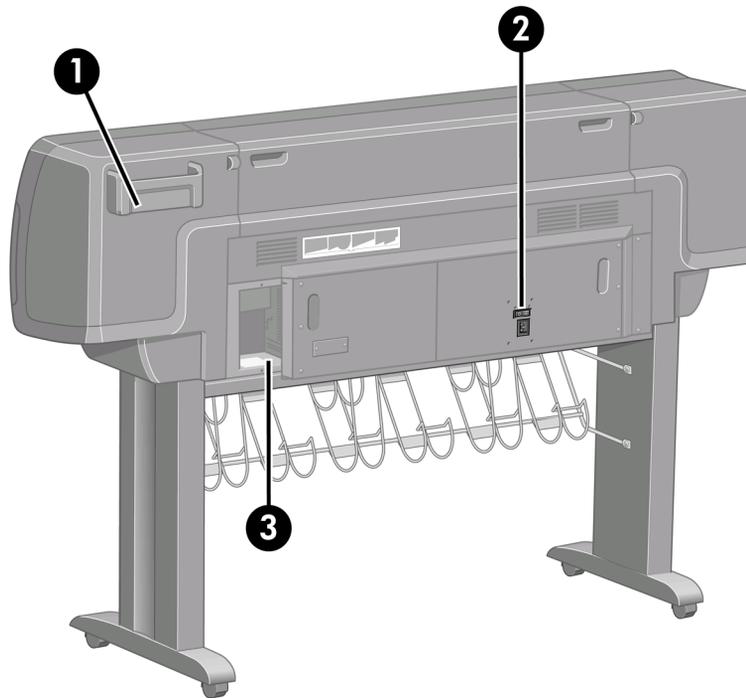
以下のプリンタ前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。

前面図



1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プrintヘッドキャリッジ
4. プrintヘッド
5. プrintヘッドクリーナ
6. フロントパネル
7. スピンドル
8. 青いストッパ (取り外し可能)
9. 用紙スタッカ
10. インクカートリッジ用の引き出し
11. スピンドル レバー
12. 用紙取り付けレバー

背面図

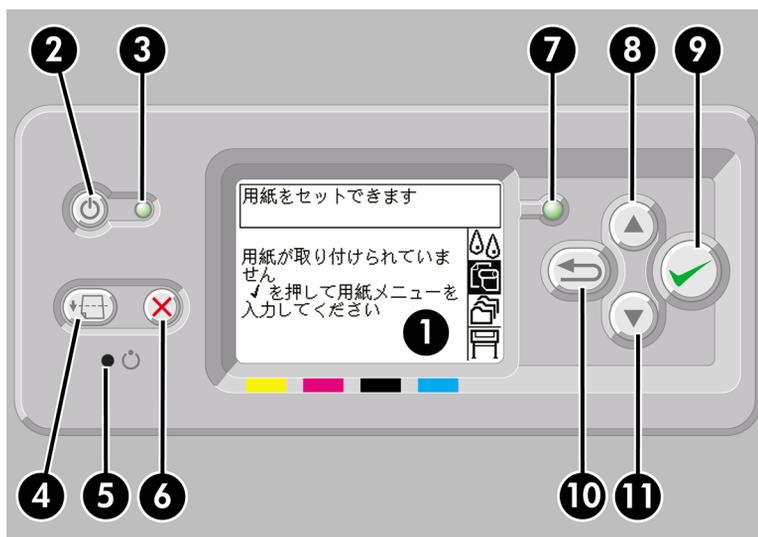


1. 『クイック リファレンス ガイド』フォルダ
2. AC電源コンセントおよび電源スイッチ
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- 用紙の取り付け、取り外しなどの操作を実行する際に使用します。
- プリンタ、インクカートリッジ、プリントヘッド、用紙、印刷ジョブのステータスに関して、最新情報が表示されます。
- プリンタの使用手順が表示されます。
- 場合に応じて、警告やエラーメッセージが表示されます。
- プリンタの設定値を変更したり、プリンタの操作を変更する際に使用します。ただし、プリンタの設定は、内蔵Webサーバやドライバの設定が優先されます。



フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. ディスプレイ部分。情報、アイコン、メニューが表示されます。
2. **電源** ボタン。プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。プリンタがスリープモードの状態にある場合は、このボタンを押すと起動します。
3. プリンタの電源がオフの状態にある場合、電源ランプは消灯しています。スリープモードの場合は黄色、電源がオンの場合は緑色に点灯し、プリンタの電源がオフからオン、またはその逆へ移行中の場合は、緑色に点滅します。
4. **排紙/カット** ボタン。通常は、カット紙が取り付けられている場合は用紙を排出し、ロール紙が取り付けられている場合はロール紙をカットします。ただし、プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合は、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、印刷可能なページが直ちに印刷されます。
5. **リセット** ボタン。プリンタを再起動します (電源ボタンをオフにして再びオンにした場合と同じです)。先の細い道具を使用して、**リセット** ボタンを押すことで実行できます。
6. **キャンセル** ボタン。現在の操作をキャンセルします。多くの場合、現在の印刷ジョブの印刷を停止する場合に使用します。
7. ステータスランプが消灯している場合は、プリンタが印刷可能な状態ではありません。電源がオフになっているか、スリープモードの状態になっています。プリンタが印刷可能な状態でアイドル中の場合は緑色に点灯し、プリンタがビジー状態の場合は緑色に点滅します。深刻な内部エラーが発生している場合は黄色に点灯し、ユーザの操作を待っている場合は黄色に点滅します。
8. **上矢印** ボタン。リストの前の項目に移動したり、数値を増やします。

9. **選択(チェックマーク)** ボタン。現在ハイライトされている項目を選択します。
10. **戻る** ボタン。前のメニューに戻ります。このボタンを繰り返し押すか、押したままにすると、直ちにメインメニューに戻ります。
11. **下矢印** ボタン。リストの次の項目に移動したり、数値を減らします。

フロントパネルのメニュー項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトするまで **上矢印** または **下矢印** ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルのメニュー項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトさせ、次に **選択(チェックマーク)** ボタンを押します。

フロントパネルの4つのアイコンは、すべてメインメニューに表示されます。アイコンを選択するかハイライトさせる場合、またはフロントパネルにアイコンが表示されていない場合は、アイコンが表示されるまで **戻る** ボタンを繰り返し押します。

このガイドで、フロントパネルの一連の項目が **[項目1] - [項目2] - [項目3]** のように記述されている場合は、**[項目1]**、**[項目2]**、**[項目3]** の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

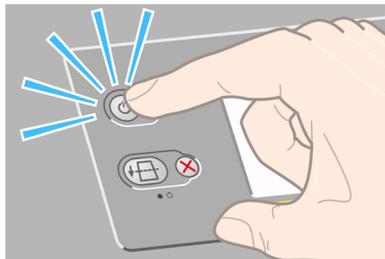
- 内蔵Webサーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでもWebブラウザを使用して印刷ジョブの送信および管理、インク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます。
- HP-GL/2およびRTLドライバ (Windows用)
- PostScriptドライバ (Windows用)
- PostScriptドライバ (Mac OS 9およびMac OS X用)
- AutoCAD 14用ADIドライバ

2 プリンタを操作するには

- 11 ページの [プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには]
- 12 ページの [プリンタを再起動するには]
- 13 ページの [フロントパネルの言語を変更するには]
- 13 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]
- 15 ページの [内蔵Webサーバの言語を変更するには]
- 15 ページの [内蔵Webサーバをパスワードで保護するには]
- 16 ページの [特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするには]
- 16 ページの [スリープモード設定を変更するには]
- 16 ページの [ブザーをオフにするには]
- 16 ページの [フロントパネルのコントラストを変更するには]
- 17 ページの [測定単位を変更するには]
- 17 ページの [標高を調整するには]

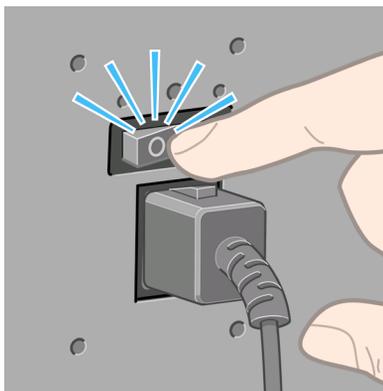
プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには

プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには、通常はフロントパネルの電源ボタンを使用することをお勧めします。



電源ボタンを使用してプリンタの電源をオフにすると、プリントヘッドが自動的にプリントヘッドクリーナと接する形で格納され、プリントヘッドの乾燥を防止します。

長期間 (丸一日以上) プリンタを使用しない場合は、電源ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチをオンにしてから、電源 ボタンを押します。

一定時間 (デフォルトでは30分) 使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、少しでも何らかの操作を行うと直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開できます。

プリンタを再起動するには

状況によって、プリンタの再起動を勧めるメッセージが表示される場合があります。その場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルの電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、しばらく待ちます。次に電源 ボタンをもう一度押します。これでプリンタが再起動されます。再起動されない場合は、手順2に進んでください。
2. フロントパネルのリセット ボタンを使用します。先の細い道具を使用して、リセット ボタンを押すことで実行できます。通常、これは手順1と同じ結果になりますが、手順1が機能しない場合にこの操作を行います。
3. 手順1と手順2のいずれを試しても再起動できない場合は、プリンタの背面にある電源スイッチをオフにします。
4. 電源コードを電源ソケットから取り外します。
5. 10秒間ほど待ちます。
6. 電源コードを電源ソケットに差し込み、電源スイッチを押してプリンタの電源を入れます。
7. フロントパネルの電源ランプが点灯しているかどうかを確認してください。点灯しない場合は、電源 ボタンを押してプリンタの電源を入れます。

フロントパネルの言語を変更するには

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更するには、まずプリンタの電源をオフにします。

1. フロントパネルで、**選択(チェックマーク)** ボタンを押します。
2. **選択(チェックマーク)** ボタンを押したままの状態、**電源** ボタンを押します。
3. フロントパネルの左側にある緑色のランプが点滅し始めるまで、両方のボタンを押したままにします。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。
4. **選択(チェックマーク)** ボタンと **電源** ボタンを放します。

フロントパネルに言語選択メニューが表示されます。



内蔵Webサーバにアクセスするには

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用されるWebブラウザから、プリンタおよび印刷ジョブをリモート管理することができます。

 **注記** 内蔵Webサーバを使用するためには、プリンタの接続方法がTCP/IPを使用したものである必要があります。プリンタの接続方法がAppleTalkまたはNovellを使用したものである場合、またはUSB接続の場合は、内蔵Webサーバは使用できません。

内蔵Webサーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 5.5以降 (Windows)
- Internet Explorer 5.2.1以降 (Mac OS 9)
- Internet Explorer 5.1以降 (Mac OS X)
- Netscape Navigator 6.01以降
- Mozilla 1.5以降
- Safari

内蔵Webサーバにアクセスするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- コンピュータ上でWebブラウザを開き、プリンタのアドレスを入力します。プリンタのアドレス (**http:**から始まる) を確認するには、フロントパネルで  アイコンをハイライトさせます。
- プリンタドライバの [サービス] タブ (Windows) または [サービス] パネル (Mac OS) から、[プリンタのステータス]、[使用できるメディアの確認]、または [プリンタのキュー管理] を選択します。
- プリンタソフトウェアがインストールされているWindows環境のコンピュータのデスクトップで、[HPプリンタ アクセス ツール] アイコンをダブルクリックして、使用するプリンタを選択します。

この手順に従っても内蔵Webサーバにアクセスできない場合は、165 ページの [ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない] を参照してください。

Mac OS X 10.3でのIP over FireWireの使用

Mac OS X 10.3環境にあり、プリンタにFireWireが接続されている場合は、プリンタのIPアドレスを設定して内蔵Webサーバを使用することができます。設定するには、以下の手順に従います。

1. [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] をクリックします。
2. [表示] ポップアップメニューから [ネットワークポート設定] を選択します。
3. [新規] をクリックし、[ポート] ポップアップメニューから [内蔵 FireWire] を選択します。新しいポート設定には、FireWireなどのように名前を付けることができます。
4. 新しいポート設定を [ポート設定] リストの先頭にドラッグします。この操作を行うことで、ポートにIPアドレスが確実に割り当てられます。
5. [今すぐ適用] をクリックします

FireWireポート設定を [ポート設定] リストの先頭にドラッグしなかった場合は、[IPv4を設定] ポップアップメニューから [手入力] (または [DHCPを使ってアドレスを手入力]) を選択し、IPアドレスを入力します。IP over FireWireを有効にする方法の詳細または最新情報については、<http://www.apple.com/jp/> を参照してください。

FireWireを使用してプリンタが接続されている場合は、FireWireモジュールを使用してプリンタを追加することをお勧めします。FireWire印刷を十分に活用でき、IP over FireWireのみを使用してプリンタの内蔵Webサーバにアクセスできるようになります。

FireWire経由で接続されたプリンタがファストイーサネットまたはギガビットイーサネット経由でもネットワークに接続されている場合は、プリンタのIP over FireWireを使用することも、[プリンタ] ダイアログ ボックスから内蔵

Webサーバにアクセスすることもできません。ただし、FireWireを使用して印刷を行うことはできます。

また、プリンタをFireWireで共有している場合も、リモートユーザは、[プリンタ] ダイアログ ボックスから内蔵Webサーバにアクセスすることはできませんが、印刷を行うことはできます。

内蔵Webサーバの言語を変更するには

内蔵Webサーバは、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語に対応しています。Webブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されません。内蔵Webサーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Webブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorerのバージョン6を使用している場合は、[ツール] メニューに移動し、[インターネット オプション] を選択して、次に [言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

内蔵Webサーバをパスワードで保護するには

1. 内蔵Webサーバで、[設定] タブにある [セキュリティ] ページに移動します。
2. 使用するパスワードを [新しいパスワード] フィールドに入力します。
3. 確認のため、[パスワードの確認] フィールドにもう一度入力します。
4. [パスワードの設定] をクリックします。

これで、パスワードを入力しない限り、内蔵Webサーバで以下の操作を実行できなくなります。

- キュー内の印刷ジョブの管理 (キャンセル、削除)
- 印刷ジョブのプレビュー表示
- 保存ジョブの削除
- アカウンティング情報のクリア
- プリンタのファームウェアのアップデート



注記 パスワードを忘れてしまった場合は、165 ページの [ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない] を参照してください。

特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするには

1. 内蔵Webサーバで、[設定] タブにある [メール サーバ] ページに移動し、以下のフィールドが正しく入力されていることを確認します。
 - [SMTP サーバ] : プリンタから送信されるすべての電子メールメッセージを処理する送信メールサーバ (SMTP) のIPアドレスです。メールサーバに認証が必要な場合は、電子メール通知は機能しません。
 - [プリンタのメールアドレス] : プリンタから送信される各電子メールメッセージには、返信用アドレスを含める必要があります。このアドレスは実際には機能しなくても、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。
2. [設定] タブにある [通知] ページに移動します。
3. [新規] をクリックして新しい通知を要求するか、[編集] をクリックして既存の通知を編集します。通知が送信される先の電子メールアドレスを入力し、発生した場合に通知メッセージを送信する項目を選択します。一般的に最もよく指定される項目が初めに表示されます。すべてを表示するには、[すべてのアラートを表示] ボタンをクリックします。

スリープモード設定を変更するには

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープモードへ移行します。プリンタがスリープモードへ移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [スリープモード待ち時間] を選択します。

ブザーをオフにするには

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [ブザー] を選択します。

フロントパネルのコントラストを変更するには

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [コントラスト] の順に選択して、上矢印または下

矢印 ボタンで値を選択します。選択したら、**選択(チェックマーク)** ボタンを押して、その値を設定します。

測定単位を変更するには

フロントパネルに表示される測定単位を変更するには、 アイコンを選択し、次に **[設定メニュー] - [単位の選択]** を選択して、**[インチ]** または **[メートル]** を選択します。

標高を調整するには

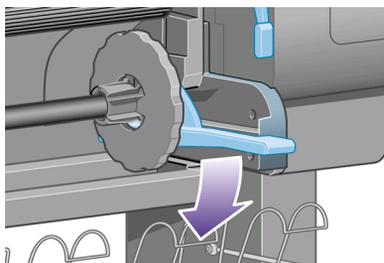
およその値でも標高を設定しておくことで、プリンタの動作が向上します。標高を設定するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に **[設定メニュー] - [標高]** を選択して、範囲を選択します。

3 用紙を取り付けるには

- 19 ページの [ロール紙をスピンドルに取り付けるには]
- 22 ページの [ロール紙をプリンタに取り付けるには]
- 27 ページの [ロール紙をプリンタから取り外すには]
- 28 ページの [カット紙を取り付けるには]
- 32 ページの [カット紙を取り外すには]
- 32 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]
- 34 ページの [用紙に関する情報を表示するには]
- 35 ページの [メディア プロファイルをダウンロードするには]
- 35 ページの [HP純正用紙以外の用紙を使用するには]
- 36 ページの [乾燥時間をキャンセルするには]
- 36 ページの [乾燥時間を変更するには]

ロール紙をスピンドルに取り付けるには

1. プリンタのキャストがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。
2. スピンドル レバーを下げます。



3. まずスピンドルの右端 (1) をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端 (2) を取り外します。このとき、右端を先に引き出します。

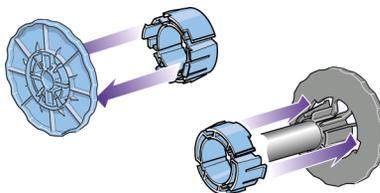


スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストッパが付いています。左端の青いストッパは、新しいロール紙を取り付けるために取り外すことができます。また、どのような幅のロール紙でも固定できるように、スピンドルに沿ってスライドさせることができます。

4. スピンドルの左端から青いストッパ (1) を取り外します。



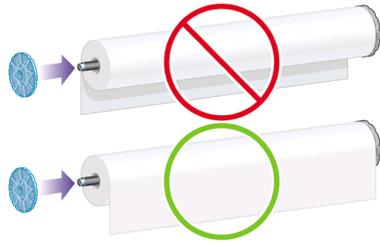
5. 厚紙製3インチ芯のロール紙を使用する場合は、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます。下の図を参照してください。



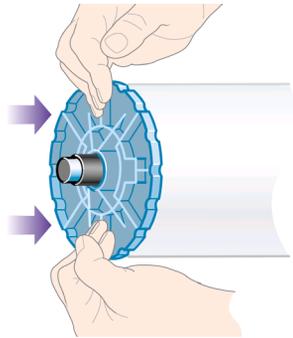
6. ロール紙は非常に長いため、スピンドルは台に水平に置き、その台の上で取り付けるようにしてください。この作業には、2人必要になる場合があります。
7. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、再度取り付け直します。



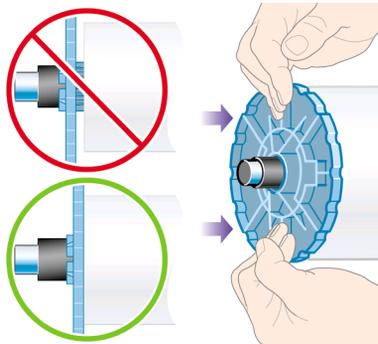
注記 スピンドルのラベルにも、正しい向きが表示されています。



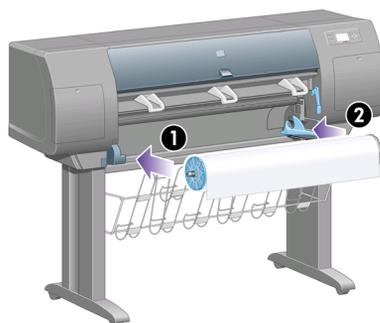
8. スピンドルの左端に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



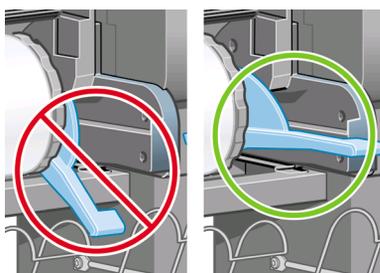
9. ロール紙の端に突き当たるまで押し込みます。無理やり押し込まないようにしてください。



10. 青いストッパを左側にして、図の矢印 (1) と (2) が示すように、スピンドルの左側をまずプリンタに差し込み、次に右側を差し込みます。



11. スピンドルの右端が所定の位置にあるかどうかは、スピンドル レバーの位置が上 (水平) になっているかどうかで確認できます。必要に応じて、レバーを動かしてください。

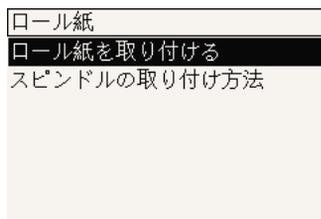


さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます。

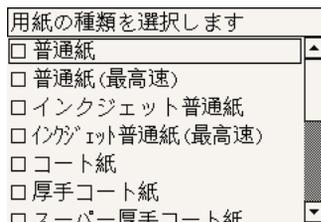
ロール紙をプリンタに取り付けるには

 **注記** この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。詳細は、19 ページの [ロール紙をスピンドルに取り付けるには] を参照してください。

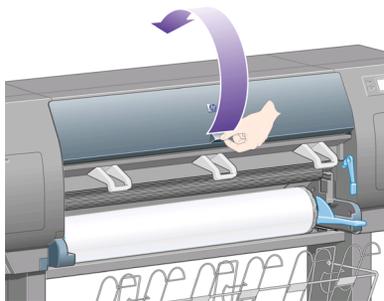
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [ロール紙] - [ロール紙を取り付ける] を選択します。



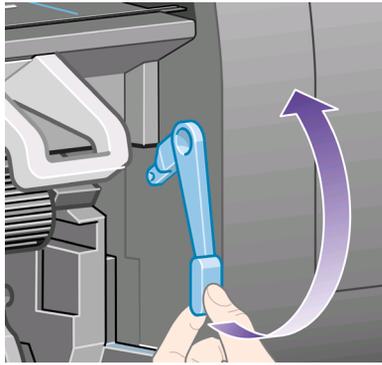
2. フロントパネルに、用紙の種類の一覧が表示されます。



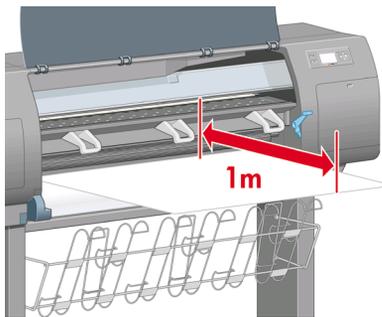
3. 使用する用紙の種類を選択します。どれを選択すべきか分からない場合は、32 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには] を参照してください。
4. しばらくすると、フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。



5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。



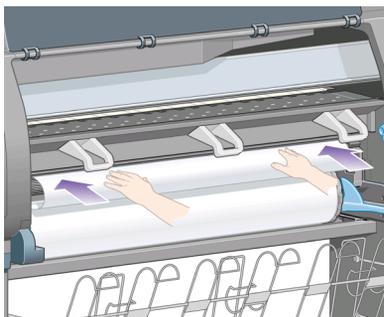
6. 用紙を1m (3フィート) ほど引き出します。



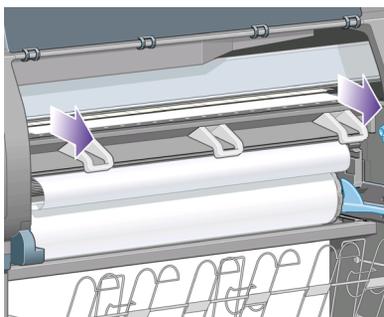
7. ロール紙の先端を、黒いローラーの上に慎重に挿入します。

 **警告 1** 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

警告 2 プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。

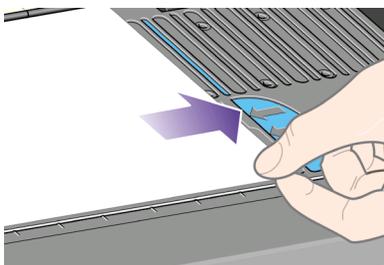


8. そのまましばらくすると、用紙が下の図のようにプリンタから出てきます。

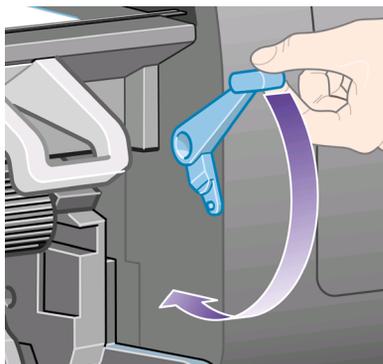


注記 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、151 ページの [用紙が正しく取り付けられない] を参照してください。

9. 用紙の右端を、プラテンの右側にある青い線と半円マークの左端の位置に合わせます。



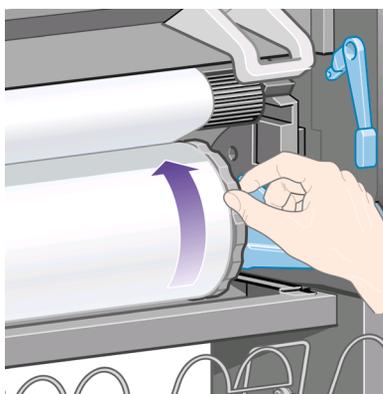
10. 用紙を青い線と半円の位置に正しく合わせたら、用紙取り付けレバーを下げます。



11. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すよう要求するメッセージが表示されます。



12. 用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直します。それには、ストッパを使用してロール紙を図の方向に回転させます。



13. ウィンドウを閉じます。
14. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すよう要求するメッセージが再度表示されます。

ロール紙を取り付けています
余分なロール紙を巻き取り、
印刷時のイメージ品質の劣化を
防ぎます

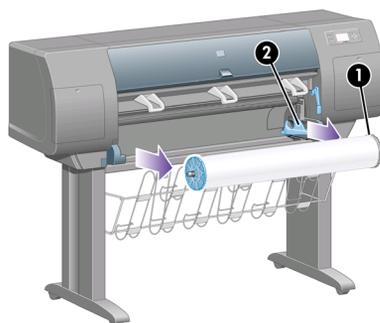
✓ を押して続けます

15. 使用する用紙の種類でまだキャリブレーションが行われていない場合、カラーキャリブレーション機能がオンになっていると、ここでカラーキャリブレーションが実行されます。詳細は、75ページの[カラーキャリブレーションを実行するには]を参照してください。
16. フロントパネルに、[印刷可能です]というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。

ロール紙をプリンタから取り外すには

ロール紙の残りが30cm以上ある場合は、以下の手順に従います。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [用紙を取り外す] を選択します。
2. 通常は、これでプリンタから用紙が排出されます。
用紙が自動的に排出されない場合は、フロントパネルに表示されるメッセージに従い、用紙取り付けレバーを持ち上げ、ストッパ(1)を手で回してプリンタの内部から用紙を完全に取り外します。用紙を取り外したら、用紙取り付けレバーを下げます。
3. 用紙ストッパ(1)を手で回して、用紙をロールに完全に巻きつけます。
4. **選択(チェックマーク)** ボタンを押します。
5. スピンドルレバー(2)を押し下げ、プリンタからロール紙を取り外します。このとき、右端を先に引き出します。



ロール紙の残りが30cm以下の場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで **[用紙を取り外す]** を選択した場合は、**キャンセル** ボタンを押して、操作をキャンセルします。
2. 用紙取り付けレバーが下向きになっていることを確認して、**排紙/カット** ボタンを2回(または用紙が排出されるまで) 押します。
3. 用紙取り付けレバーを上げて、用紙を手動で引き出します。
4. スピンドル レバー (2) を押し下げ、プリンタからスピンドルを取り外します。このとき、右端を先に引き出します。

カット紙を取り付けるには

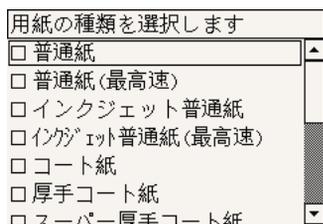
カット紙を取り付けるには、その前にロール紙を取り外す必要があります。詳細は、27 ページの **[ロール紙をプリンタから取り外すには]** を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[カット紙]-[カット紙を取り付ける]** を選択します。

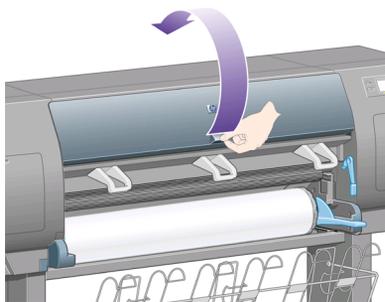


注記 このオプションを選択する場合も、**選択(チェックマーク)** ボタンを押す必要があります。

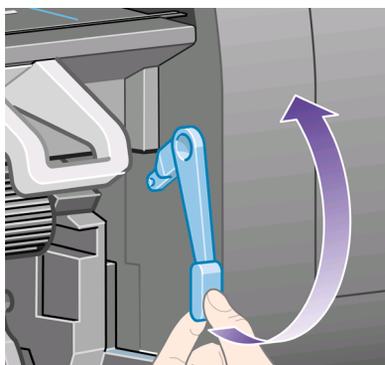
2. フロントパネルに、用紙の種類のリストが表示されます。



3. 使用する用紙の種類を選択します。どれを選択すべきか分からない場合は、32 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには] を参照してください。
4. しばらくすると、フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。



5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。



6. 下の図のように、カット紙をプリンタに挿入します。



7. 下の図のように、用紙の先端がプリンタから出てくるまで挿入します。

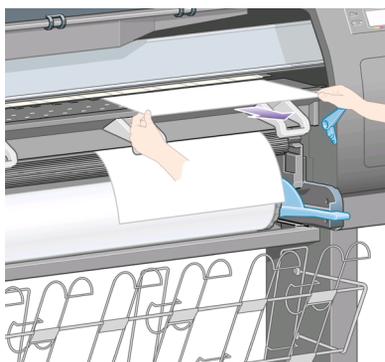


警告 1 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

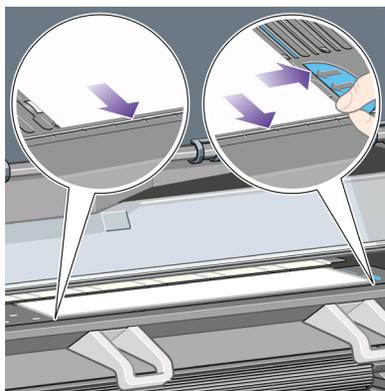
警告 2 プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。



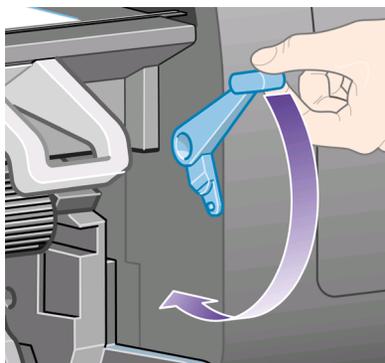
8. 上の位置からカット紙を引き出します。



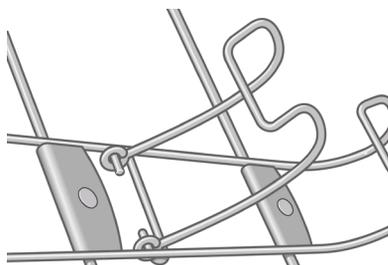
9. 用紙の先端を、プラテンの棒状の金属突起に合わせます。
用紙の右端は、下の図のようにプラテン上の半円マークの左端の位置に合わせます。



10. ウィンドウを閉じます。
11. 用紙取り付けレバーを下げます。



12. 用紙が正しく取り付けられた場合は、フロントパネルに[印刷可能です]というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。用紙の取り付け位置や合わせ方に問題がある場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。
13. 長さが900mm未満の用紙 (最大A1サイズ) に印刷する場合は、用紙スタックの3つの可動式ストッパを起こします。



 **注記 1** カット紙に印刷する場合は、印刷品質を **[標準]** または **[高品質]** に選択することをお勧めします。詳細については、65 ページの **[印刷品質を変更するには]** を参照してください。

注記 2 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、151 ページの **[用紙が正しく取り付けられない]** を参照してください。

カット紙を取り外すには

プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[用紙を取り外す]** を選択します。

インクを乾かすため、カット紙はプリンタにしばらく保持されます (詳細は、**[ユーザズ ガイド]**の「乾燥時間について」を参照してください)。

サポートされている用紙の種類を選択するには

次の表に、このプリンタで使用できるHPの用紙の種類と、用紙を取り付けるときにフロントパネルで選択する表示名を示します。推奨する用紙の種類は、十分に検査されており、このプリンタで使用した場合に最高品質の印刷を実現できることが確認されています。その他のサポートされている用紙の種類は、このプリンタで使用できますが、最高品質の印刷は保証されません。用紙の製品番号、幅、重量については、**[ユーザズ ガイド]**の「注文できる用紙について」を参照してください。

 **注記** 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/go/designjet>を参照してください。

推奨する用紙の種類

製品名	フロントパネルでの表示名
HPインクジェット普通紙	インクジェット普通紙 インクジェット普通紙(最高速)
HPマットフィルム	マット フィルム
HPクリア フィルム	クリアフィルム
HPモノクロ&カラー トレーシング ペーパー	トレーシングペーパー
HP半透明ボンド紙	半透明ボンド紙
HPベラム紙	ベラム紙
HPコート紙	コート紙
HP厚手コート紙	厚手コート紙
HP厚手コート紙 (long roll)	厚手コート紙
HP光沢フォト用紙2	光沢フォト用紙2
HP半光沢フォト用紙2	光沢フォト用紙2
HP Photo Paper RC Matte	光沢フォト用紙
HP Proofing Paper RC Satin	光沢フォト用紙
HPスタンダード光沢フォト用紙	光沢フォト用紙
HPスタンダード半光沢フォト用紙	光沢フォト用紙
HPスタンダード普通紙	普通紙 普通紙(最高速)

その他のサポートされている用紙の種類

製品名	フロントパネルでの表示名
HP Polyester Film Opaque White Glossy	光沢フォト用紙
HPスタンダード コート紙	インクジェット普通紙 インクジェット普通紙(最高速)
HPスタンダード厚手コート紙	厚手コート紙

その他のサポートされている用紙の種類 (続き)

製品名	フロントパネルでの表示名
HPスタンダードスーパー厚手コート紙	スーパー厚手コート紙
HPバナーマテリアル (Tyvek)	スーパー厚手コート紙
HPビニール (粘着タイプ)	光沢フォト用紙
HP Backlit Film Reverse Print Matte	マット フィルム
HPキャンバス	キャンバス(140g)
HP Outdoor Billboard Paper Blue Back	スーパー厚手コート紙
HP Canvas Matte	キャンバス(140g)
HP Outdoor Paper	スーパー厚手コート紙
HP Canvas Paper 140 gsm	キャンバス(140g)
HP Canvas Paper 180 gsm	キャンバス(140g)
HP Fine Art Paper、Aquarella	スーパー厚手コート紙
HP Fine Art Paper、Cream	スーパー厚手コート紙
HP Fine Art Paper、Sahara	スーパー厚手コート紙
HP Indoor Paper Self-Adhesive	スーパー厚手コート紙

用紙に関する情報を表示するには

プリンタのフロントパネルで、 または  アイコンをハイライトさせます。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- 給紙方法 (ロール紙またはカット紙)
- 用紙の製造者名
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅の全長 (mm) (プリンタが測定できる場合)

用紙が取り付けられていない場合は、[用紙が取り付けられていません。選択 (チェックマーク) ボタンを押して用紙メニューを入力してください] というメッセージが表示されます。

内蔵Webサーバの [サプライ品] ページにも、製造者名を除いて同じ情報が表示されます。

メディア プロファイルをダウンロードするには

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があります。最適な印刷品質を実現するため、使用する用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。たとえば、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もあります。したがって、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細を「メディア プロファイル」といいます。メディア プロファイルには、用紙の色の特徴を記述するICCプロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれます。このプリンタの既存のメディア プロファイルは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙をリストにして表示するとスクロールに不便と考えられるため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のみが用意されています。メディア プロファイルのない種類の用紙を購入した場合、フロントパネルでその用紙の種類は選択できないはずで、該当するメディア プロファイルをダウンロードするには、<http://www.hp.com/support/designjet-downloads/>にアクセスし、プリンタ名を選択して、[icc プロファイル]を選択します。

必要なメディア プロファイルがWeb上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください。詳細は、111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]を参照してください。

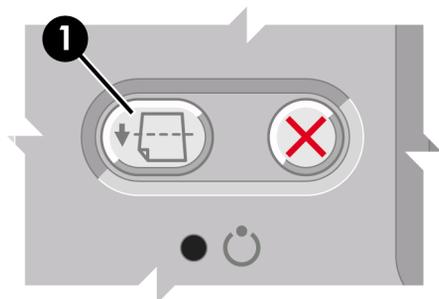
HP純正用紙以外の用紙を使用するには

HP純正用紙は、このプリンタでの使用について完全にテスト済みであるため、最高の印刷品質を期待いただけます。

しかし、他のメーカーの用紙にも印刷は可能です。その場合は、フロントパネルで、使用する用紙に最も近い種類のHP純正用紙を選択してください。結果が不確かである場合は、複数の異なるHP純正用紙の設定を試してみ、最も適した印刷品質になる設定を選択してください。どの用紙でも印刷結果に完全に満足できない場合は、127 ページの [一般的なヒント]を参照してください。

乾燥時間をキャンセルするには

フロントパネルの 排紙/カット ボタン (1) を押します。



△ 注意 乾燥時間が足りないと、印刷品質が低下することがあります。

乾燥時間を変更するには

印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

△△ アイコンを選択し、次に [乾燥時間の設定] - [乾燥時間] を選択します。次に、[長い]、[最適]、[短い]、[なし] のいずれかを選択します。



詳細は、[ユーザズ ガイド]の「乾燥時間について」を参照してください。

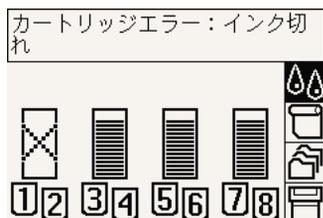
4 インク システムを取り扱うには

- 37 ページの [インクカートリッジを取り外すには]
- 41 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]
- 43 ページの [プリントヘッドを取り外すには]
- 47 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]
- 50 ページの [プリントヘッドのモニタ状況を管理するには]
- 50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには]
- 50 ページの [プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには]
- 56 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]
- 57 ページの [プリントヘッドクリーナを取り外すには]
- 59 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けるには]
- 60 ページの [インク システムのステータスを確認するには]
- 61 ページの [インクカートリッジ情報を確認するには]
- 62 ページの [プリントヘッド情報を確認するには]
- 62 ページの [プリンタの使用状況に関する情報を確認するには]

インクカートリッジを取り外すには

インクカートリッジを取り外す場合として、2通りが考えられます。

- インクカートリッジの残量がかなり低いため、無人印刷を行うには十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合 (交換前のカートリッジに残っているインクは、都合の良いときに使い切ることができます)。
- インクカートリッジが空になったか、または、インクカートリッジに問題があり、交換しないと印刷を続けられない場合。

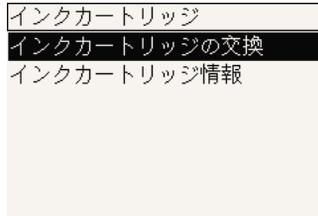


△ 注意 1 印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

注意 2 インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してからにしてください。

! 警告 プリンタのキャストがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

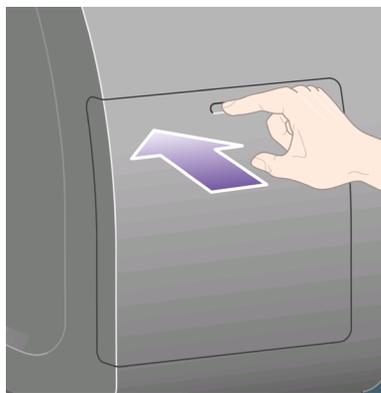
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、[インクカートリッジ]-[インクカートリッジの交換] を選択します。



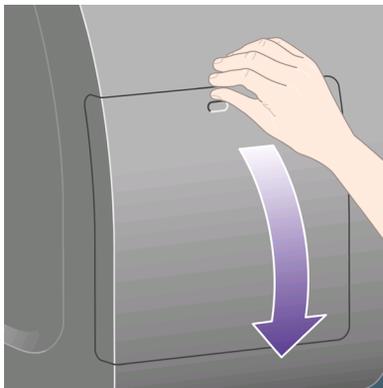
2. インクカートリッジは、プリンタの左側に取り付けます。



3. カチッと音がするまでドアの上部を押して、ドアを緩めます。



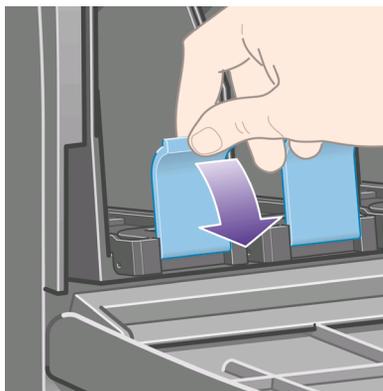
4. ドアを引いて完全に開きます。



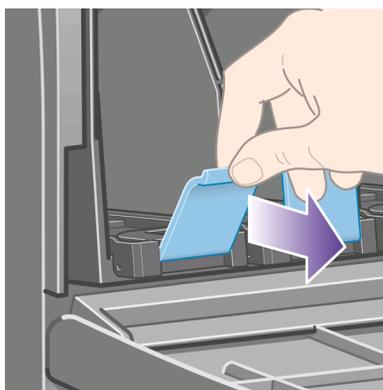
5. 取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。



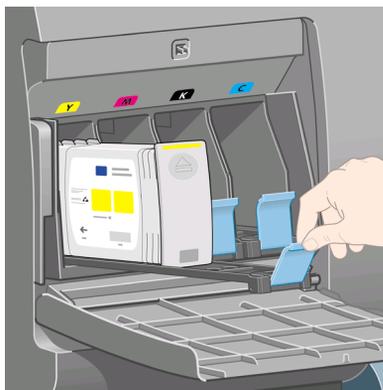
6. 青いタブを下げます。



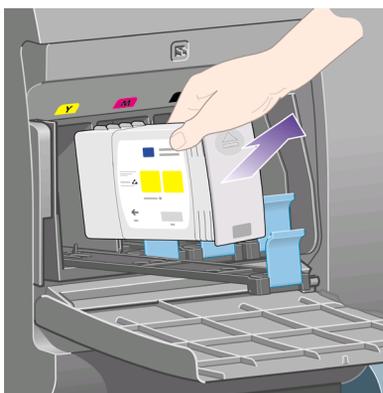
7. 次に、タブを手前に引きます。



8. カートリッジが引き出しに載って出てきます。



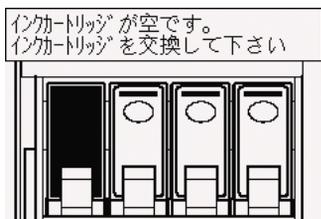
9. インクカートリッジを引き出しから取り出します。



注記 1 プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

注記 2 一部使用済みのインクカートリッジを保管する場合は、接続部分を下にしないようにしてください。

10. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジがあることが表示されます。

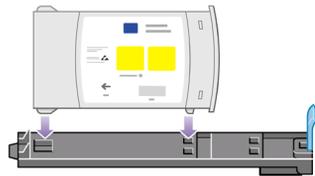


インクカートリッジを取り付けるには

1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。色が記載されたラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。



カートリッジは、下の図のように引き出しの奥に置きます。

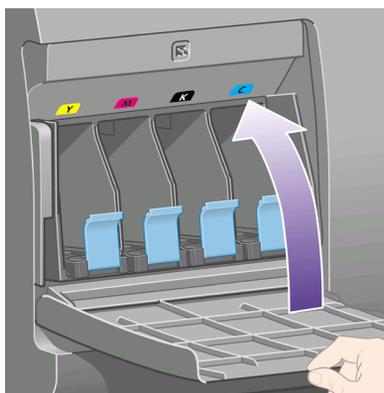


4. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。

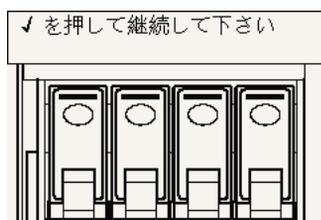


取り付けにくい場合は、147ページの [インクカートリッジを取り付けられない]を参照してください。

5. すべてのカートリッジを取り付けたら、ドアを閉めます (カチッと音がするまで押します)。



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが示されます。

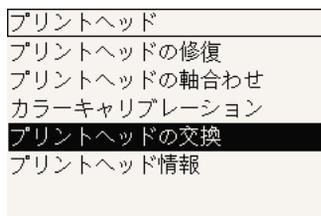


プリントヘッドを取り外すには

- ⚠ 警告** プリンタのキャスタがロックされ (ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

プリントヘッドの交換は、プリンタの電源スイッチをオンにしたままで行ってください。

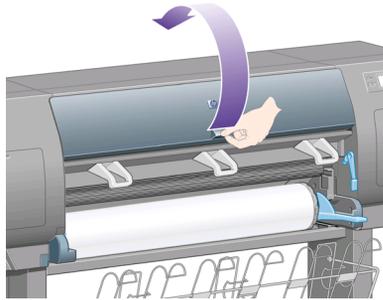
1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、[プリントヘッド] - [プリントヘッドの交換] を選択します。



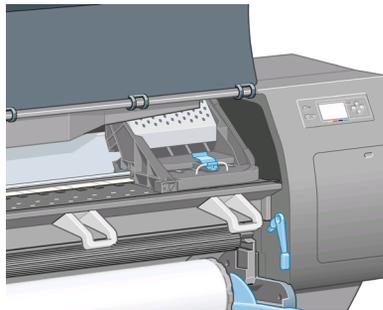
2. キャリッジが適切な位置に移動します。

△ 注意 キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上そのまま放置されると、右端の通常的位置に戻ります。

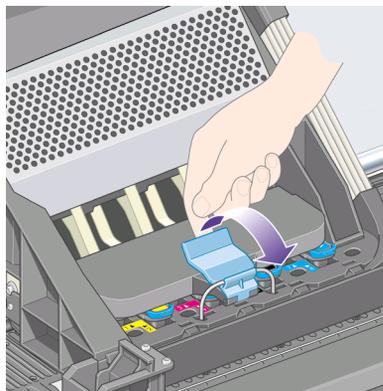
3. キャリッジが停止したら、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。



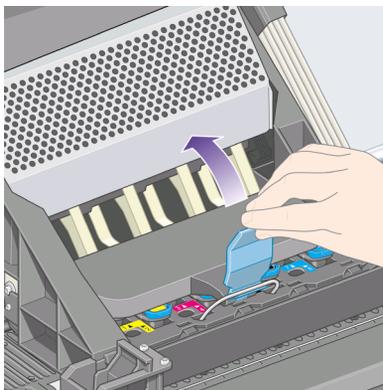
4. キャリッジを確認します。



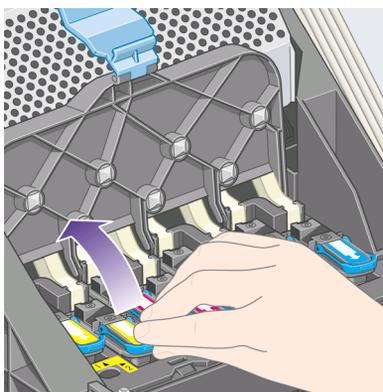
5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。



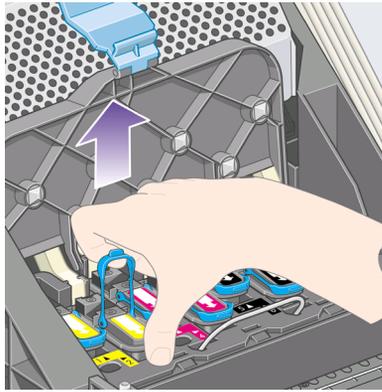
6. キャリッジのラッチを解除する カバーを持ち上げ、プリントヘッドを確認してください。



7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

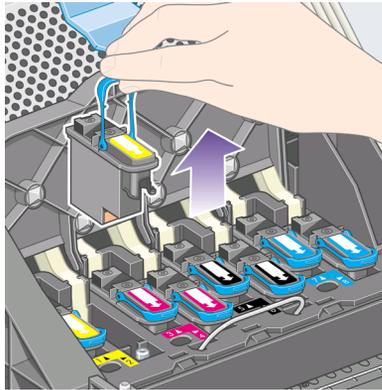


8. 持ち上げた青いハンドルを使って、プリントヘッドを静かにと取り外します。

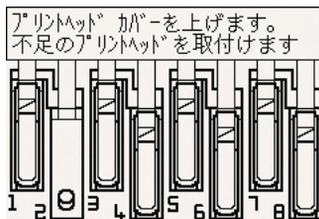


9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

△ 注意 あわてて引き上げるとプリントヘッドが破損することがありますので、ゆっくりと引き上げてください。

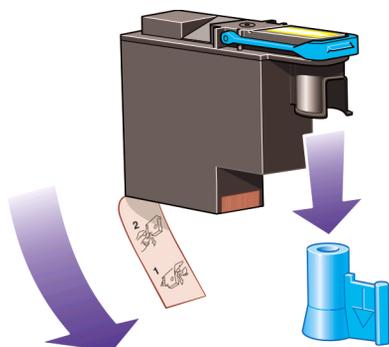


10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドがあることが示されます。



プリントヘッドを取り付けるには

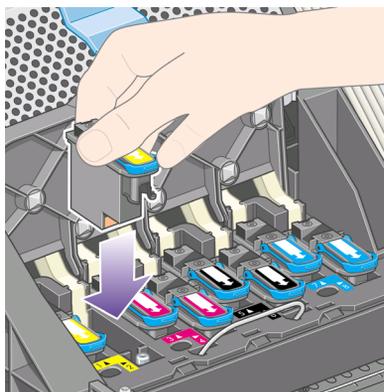
1. 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、以下の手順に従ってください。
 - a. 青い保護キャップを下に引っぱって取り外します。
 - b. 紙のタブを引っぱって、プリントヘッドのノズルから透明の保護テープを剥がします。



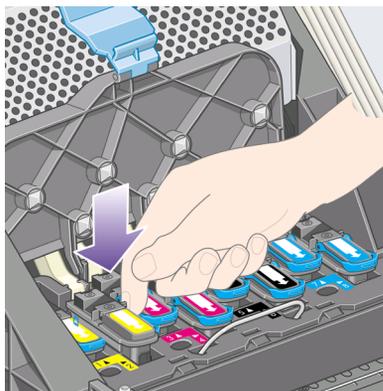
プリントヘッドは、間違った位置には取り付けられないように設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジのラベルの色が合っていることを確認してください。

2. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当する位置に取り付けます。

△ 注意 プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

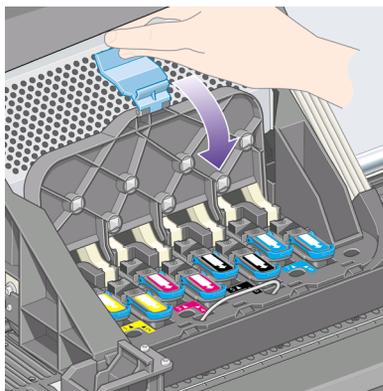


3. 図の矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。



新しいプリントヘッドを取り付ける場合、いくらか抵抗感を感じることはあるので、しっかりと、ただしゆっくりと押し込んでください。取り付けにくい場合は、147ページの[プリントヘッドを取り付けられない]を参照してください。

4. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジカバーを閉じます。

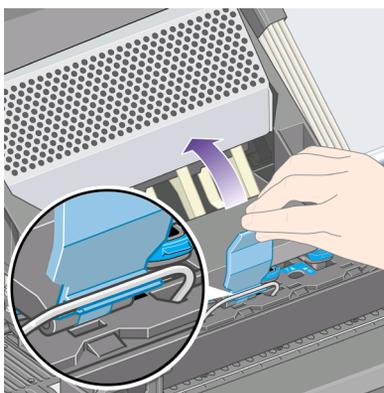


すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられてプリンタがそのことを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

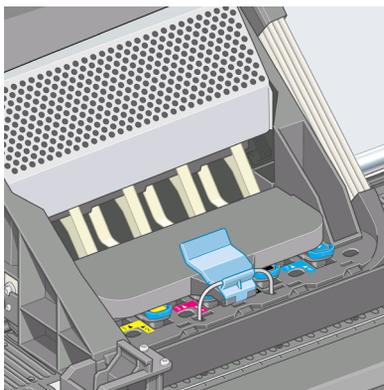


注記 プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに[プリントヘッドエラー：交換して下さい]というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

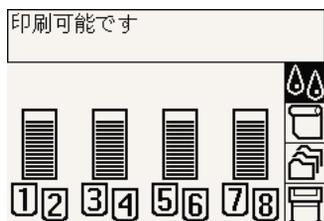
5. キャリッジカバーのラッチを閉めます。



キャリッジのラッチが正しく固定されると、下の図のようになります。



6. ウィンドウを閉じます。
7. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが示されます。



8. 交換したプリントヘッドのプリントヘッドクリーナを交換します。詳細は、57ページの[プリントヘッドクリーナを取り外すには]および59ページの[プリントヘッドクリーナを取り付けるには]を参照してください。

 **注意** 古いプリントヘッドクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドの寿命が短くなり、プリンタが故障することがあります。

プリントヘッドのモニタ状況を管理するには

プリンタは、時々プリントヘッドの状態を自動的にチェックして、プリントヘッドの調子をモニタし、印刷品質に影響を与える可能性のある問題を検出します。このチェックの実行頻度を最適化することで、高いスループットを維持することができます。

プリントヘッドのモニタの頻度を増やし、問題を早急に検出できるようにするには、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー]-[プリントヘッドのモニタ]-[強化] を選択します。プリンタが印刷中で、プリントヘッドのモニタが [強化] に設定されている場合、フロントパネルおよび内蔵Webサーバのステータスには、[印刷中。プリントヘッドのモニタリング中]と表示され、ただの[印刷中]という表示ではなくなります。

 **注記** [強化] が選択されている間は、プリントヘッドのチェックが頻繁に行われるため、プリンタのスループットは低下します。

モニタの実行頻度をデフォルト設定に戻すには、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー]-[プリントヘッドのモニタ]-[最適化] を選択します。

プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには

プリントヘッドのクリーニングを行うと、問題を解決できる場合があります。クリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [プリントヘッド]-[プリントヘッドの修復] を選択します。クリーニングには2~4分かかります。

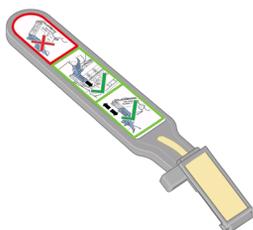
プリントヘッド
プリントヘッドの修復
プリントヘッドの軸合わせ
カラーキャリブレーション
プリントヘッドの交換
プリントヘッド情報

プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには

ごくまれに、プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッドキャリッジが接触する電極部分に、インクがたまって付着していることが原因です。このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすること

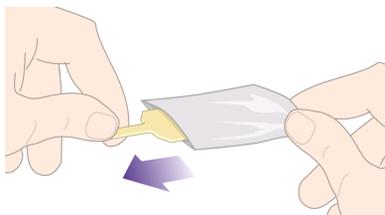
をお勧めします。特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要はありません。

プリンタのメンテナンス キット ボックスには、キャリッジ接点ワイパーが入っています。



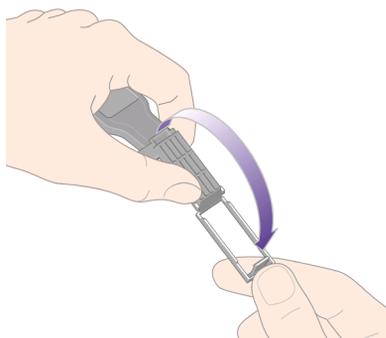
フロントパネルに、[取り付け]または[交換]メッセージが表示され続ける場合は、キャリッジ接点ワイパーを使用してプリントヘッド キャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. クリーニングは、フロントパネルでプリントヘッドの横に[再度取付けて下さい]または[交換して下さい]というメッセージがずっと表示される場合に行ってください。

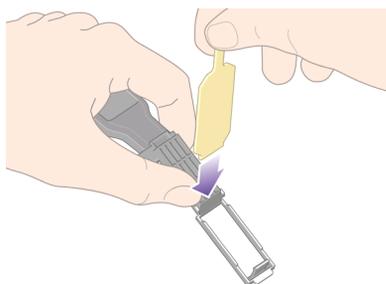


ワイパーのスポンジを袋から取り出します。スポンジの替えはワイパーと一緒にボックスに入っています。スポンジの替えをすべて使い切り、さらに必要な場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

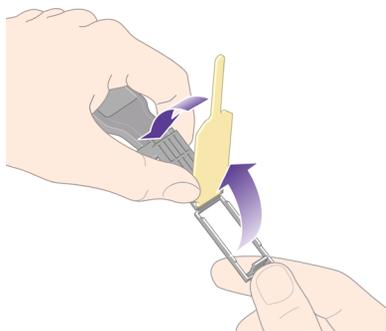
2. キャリッジ接点ワイパーを開きます。



3. スポンジをキャリッジ接点ワイパーに取り付けます。スポンジの短いほうの端をキャリッジ接点ワイパーの取り付け用スロットに入れます。



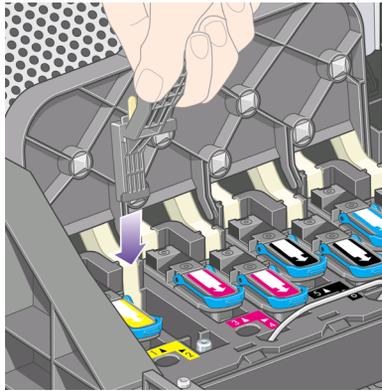
4. キャリッジ接点ワイパーを閉じて、スポンジをはさみ込みます。



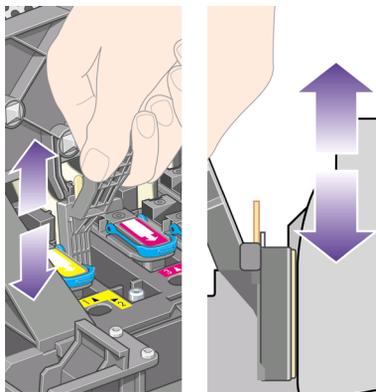
5. プリントヘッド キャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題のプリントヘッドを取り外します。詳細は、43 ページの [プリントヘッドを取り外すには] を参照してください。
6. キャリッジ接点ワイパーをプリントヘッド スロットの奥に差し込みます。スロットの奥の電極部分とスチール製のバネの間に、スポンジが電

極の方を向くようにワイパーを入れ、電極を拭きます。このとき、スロットの底にたまったインクをすくい上げないようにしてください。

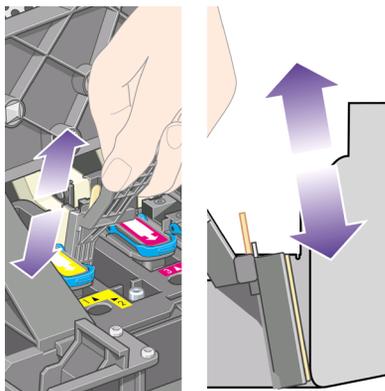
△ 注意 キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上そのまま放置されると、右端の通常の位置に戻ります。



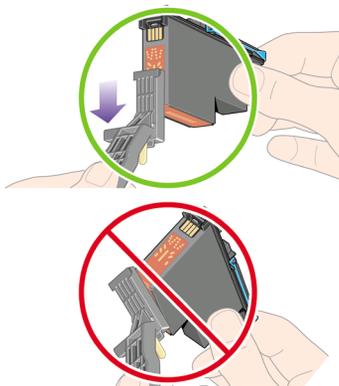
7. スポンジを軽く動かし、フレックス コネクタの底まで (何もしなくてもワイパーが止まるところまで)、電極を拭きます。



8. すべての電極を慎重にクリーニングします。コネクタの底の部分の電極も忘れずにクリーニングしてください。

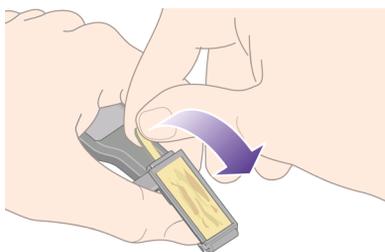


9. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じスポンジを使用して、プリントヘッドの下側にある電極ストリップをクリーニングします。上側の電極には触らないでください。

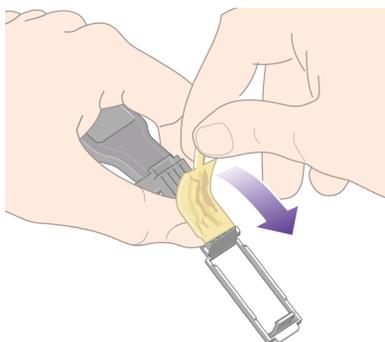


△ 注意 ノズルがある面には触らないでください。破損しやすくなっています。

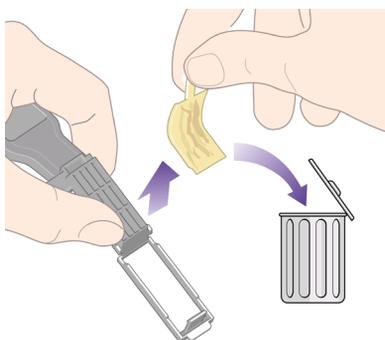
10. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ちます。乾いたら、プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。詳細は、47 ページの [プリントヘッドを取り付けるには] を参照してください。
11. クリーニング作業が完了したら、スポンジのタブを引いてキャリッジ接点ワイパーを開きます。



12. キャリッジ接点ワイパーから汚れたスポンジを取り外します。



13. 手や服にインクが付かないように、汚れたスポンジは適切な場所に捨ててください。



フロントパネルに[再度取付けて下さい]または[交換して下さい]というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、カスタマサービスにお問い合わせください。

プリントヘッドの軸合わせを行うには

プリントヘッドを交換する毎に、通常はプリントヘッドの軸合わせが行われます。プリントヘッドを交換した際に用紙が取り付けられていない場合は、次に用紙を取り付けたときに軸合わせが行われます。



注記 この自動軸合わせはオフにすることができます。オフにするには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に[設定メニュー]-[プリントヘッド自動軸合わせ-オフ]を選択します。

また、プリントヘッドの軸合わせは、イメージ診断印刷で軸合わせエラーが確認された場合にも行う必要があります。詳細は、113 ページの [イメージ診断印刷を使用するには] を参照してください。

1. 不透明のロール紙がプリンタに取り付けられていることを確認します。最高の結果を得るため、普段印刷に使用している用紙の種類を使用してください。カット紙ならびに、半透明ボンド紙、クリアフィルム、マットフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙などの透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。
2. プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されない場合、手動で実行するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [プリントヘッド]-[プリントヘッドの軸合わせ] を選択します。

プリントヘッド
プリントヘッドの修復
プリントヘッドの軸合わせ
カラーキャリブレーション
プリントヘッドの交換
プリントヘッド情報

3. ロール紙を初めて使用するかまたはそれに近い場合、プリントヘッドの軸合わせが開始される前に最大3m (≒10フィート) の用紙が排出される可能性があるというメッセージが、フロントパネルに表示されます。これは、正常に軸合わせを行うために必要な処理です。この場合、以下のいずれかを選択できます。
 - 必要なだけ用紙が排出されることを容認して、プリントヘッドの軸合わせを続行する
 - 先に数メートルの用紙を印刷に使用し、その後でプリントヘッドの軸合わせが行われるようにスケジュールする
 - プリントヘッドの軸合わせをキャンセルする
4. プリントヘッドの軸合わせの続行を選択すると、イメージを印刷中でない限りすぐにプリントヘッドの軸合わせが実行されます。印刷中の場合は、現在の印刷ジョブの終了後すぐに実行されます。軸合わせの処理には、12分ほどかかります。

プリントヘッドクリーナを取り外すには

プリントヘッドを交換すると、フロントパネルにプリントヘッドクリーナの交換を求めるメッセージが表示されます。

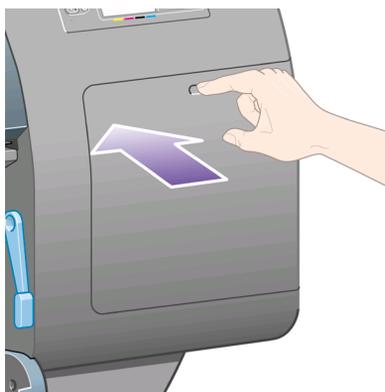
△ 注意 プリントヘッドを交換した場合、対応するプリントヘッドクリーナも必ず交換してください。古いクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドの寿命がきわめて短くなり、プリンタが故障することがあります。新しいプリントヘッドには、新しいプリントヘッドクリーナが同梱されています。

プリントヘッドクリーナを取り外す場合は、以下のことに注意してください。

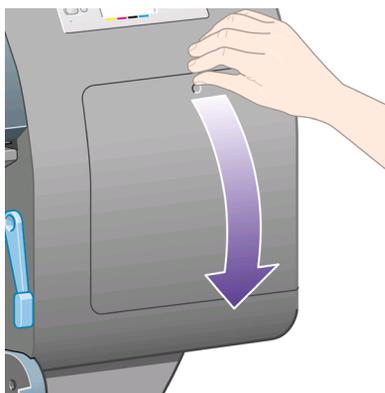
- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外したプリントヘッドクリーナは、中にインクが残り、外側にもインクが付着していることがあります。
- 取り外したプリントヘッドクリーナを扱うか保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

▲ 警告 プリンタのキャストがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. プリントヘッドクリーナは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。右のドアの上部を押して、ドアを緩めます。



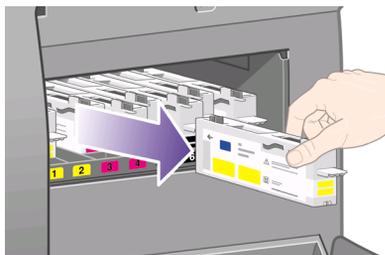
2. ドアを開きます。



3. 各プリントヘッドクリーナには、前面にハンドルがあります。クリーナを取り外すには、下の図の矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。そうするとクリーナが固定位置から外れます。



4. プリントヘッドクリーナを持ち上げてスロットから取り外し、下の図のように水平に取り出します。

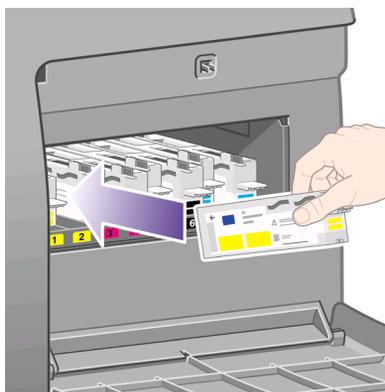


詳細は、59 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けるには] を参照してください。

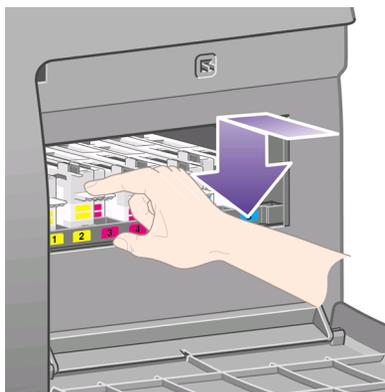
プリントヘッドクリーナを取り付けるには

新しいプリントヘッドクリーナが入っていた袋は、古いプリントヘッドとプリントヘッドクリーナを捨てる際に使用できます。

1. 各プリントヘッドクリーナを、下の図の矢印の方向どおりに、サービスステーション内の該当する色のスロットに挿入します。



2. プrintヘッドクリーナが奥まで入ったら、カチッと音がするまで、下の図の矢印のように奥に押しながら下向きに押し下げます。



取り付けにくい場合は、147ページの[プリントヘッドクリーナを取り付けられない]を参照してください。

 **注記** 右のドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいプリントヘッドクリーナは表示されません。

3. プrintヘッドクリーナをプリンタに取り付け終わったら、右のドアを閉めます。



 **注記** 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッドクリーナをすべて取り付けする必要があります。

4. 用紙が取り付けられていない場合は、フロントパネルに用紙の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

新しいプリントヘッドとクリーナを取り付けると、通常はプリントヘッドの軸合わせとカラーキャリブレーションが実行されます。最高の品質で印刷するため、両方とも実行することをお勧めします。場合によっては、もう少し印刷作業を続け、それまでプリントヘッドの軸合わせを延期するということがあります。

 **注記** 品質を多少下げても時間を節約したい場合は、これらの処理が自動的に実行される機能をオフにします。オフにするには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に **[設定メニュー]-[プリントヘッド自動軸合わせ]-[オフ]** を選択し、さらに **[設定メニュー]-[カラーキャリブレーション]-[オフ]** を選択します。

フロントパネルに、プリントヘッドの軸合わせに適した用紙を取り付けるよう要求するメッセージが表示される場合があります。プリントヘッドの軸合わせを実行する場合、不透明のロール紙が必要です。カット紙または透明や半透明の用紙は使用できません。

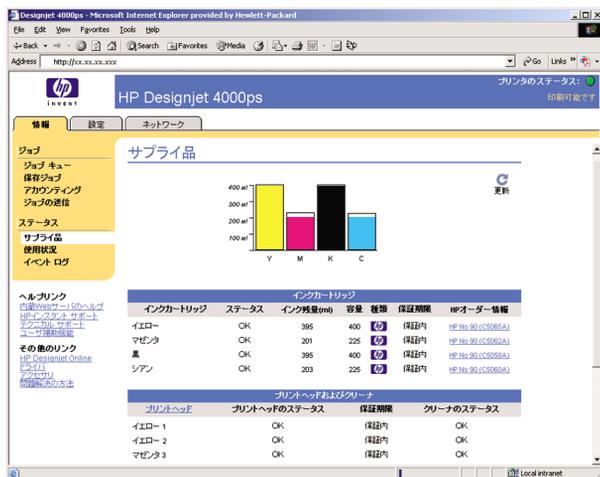
フロントパネルに**[印刷可能です]**というメッセージが表示されたら、印刷を開始できます。

 **注記** サプライ品を交換したら、ウィンドウと右のドアを必ず閉めてください。開いていると印刷は開始されません。

インクシステムのステータスを確認するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、13 ページの **[内蔵Webサーバにアクセスするには]**を参照してください)。

2. [サプライ品] ページに移動します。



[サプライ品] ページには、インクカートリッジ (インク残量など)、プリントヘッド、プリントヘッドクリーナ、および取り付けられている用紙に関するステータスが表示されます。

インクカートリッジ情報を確認するには

インクカートリッジの情報を確認するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
2. [インクカートリッジ] - [インクカートリッジ情報] を選択し、情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
 - 色
 - 製品名
 - シリアル番号
 - ステータス
 - インク残量 (該当する場合)
 - 容量 (ml)
 - 保証期限

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータから離れなくても上記の情報の大半を確認できます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細については、148 ページの [インクカートリッジのステータス メッセージが表示される] を参照してください。

プリントヘッド情報を確認するには

プリントヘッドの情報を確認するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
2. **[プリントヘッド]**-**[プリントヘッド情報]** を選択し、情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
 - 色
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - プリントヘッドのステータス
 - 使用済みインク量
 - 保証期限
 - クリーナのステータス

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータから離れなくても上記の情報の大半を確認できます。

プリントヘッドとプリントヘッドクリーナのステータス メッセージの詳細については、148 ページの **[プリントヘッドのステータス メッセージが表示される]** および 149 ページの **[プリントヘッドクリーナのステータス メッセージが表示される]** を参照してください。

保証期限が**[保証に関する注記を参照]**の場合は、HP製以外のインクが使用されていることを示します。保証については、169 ページの **[全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000 プリンタ シリーズ]** を参照してください。

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、13 ページの **[内蔵Webサーバにアクセスするには]** を参照してください)。
2. **[使用状況]** ページに移動します。
3. **[履歴]** タブで、使用初日からのプリンタの累積使用状況を確認します。
4. **[スナップショット]** タブで、使用初日からの累積使用状況の記録を保存します。また、**[累積]** タブのカウンタをゼロにリセットします。
5. **[累積]** タブで、最後のスナップショット以降の累積使用状況を確認します。

5 印刷イメージを調整するには

- 63 ページの [ページサイズを変更するには]
- 63 ページの [カスタム ページサイズを作成するには]
- 65 ページの [印刷品質を変更するには]
- 65 ページの [印刷品質設定を選択するには]
- 67 ページの [最高速度で印刷するには]
- 68 ページの [マージンを調整するには]
- 68 ページの [オーバーサイズ用の紙サイズに印刷するには]
- 69 ページの [用紙の印刷の向きを変更するには]
- 70 ページの [イメージを回転するには]
- 70 ページの [左右反転印刷を行うには]
- 71 ページの [イメージを拡大縮小するには]
- 72 ページの [パレットの設定を変更するには]
- 73 ページの [重なった線の処理方法を変更するには]
- 74 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]

ページサイズを変更するには

ページサイズは、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[用紙/品質] タブを選択して [用紙サイズ] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[ページ属性] パネルを選択して [用紙サイズ] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページの [ページサイズ] セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合：  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [用紙サイズ] を選択します。

 **注記** プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

カスタム ページサイズを作成するには

プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバを使用して、カスタム ページサイズを作成することができます。

HP-GL/2 & RTLドライバ (Windows用) の場合

1. [用紙/品質] タブを選択します。
2. [ユーザ設定] ボタンをクリックします。

3. 新しい[ユーザ定義用紙サイズ]に付ける名前に、[カスタム サイズ1:] から [カスタム サイズ5:] のいずれかを選択します。
4. 幅と長さの値を入力します。
5. **[OK]** ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ (Windows XPまたはWindows2000用) の場合

1. [用紙/品質] タブを選択します。
2. **[ユーザ設定]** ボタンをクリックします。
3. 新しい[ユーザ定義用紙サイズ]に付ける名前を入力します。
4. 幅と長さの値を入力します。
5. **[保存]** ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ (Windows MeまたはWindows 98用) の場合

1. [用紙/品質] タブを選択します。
2. **[用紙サイズ]** リストから **[サイズ指定用紙1]**、**[サイズ指定用紙2]**、**[サイズ指定用紙3]** のいずれかを選択します。
3. 新しいカスタム ページの幅と長さを選択します。
4. **[OK]** ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ (Windows NT用) の場合

1. [用紙/品質] タブを選択します。
2. 用紙サイズのリストから **[PostScriptカスタム ページ サイズ]** を選択します。
3. カスタム ページ サイズの幅と長さを選択します。
4. **[OK]** ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ (Mac OS X用) の場合

1. **[ファイル]** メニューから **[ページ設定]** を選択します。
2. [カスタム用紙サイズ] パネルを選択します。
3. **[新規]** ボタンをクリックします。
4. 新しいカスタム ページ サイズに付ける名前を入力します。
5. 幅と長さの値を入力します。
6. **[保存]** ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ (Mac OS 9用) の場合

1. **[ファイル]** メニューから **[ページ設定]** を選択します。
2. [ページ属性] パネルを選択します。
3. [カスタム ページ設定] パネルを選択します。
4. 新しいカスタム ページ サイズに付ける名前を入力します。
5. 幅と長さの値を入力します。
6. **[追加]** ボタンをクリックします。

内蔵Webサーバを使用する場合

1. [ジョブの送信] ページの [ページ サイズ] セクションに移動します。
2. [カスタム] オプションを選択します。
3. ページ サイズの幅と長さを選択します。

印刷品質を変更するには

このプリンタには、3種類の印刷品質オプションが用意されています。[高品質]、[標準] および [高速] の3種類です。また、印刷品質に影響を与える補足的なオプションとして、[最適化：描画/テキスト] または [最適化：イメージ]、および [高精細] の2種類も用意されています。オプションの選択方法については、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。

印刷品質は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバを使用する場合：[用紙/品質] タブの [印刷品質] セクションに移動します。
- Mac OS用プリンタ ドライバを使用する場合は：[イメージ品質] パネルに移動します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページの [イメージ品質] セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [印刷品質] を選択します。



注記 1 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

注記 2 プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

印刷品質設定を選択するには

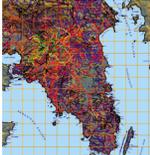
以下の表は、ロール紙を使用している場合に推奨される印刷品質設定と用紙の種類を、印刷物の種類ごとにまとめたものです。必ずしもこの表に従う必要はありませんが、用紙を選択する際に参考してください。

カット紙を使用する場合は、印刷品質を [高品質] に設定することをお勧めします。

印刷品質設定の変更方法については、65 ページの [印刷品質を変更するには] を参照してください。



注記 印刷密度の高いイメージには、厚い用紙 (厚手紙または光沢紙) を使用してください。

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類 (フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
線 (ドラフト) 	高速	描画/テキスト	オン	インクジェット普通紙 普通紙 半透明紙* コート紙
線 	標準	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙 普通紙 半透明紙* コート紙
線と塗りつぶし 	高品質	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙 普通紙 半透明紙* コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
線とイメージ 	高品質	描画/テキスト	オン	コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
店内広告 	標準	イメージ	オフ	コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2

(続き)

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類 (フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
レンダリング 	高品質	イメージ	オフ	厚手コート紙 光沢フォト用紙2
写真 	高品質	イメージ	オフ	光沢フォト用紙2

*半透明紙には、ベラム紙、半透明ボンド紙、トレーシングペーパー、クリアフィルム、マットフィルムが含まれます。

印刷解像度の技術的な詳細については、[ユーザーズ ガイド]の「プリンタ機能の仕様について」を参照してください。

最高速度で印刷するには

フロントパネルには、最高速度で印刷するための用紙設定が2種類([インクジェット普通紙(最高速)]*と[普通紙(最高速)]†)用意されています。この2種類の用紙に推奨される印刷品質設定は、次のとおりです。

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類 (フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
線 (ドラフト) 	高速	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙(最高速)* 普通紙(最高速)†

*インクジェット普通紙(最高速)を使用する場合は、HPインクジェット普通紙を取り付け、フロントパネルの用紙の種類のリストからインクジェット普通紙(最高速)を選択してください。

†普通紙(最高速)を使用する場合は、HPスタンダード普通紙を取り付け、フロントパネルの用紙の種類のリストから普通紙(最高速)を選択してください。

マージンを調整するには

プリンタのマージンを調整することで、アプリケーションで使用できるページの印刷可能範囲を決めることができます。マージンには、[広い]と[ふつう]の2種類のオプションが用意されています。マージンの寸法については、[ユーザズガイド]の「プリンタ機能の仕様について」を参照してください。

マージンは、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2プリンタドライバの場合：デフォルトで[ふつう]が選択されています。[広い]を選択するには、[用紙/品質]タブを選択して**[拡張マージン]**チェックボックスをオンにします。
- Windows PostScriptプリンタドライバの場合：[用紙/品質]タブを選択し、**[用紙サイズ]**を選択します。**[用紙サイズ - 拡張マージン]**を選択します。
- Mac OS用プリンタドライバの場合：[ページ属性]パネルを選択して**[用紙サイズ]**を選択します。用紙サイズを選択し、次にマージンを選択します。
Mac OS 10.1ドライバの場合は、[ふつう]しか選択できません。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信]ページを選択して**[マージン]**を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に**[印刷デフォルトメニュー]**-**[用紙オプション]**-**[マージン設定]**を選択します。

 **注記** プリンタドライバまたは内蔵Webサーバでマージンが設定されている場合は、フロントパネルで設定したマージンよりもこちらが優先されます。

オーバーサイズの用紙サイズに印刷するには

技術上の理由から、用紙の幅や長さ完全に合致するイメージを印刷することはできません。イメージの周囲には必ずある程度のマージンが必要です。たとえば、A3サイズのイメージをマージンなしで印刷する場合は、通常どお

リイメージの周囲にマージンを残してA3より大きな用紙に印刷し、印刷後にマージンを切り落とすようにする必要があります。

オーバーサイズの用紙サイズは、この目的のために使用します。この用紙サイズはどれも、標準サイズの用紙にマージンを合わせても十分にカバーできるだけの大きさがあります。

オーバーサイズの用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合：[用紙サイズ] リストの[オーバーサイズ] からいずれかの用紙サイズを選択します。
- Windows PostScriptプリンタ ドライバの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[用紙サイズ] を選択します。[用紙サイズ - オーバーサイズ] を選択します。
- Mac OS 9 (または10.1) プリンタ ドライバの場合：マージン幅なしのカスタム ページ サイズを作成します。その際、最終的なジョブにはプリンタのフロントパネルで設定したマージンが追加されることを忘れないでください。
- 最新のMac OS用プリンタ ドライバの場合：[ページ属性] パネルを選択して[用紙サイズ] を選択します。オーバーサイズの用紙サイズを選択して、マージンを選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：PDF、TIFFおよびJPEGのジョブでオーバーサイズの用紙サイズを自動的に選択させるには、マージンの設定を[デフォルト] にします。[ふつう] または [広い] を選択した場合は、通常用の用紙サイズが使用されます。
内蔵Webサーバでは、HP-GL/2、RTL、CAL S G4またはPostScriptのジョブについては、オーバーサイズの用紙サイズはサポートされていません (プリンタ ドライバを使用する必要があります)。
- フロントパネルを使用する場合：PDF、TIFFおよびJPEGのジョブでは、フロントパネルの設定は無視され、すべてオーバーサイズの用紙サイズが使用されると考えられます。
フロントパネルでは、HP-GL/2、RTL、CAL S G4またはPostScriptのジョブについては、オーバーサイズの用紙サイズはサポートされていません (プリンタ ドライバを使用する必要があります)。

用紙の印刷の向きを変更するには

プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバを使用して、用紙の印刷の向きを縦置きまたは横置きのいずれかに選択できます。

- PostScriptプリンタ ドライバ (Windows NT用) を使用する場合：[ページ設定] タブの [印刷の向き] セクションに移動します。
- 他のプリンタ ドライバ (Windows用) を使用する場合：[レイアウト] タブの [印刷の向き] セクションに移動します。

- PostScriptプリンタ ドライバ (Mac OS用) を使用する場合：[ファイル]メニューをクリックし、[ページ設定] を選択して、[ページ属性] パネルの[方向] セクションに移動します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページの [印刷の向き] セクションに移動します。

イメージを回転するには

イメージは通常、縦方向に印刷されます。用紙を節約するため、イメージを90度回転させることができます。イメージの回転は、以下の方法で行うことができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[レイアウト] タブを選択して [90度回転] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[仕上げ] パネルを選択して [90度回転] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択して [回転] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [回転] を選択します。



注記 1 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで回転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した回転よりもこちらが優先されます。

注記 2 ジョブを回転させる際には、ページサイズの長さを増やしてイメージが途切れないようにすることが必要な場合があります。これは、通常は左右のマージンよりも上下のマージンのほうが大きいからです。

イメージが途切れる場合

ロール紙でもカット紙でも、縦置きイメージを横置きに回転させると、用紙の幅がイメージよりも狭くなるためイメージが途切れることがあります。たとえば、縦置きのA1サイズのイメージを横置きにしてA1サイズ用紙に印刷すると、イメージが途切れます。内蔵Webサーバを使用している場合は、このような際にはプレビュー画面に警告の三角マークが表示されます。

左右反転印刷を行うには

クリア フィルム (バックリット) を使用する場合、イメージを左右反転させて印刷すると、フィルムの背面から光をあてて投射した際に正しい向きのイメ

ージが投影されます。アプリケーションでイメージを変更せずに左右反転させた印刷を行うには、以下の手順に従います。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[レイアウト] タブを選択して **[左右反転]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[仕上げ] パネルを選択して **[左右反転]** を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択して **[左右反転]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルトメニュー]** - **[用紙オプション]** - **[左右反転]** を選択します。



注記 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで左右反転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した左右反転よりもこちらが優先されます。

イメージを拡大縮小するには

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (たいていは拡大) するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイル サイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。
このような場合、ソフトウェアではページサイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[効果] タブを選択して **[サイズ変更オプション]** を選択します。
 - － **[文書を印刷する用紙]** オプション (**[用紙に合わせて調節]** チェックボックスをオンにした場合) を使用すると、プリンタの設定で選択したページサイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、ISO A2をページサイズに選択し、A4サイズのイメージを印刷する場合、A2ページに合うようにイメージは拡大されます。ISO A3をページサイズに選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A3サイズに合うようにイメージは縮小されます。
 - － **[%(元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元のページの印刷可能範囲を指定した比率で拡大し、プリンタ マージンを追加して出力ページサイズを調整できます。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[仕上げ] パネルを選択して **[文書を印刷する用紙]** を選択します。

[拡大/縮小] オプションは表示されませんが、それはこの機能が常に有効になっているためです。イメージサイズは、プリンタの設定で選択されたページサイズで印刷できるように必ず調整されます。

- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択して [次のサイズに拡大/縮小] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [スケール] を選択します。

1枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるか確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

パレットの設定を変更するには

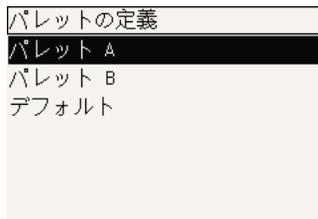
デフォルトのパレットは変更できませんが、パレットAとパレットBは、選択内容に応じて定義することができます。

これらのパレットは、ソフトウェアによりパレットが埋め込まれていないHP-GL/2のジョブにのみ適用されます。

 **注記** プリンタに同梱されているHP-GL/2ドライバによって生成されたHP-GL/2ジョブの場合、すべてのジョブにソフトウェアのパレットが埋め込まれるため、フロントパネルで行ったパレットの設定は無視されます。

パレットAを再定義するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [HP-GL/2の設定] - [パレットの定義] - [パレットA] を選択します。



2. 変更するペン番号までスクロールし、**選択(チェックマーク)**ボタンを押します。
3. このペンに割り当てられている現在の幅が表示されます。たとえば、[幅：0.35mm]などと表示されます。これを変更するには、以下の手順に従います。
4. **選択(チェックマーク)**ボタンを押します。
5. 指定する幅の値までスクロールします。
6. **選択(チェックマーク)** ボタンをもう一度押します。
7. **戻る** ボタンを押すと、前のメニューの [カラー]、[幅]に戻ります。戻らない場合は、[パレットA] まで戻ります。

8. このペンに割り当てられている現在のカラーが表示されます。たとえば、[カラー：110]と表示されます。これを変更するには、以下の手順に従います。
9. **選択(チェックマーク)**ボタンを押します。
10. 指定するカラーの値までスクロールします。
11. **選択(チェックマーク)** ボタンをもう一度押します。
12. **戻る** ボタンを押すと、前のメニューに戻ります。
13. 幅とカラーの値が正しければ、**戻る**ボタンを押します。
14. 次に変更するペン番号までスクロールし、**選択(チェックマーク)** ボタンを押して、上記の手順を繰り返します。
15. すべてのペンの定義が正しければ、**戻る** ボタンを押して、メニューを終了します。



注記 ここで定義したパレットは、現在のパレットとして選択したときに有効になります。

期待した結果が得られない場合は、146 ページの [ペンの設定が適用されない] を参照してください。

重なった線の処理方法を変更するには

[マージ] 設定では、イメージ内で線が重なった場合の見栄えを制御できます。[オフ] と [オン] の2種類の設定があります。

- [マージ] を [オフ] にすると、線が交差している場合、上側の線の色のみが印刷されます。
- [マージ] を [オン] にすると、線が交差している場合、2つの線の色がマージされます。

[マージ] を [オン] にするには、 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [HP-GL/2の設定] - [マージ]：[オン] を選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

マージ
<input checked="" type="checkbox"/> オン
<input type="checkbox"/> オフ



注記 マージ設定はPostScriptファイルには影響しません。

グラフィック言語の設定を変更するには

以下で説明する問題が発生していない場合は、デフォルト設定 ([自動]) を変更する必要はありません。特定のグラフィック言語を設定すると、その言語のファイルしか印刷できなくなるため、設定の変更はお勧めできません。

グラフィック言語の設定を変更するには、 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [グラフィック言語] を選択して、メニュー項目の下に表示されるオプションのいずれかを選択します。



- [自動] を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。この設定は、大半のソフトウェアアプリケーションに適用されません。
- [HP-GL/2] は、PostScriptファイル以外でイメージ位置またはタイミングに関する問題が発生した場合に選択します。
- [PostScript] は、印刷しているのがPostScriptファイルのみであり、PostScriptジョブが標準のPostScriptヘッダから開始されず、PJL言語切り替えコマンドが含まれていない場合に選択します。

または、PostScriptフォントのダウンロード中に問題が発生した場合にも、[PostScript] を選択します。この場合は、フォントのダウンロードが完了したら、[自動] を再度選択します。

USB接続でフォントをダウンロードしている場合は、 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [PostScriptの設定] - [エンコード] - [ASCII] を選択します。

- [ユーティリティ] リストから、[TIFF]、[JPEG]、[PDF]、または [CAL S/G4] は、該当する種類のファイルを、プリンタドライバを経由せずにプリンタに直接送信する場合にのみ選択します。このような送信は通常、内蔵Webサーバからのみ行われます。この場合、言語は内蔵Webサーバによって設定され、ユーザ自身が設定する必要はありません。



注記 [PostScript] および [PDF] は、PostScriptプリンタでのみ使用できます。

6 プリンタで高いカラー精度を得るには

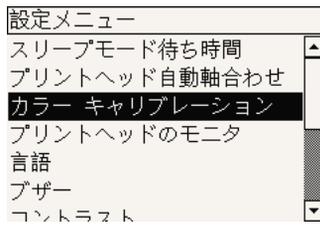
- 75 ページの [カラー キャリブレーションを実行するには]
- 76 ページの [黒点の補正を実行するには]
- 77 ページの [レンダリング用途を設定するには]
- 78 ページの [カラー エミュレーション モードを選択するには]
- 78 ページの [他のHP Designjetプリンタの印刷物と一致する印刷を実現するには]
- 78 ページの [Adobe Photoshop CS (HP-GL/2 & RTLドライバ) で高いカラー精度を得るには]
- 83 ページの [Adobe Photoshop CS (PostScriptドライバ) で高いカラー精度を得るには]
- 87 ページの [Adobe InDesign CSで高いカラー精度を得るには]
- 92 ページの [QuarkXPress 6で高いカラー精度を得るには]
- 95 ページの [Autodesk AutoCAD 2002で高いカラー精度を得るには]
- 95 ページの [Microsoft Office 2003で高いカラー精度を得るには]
- 95 ページの [ESRI ArcGIS 9で高いカラー精度を得るには]

カラー キャリブレーションを実行するには

カラー キャリブレーションを実行すると、印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえることができます。

通常、カラー キャリブレーションは、プリントヘッドを交換した場合、必ず実行する必要があります。また、新しいプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない場合や、新しい用紙の種類を使用する場合にも、実行する必要があります。ただし、既に認識されている用紙の種類については、カラー キャリブレーションをオフにして、デフォルトのカラー調整を使用できます。

1. フロントパネルから  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] を選択します。



2. カラー キャリブレーションには以下のオプションがあります。
 - **[オン]**: プリンタは、現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない、新しい用紙の種類を使用する場合には、必ずカラー キャリブレーションを実行します。このキャリブレーションによって行われたカラー調整は、以後、この用紙の種類を使用した同じ印刷品質設定の印刷に使用されます。
 - **[オフ]**: プリンタは、用紙の種類と印刷品質の設定ごとに、デフォルトのカラー調整を使用します。
3. プリンタは、キャリブレーション用の帯状のパターンを印刷して、それを内蔵光センサーでスキャンし、必要なカラー調整を算出することで、カラー キャリブレーションを実行します。帯状のパターンは、光沢紙を使用した場合は幅が269mm、長さが18mmとなり、その他の種類の用紙の場合は、長さが109mmとなります。カラー キャリブレーションの実行には、3分から6分ほどかかります。時間は用紙の種類によって異なります。



注記 カラー キャリブレーションは、いつでもフロントパネルから手動で実行することができます。実行するには、 アイコンを選択し、次に **[プリントヘッド] - [カラー キャリブレーション]** を選択します。

黒点の補正を実行するには

[黒点の補正] オプションでは、カラー スペース間でカラー変換を行ったときに、黒点の差異を調整するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、変換元スペースのダイナミック レンジが変換先スペースのダイナミック レンジにマッピングされます。このオプションにより、変換元スペースの黒点の変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分が表示されなくなるのを防ぐことができます。このオプションは、レンダリング用途の [相対カラー メトリック] が選択されている場合のみ使用できます (詳細は、77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください)。

黒点の補正は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合: [カラー] タブを選択し、**[黒点の補正]** を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合: [カラー品質] パネルを選択し、**[黒点の補正]** を選択します。

- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択し、[黒点の補正] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：  アイコンをクリックし、[印刷デフォルトメニュー]-[カラーオプション]-[黒点の補正] を選択します。

レンダリング用途を設定するには

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際の設定の1つです。印刷する色によっては、プリンタでその色を再現できない場合があります。レンダリング用途では、このような「色域外の色」を再現するための方法を、次の4つの中から選択することができます。

- **[彩度]**：明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- **[知覚的 (写真、写実的)]**：中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- **[相対カラーメトリック]**：特定のカラーと調和させる場合に最適です。主にプルーフ用に使用され、正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラースペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- **[絶対カラーメトリック]**：相対カラーメトリックと同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にプルーフ用に使用されますが、この場合のプルーフは、1台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

レンダリング用途は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタドライバの場合：[カラー] タブを選択し、[レンダリング用途] を選択します。
- Mac OS用プリンタドライバの場合：[カラー品質] パネルを選択し、[レンダリング用途] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択し、[レンダリング用途] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：  アイコンをクリックし、[印刷デフォルトメニュー]-[カラーオプション]-[レンダリング用途] を選択します。

カラー エミュレーション モードを選択するには

カラー エミュレーション モードは、以下の方法で設定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[カラー] タブの [カラーマネージメント] セクションを選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[カラー オプション] パネルを選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページの [カラーマネージメント] セクションを選択します。
- フロントパネルを使用する場合：  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [カラー オプション] を選択します。

詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「カラー エミュレーション モードについて」を参照してください。

他のHP Designjetプリンタの印刷物と一致する印刷を実現するには

詳細は、139 ページの [他のHP Designjetと色が一致しない]を参照してください。

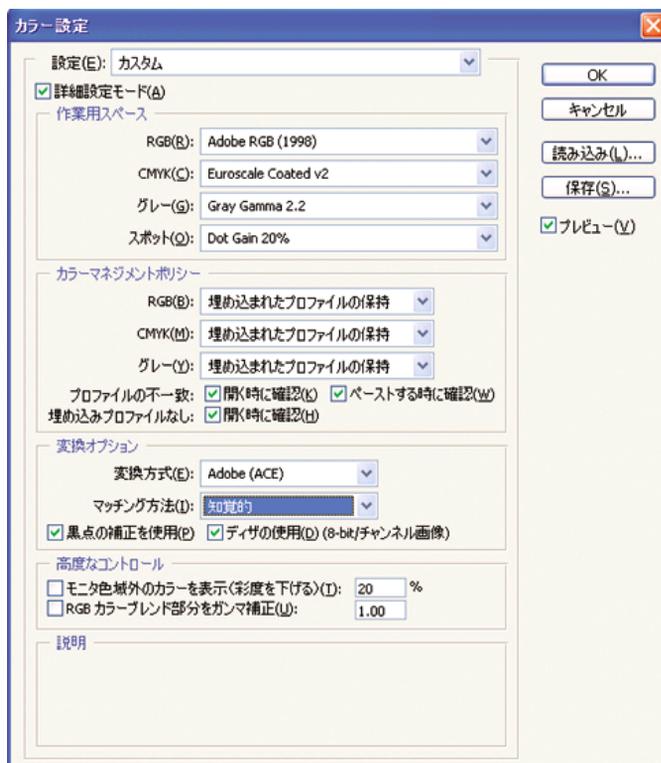
Adobe Photoshop CS (HP-GL/2 & RTL ドライバ) で高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードプルーフについて説明します。開始する前に、使用する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。

アプリケーションの設定

1. Adobe Photoshopを開き、[編集] メニューをクリックし、[カラー設定] をクリックします。
 - **[作業用スペース]**：作業用スペースは、イメージを操作するとき使用するカラー スペースです。イメージに固有のカラー スペースがある場合は、これを使用することをお勧めします (下記の「カラーマネージメントポリシー」を参照)。ない場合は、次のデフォルト設定を使用することをお勧めします。[RGB]：[Adobe RGB 1998]、[CMYK]：[U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合)、または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。
 - **[カラーマネージメントポリシー]**：[埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。

- **[マッチング方法]**：77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください。
- **[黒点の補正を使用]**：[マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、76 ページの [黒点の補正を実行するには] を参照してください。

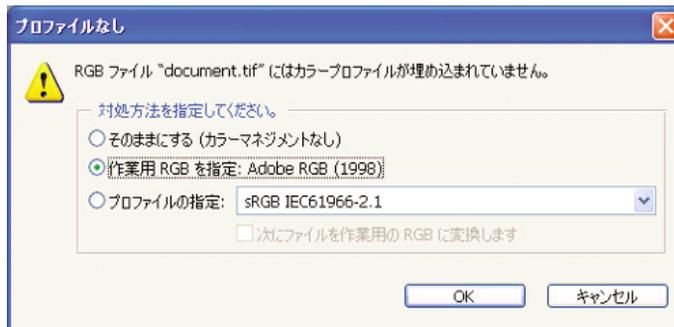


プリンタで高いカラー精度を得るには

2. イメージを開きます。カラー プロファイルが埋め込まれている場合は、それを使用します。



埋め込まれていない場合は、デフォルト設定を使用します。



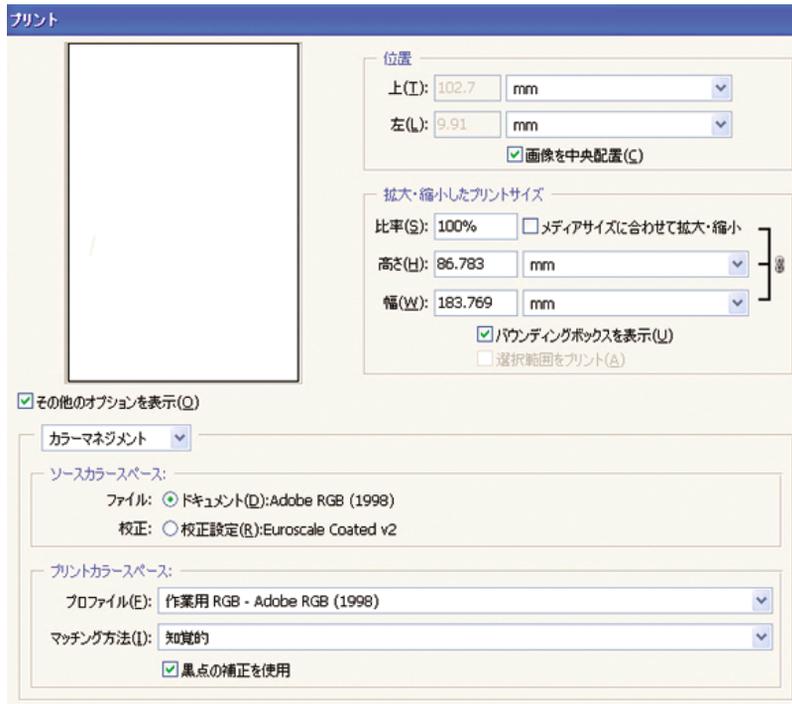
3. 作業に使用するカラー空間を定義したら、必要に応じてソフトプルーフを作成できます。ソフトプルーフでは、イメージが印刷されたときの結果を画面でエミュレートできます。これを実行するには、モニタの ICC プロファイルが必要です。[ビュー]-[校正設定]-[カスタム] を選択します。[校正設定] ダイアログボックスで、以下のオプションを設定します。
 - **[プロファイル]**：使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質に応じて、プロファイルを選択します。
 - **[カラー値の保持]**：このチェックボックスをオンにすると、カラーをドキュメント空間からプルーフプロファイル空間に変換せずに、ドキュメントの外観をシミュレートする方法が指定されます。ドキュメントのカラー値がドキュメントプロファイルではなくプルーフプロファイルで変換されたときの、カラーの変化がシミュレートされます。このオプションの使用はお勧めできません。
 - **[マッチング方法]**：このメニューでは、ドキュメント空間からシミュレーション空間への変換で使用するレンダリング方法を選択でき、各レンダリングの効果の違いをプレビューできます。詳細

は、77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください。

- **[黒点の補正を使用]** : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、76 ページの [黒点の補正を実行するには] を参照してください。
- **[紙色]** : このチェック ボックスをオンにすると、用紙の白さがモニターでエミュレートされます。[マッチング方法] に [絶対的な色域を維持] を選択したときと同じ効果が得られます。
- **[黒インキ]** : このチェック ボックスをオンにすると、シミュレーションからモニターへのレンダリングでの黒点の補正がオフになります。シミュレーション スペースの黒がモニターの黒よりも明るい場合は、モニターにあせた黒が表示されます。このオプションの使用はお勧めできません。
- **[プレビュー]** : このチェック ボックスをオンにすると (推奨)、このダイアログ ボックスで行った変更がすぐにイメージに反映されます。



4. イメージを印刷する準備ができたなら、[ファイル] メニューをクリックし、[プリントプレビュー] をクリックして、[プリント] ダイアログ ボックスを開きます。[カラーマネージメント] セクションで、以下のオプションを設定します。
 - **[ソースカラースペース]** : [ドキュメント] を選択します (デフォルトで選択されています)。
 - **[プロファイル]** : 使用するプロファイルを選択します。Adobe RGB を使用することをお勧めします。Adobe RGB または sRGB のいずれも選択しない場合は、用紙に応じた ICC プロファイルを選択し、後でドライバの [アプリケーションで管理] オプションを選択します。
 - **[マッチング方法]** : 77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください。



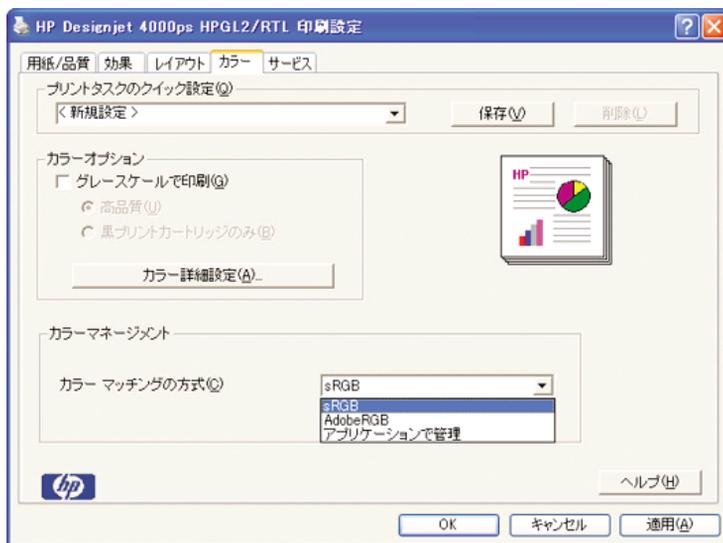
ドライバの設定

[プロパティ] ダイアログ ボックスの [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。

[カラー] タブには、以下の [カラー マネージメント] オプションが用意されています。上記の [プリント] ダイアログ ボックスの [プリントカラースペース] の [プロファイル] で選択したものと同一オプションを選択します。

- **[sRGB]** : デフォルトのカラー スペースです。RGB入力データが、選択した用紙の種類と印刷品質に応じて、プリンタの内部カラー マップによりCMYKに変換されます。このカラー マップは最も幅が広く、CADアプリケーションや業務アプリケーションの鮮やかな色を再現できます。また、写真イメージでもよい結果が得られます。
- **[AdobeRGB]** : sRGBに似ていますが、AdobeRGBからCMYKへの内部カラー マップが使用されます。このカラー マップはAdobeRGB入力データ用に設計されたもので、より広いソース色域が設定されています。デジタル写真に最適です。
- **[アプリケーションで管理]** : ドライバでカラー調整を行いません。このオプションは、カスタムRGBプリンタ プロファイルを作成し、それらをアプリケーション内で適用する場合に使用します (アプリケーションでは、カスタムRGBプリンタ プロファイルを使用して正しいカラーマネージメントが適用されます)。この場合は、アプリケーションの [プリント]

ダイアログボックスで、[プリントカラースペース]の[プロファイル]に適切なメディアプロファイルが選択されていることを確認してください(上記を参照)。



プリンタで高いカラー精度を得るには

プリンタの設定

フロントパネルの用紙の種類に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

Adobe Photoshop CS (PostScriptドライバ) で高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードプルーフについて説明します。開始する前に、使用する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。

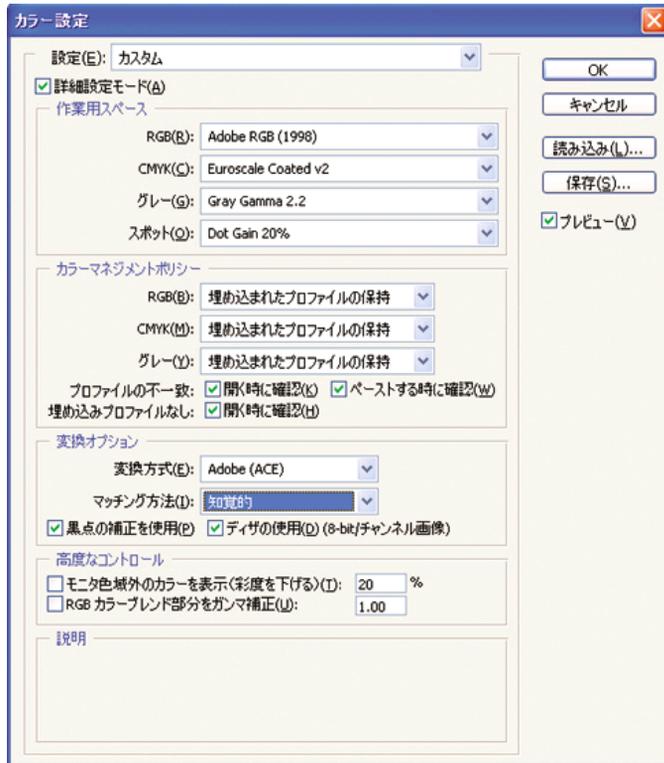
アプリケーションの設定

1. Adobe Photoshopを開き、**[編集]**メニュー (Windows) または **[Photoshop]**メニュー (Mac OS) をクリックし **[カラー設定]** をクリックします。
 - **[作業用スペース]**: 作業用スペースは、イメージを操作するときに使用するカラースペースです。イメージに固有のカラースペースがある場合は、これを使用することをお勧めします(下記の「カラーマネージメントポリシー」を参照)。ない場合は、次のデフォルト設定を使用することをお勧めします。[RGB]: [Adobe RGB 1998]、

[CMYK] : [U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合)、または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。

- [カラーマネージメントポリシー] : [埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。
- [マッチング方法] : 77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください。
- [黒点の補正を使用] : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、76 ページの [黒点の補正を実行するには] を参照してください。

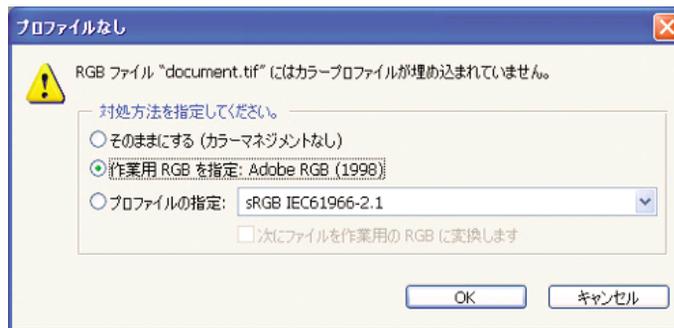
プリンタで高いカラー精度を得るには



2. イメージを開きます。カラー プロファイルが埋め込まれている場合は、それを使用します。



埋め込まれていない場合は、デフォルト設定を使用します。



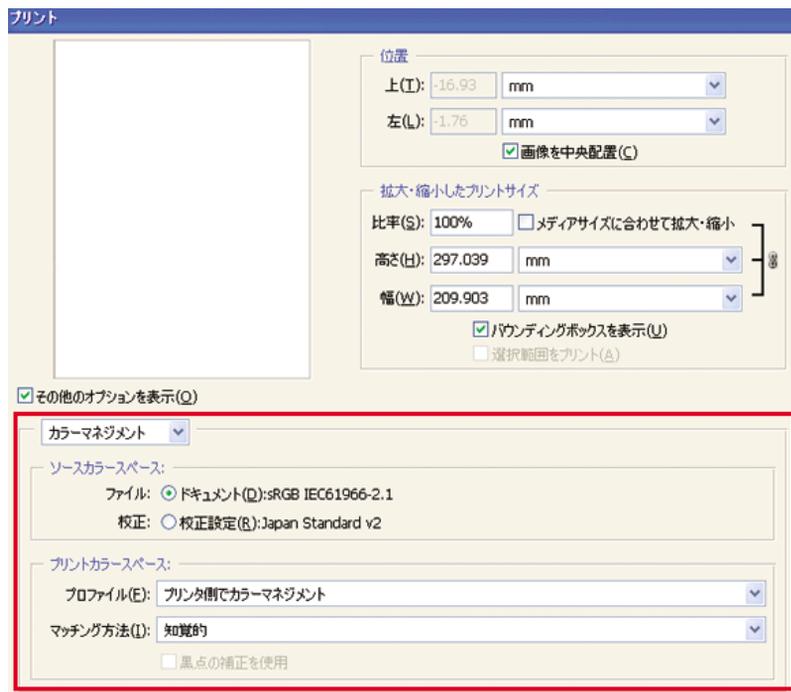
3. 作業に使用するカラー空間を定義したら、必要に応じてソフトプルーフを作成できます。ソフトプルーフでは、イメージが印刷されたときの結果を画面でエミュレートできます。これを実行するには、モニタの ICC プロファイルが必要です。[ビュー]-[校正設定]-[カスタム] を選択します。[校正設定] ダイアログ ボックスで、以下のオプションを設定します。
 - **[プロファイル]**：使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質に応じて、プロファイルを選択します。
 - **[カラー値の保持]**：このチェック ボックスをオンにすると、カラーをドキュメント空間からプルーフ プロファイル空間に変換せずに、ドキュメントの外観をシミュレートする方法が指定されます。ドキュメントのカラー値がドキュメント プロファイルではなくプルーフ プロファイルで変換されたときの、カラーの変化がシミュレートされます。このオプションの使用はお勧めできません。
 - **[マッチング方法]**：このメニューでは、ドキュメント空間からシミュレーション空間への変換で使用するレンダリング方法を選択でき、各レンダリングの効果の違いをプレビューできます。詳細

は、77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください。

- **[黒点の補正を使用]** : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、76 ページの [黒点の補正を実行するには] を参照してください。
- **[紙色]** : このチェック ボックスをオンにすると、用紙の白さがモニターでエミュレートされます。[マッチング方法] に [絶対的な色域を維持] を選択したときと同じ効果が得られます。
- **[黒インキ]** : このチェック ボックスをオンにすると、シミュレーションからモニターへのレンダリングでの黒点の補正がオフになります。シミュレーションスペースの黒がモニターの黒よりも明るい場合は、モニターにあせた黒が表示されます。このオプションの使用はお勧めできません。
- **[プレビュー]** : このチェック ボックスをオンにすると (推奨)、このダイアログ ボックスで行った変更がすぐにイメージに反映されます。



4. イメージを印刷する準備ができたなら、[ファイル] メニューをクリックし、[プリントプレビュー] をクリックして、[プリント] ダイアログ ボックスを開きます。[カラーマネージメント] セクションで、以下のオプションを設定します。
 - **[ソースカラースペース]** : [ドキュメント] を選択します (デフォルトで選択されています)。これは、イメージを編集する際に使用するカラースペースです。
 - **[プロファイル]** : [プリンタ側でカラーマネージメント] を選択します。このオプションを使用すると、プリントスペースへの変換に使用するソース プロファイルとレンダリング方法が、アプリケーションによりドライバに指定されます。この場合、ドライバでは、「ドキュメント」プロファイルと以下の [マッチング方法] で選択されたレンダリング方法が使用されます。これは、ドライバの [入力プロファイル] および [レンダリング用途] の設定よりも優先されます。
 - **[マッチング方法]** : 77 ページの [レンダリング用途を設定するには] を参照してください。



プリンタで高いカラー精度を得るには

ドライバの設定

アプリケーションで [プリンタ側でカラーマネジメント] オプションが設定されている場合は、こちらがドライバのカラー設定 ([入力プロファイル] および [レンダリング用途]) よりも優先され、アプリケーションの「ドキュメント」プロファイルとレンダリング方法がドライバで使用されます。ドライバでは、以下の設定のみを行います。

- [プロパティ] ダイアログ ボックスの [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
- [カラー] タブで、[自動PANTONE(R)キャリブレーション] チェック ボックスをオンにします。

プリンタの設定

フロントパネルの用紙の種類に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

Adobe InDesign CSで高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードブルーフについて説明します。ハードブルーフとは、印刷機で印刷したときのカラー再現状況をプリンタで印刷して確認するものです。開始する前に、使用

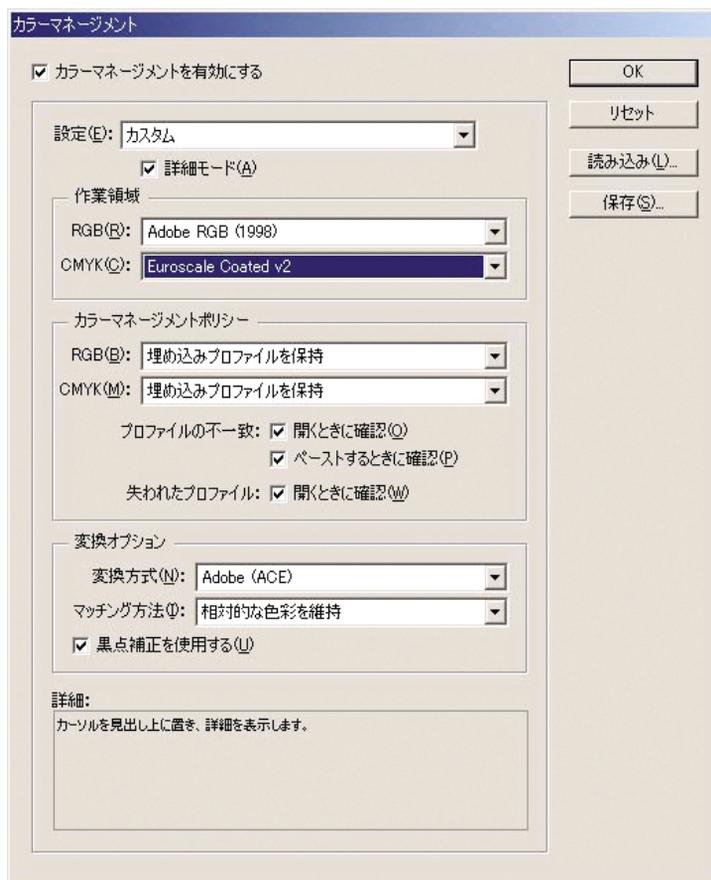
する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。



注記 EPS、PDF、およびグレースケールイメージは、ページレイアウトアプリケーションでカラーを変更することはできません。また、これらのイメージはモニタ上ではきれいに表示されません。

アプリケーションの設定

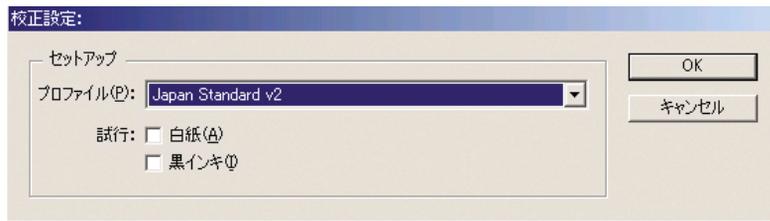
1. Adobe InDesignを開き、**[編集]**メニュー (Windows) または **[InDesign]** メニュー (Mac OS) をクリックし **[カラーマネージメント]** をクリックします。
 - **[作業領域]** : 作業領域は、イメージを操作するとき使用するカラースペースです。イメージに固有のカラースペースがある場合は、これを使用することをお勧めします (下記の「カラーマネージメントポリシー」を参照)。ない場合は、次のデフォルト設定を使用することをお勧めします。[RGB] : [Adobe RGB 1998]、[CMYK] : [U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合)、または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。
 - **[カラーマネージメントポリシー]** : [埋め込みプロファイルを保持] を選択します。
 - **[レンダリング用途]** : 77 ページの [レンダリング用途を設定するには]を参照してください。
 - **[黒点補正を使用する]** : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、76 ページの [黒点の補正を実行するには]を参照してください。



プリンタで高いカラー精度を得るには

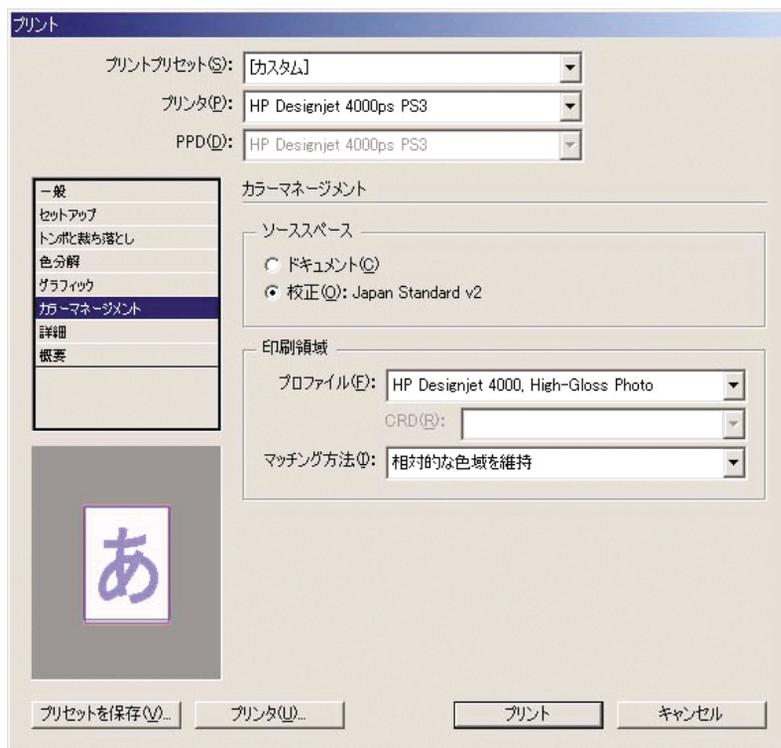
2. 固有のまたは適切なカラー スペースのあるイメージを作成するか開きます。必要に応じてイメージを修正します。
3. イメージを出力デバイスに送信する準備ができたなら、出力デバイスでどのように印刷されるかを、プリンタでシミュレートします。イメージをソース プロファイルまたは作業プロファイルから出力CMYKデバイスに変換し、出力CMYKデバイスからプリンタ プロファイルに変換(キャリブレーション)します。

InDesignで、[校正設定] ([表示] - [校正設定] - [カスタム]) を使用することをお勧めします。[校正設定] では、印刷に使用するソース スペースの「プルーフ プロファイル」を選択できます。また、モニターでシミュレーションを確認できます。以下のように選択することをお勧めします。



InDesignの各オブジェクトには、それぞれ固有のカラーマネージメントが設定されています。InDesign要素 (ネイティブ) では、[カラーマネージメント] で定義した作業領域 (デフォルト プロファイル) とマッチング方法が使用されます。配置されたオブジェクトには、それぞれプロファイルとマッチング方法が割り当てられます。各要素は、固有のマッチング方法で、それぞれのカラー スペースからシミュレーション カラー スペースに変換されます。

- **[プロファイル]** : エミュレートするデバイスに合わせてプロファイル (通常は特定のプレス プロファイルまたは標準のプレス プロファイル) を選択します。
 - **[白紙]** : このチェック ボックスをオンにすると、用紙の白さがモニタでエミュレートされます。[マッチング方法] に [絶対的な色域を維持] を選択したときと同じ効果が得られます。
 - **[黒インキ]** : このチェック ボックスをオンにすると、シミュレーションからモニタへのレンダリングでの黒点の補正がオフになります。シミュレーション スペースの黒がモニタの黒よりも明るい場合は、モニタにあせた黒が表示されます。このオプションの使用はお勧めできません。
4. **[ファイル] - [プリント]** をクリックしてイメージを印刷します。プリンタ、用紙の種類、印刷品質に応じて、イメージは出力スペースに変換されます。
- 左側のボックスから [色分解] を選択し、CMYKプロファイルを表示するために **[コンポジットCMYK]** を選択します。
 - 左側のボックスから [カラーマネージメント] を選択し、以下のオプションを設定します。
 - **[ソーススペース]** : 「校正」を選択して、そのプルーフのカラー スペースをエミュレートします。
 - **[プロファイル]** : 使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質オプションに応じて、プロファイルを選択します。
 - **[マッチング方法]** : [相対的な色域を維持] または [絶対的な色域を維持] を選択します。[絶対的な色域を維持] では、印刷機で使用される用紙の背景色がエミュレートされます。[相対的な色域を維持] では、印刷機の用紙の色がプリンタの用紙の色にマップされます。



プリンタで高いカラー精度を得るには

ドライバの設定

ページレイアウトアプリケーションの場合、PostScriptドライバを使用することをお勧めします。CMYKデータ、RGBデータ、または両方を同時にカラー管理できます。

[プロパティ] ダイアログ ボックスの [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。

[カラー] タブで、[アプリケーションで管理] を選択し、[自動PANTONE(R)キャリブレーション] チェック ボックスをオンにします。アプリケーションによりカラーがプリンタのカラー スペースに変換された場合、プリンタは、これらのカラーを変更せずにそのまま受け入れます。上記の [プリント] ダイアログ ボックスで [プリントスペース] の [プロファイル] に適切なメディア プロファイルが選択されていることを確認してください。

プリンタの設定

フロントパネルの用紙の種類に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

QuarkXPress 6で高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードプルーフについて説明します。ハードプルーフとは、印刷機で印刷したときのカラー再現状況をプリンタで印刷して確認するものです。開始する前に、使用する用紙の種類のカリブレーションが済んでいることを確認してください。



注記 EPS、PDF、およびグレースケールイメージは、ページレイアウトアプリケーションでカラーを変更することはできません。また、これらのイメージはモニタ上ではきれいに表示されません。

アプリケーションの設定

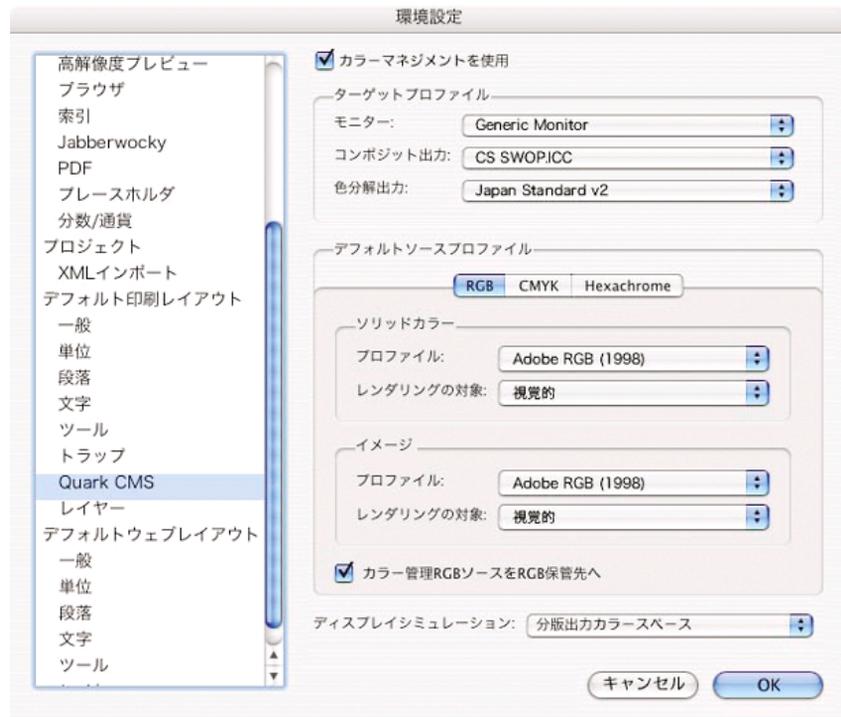
1. QuarkXPressを開き、[編集]メニュー (Windows) または [QuarkXPress]メニュー (Mac OS) をクリックし、[環境設定] をクリックします。次に、**[Quark CMS]** を選択します。
 - [カラーマネジメントを使用] チェック ボックスをオンにします。
 - [ターゲットプロファイル] エリアで、使用するデバイスに応じて、[モニター]、[コンポジット出力]、および [色分解出力] のプロファイルを選択します。[色分解出力] には、プリンタでエミュレートする出力デバイス (印刷機) のプロファイルを選択します。[コンポジット出力] には、使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質オプションに応じたプリンタ プロファイルを選択します。
 - [デフォルトソースプロファイル] エリアでは、プロファイルの埋め込まれていないソリッドカラーとイメージのデフォルト プロファイルを設定します。各プロファイルには、以下のデフォルト プロファイルを選択することをお勧めします。[RGB] タブ : [Adobe RGB (1998)]、[CMYK] タブ : [U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合) または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。また、QuarkXpressでのすべての変換に使用されるレンダリング方法を、[レンダリングの対象] で選択します。レンダリング方法が不明な場合は、[相対カラー測定] を選択します。詳細は、77 ページの [レンダリング用途を設定するには]を参照してください。
 - [デフォルトソースプロファイル] の [RGB] タブの **[カラー管理RGBソースをRGB保管先へ]** チェック ボックスをオンにし、[CMYK] タブ

の [カラー管理CMYKソースをCMYK保管先へ] チェック ボックスをオンにします。

－ [ディスプレイシミュレーション] では、表示シミュレーションの方法を指定します。

- ・ **[オフ]**：表示シミュレーションを行いません。
- ・ **[モニターカラースペース]**：ソース プロファイルからディスプレイ プロファイルへの変換を行う、表示のみのオプションです。
- ・ **[コンジット出力カラースペース]**：コンジット プリンタの表示シミュレーションを行います。インクジェット プリンタなど、カラーごとのプレートがないプリンタ用のオプションです。
- ・ **[分版出力カラースペース]**：色分解プリンタの表示シミュレーションを行います。デジタル印刷機など、カラーごとのプレートがあるプリンタ用のオプションです。

表示シミュレーションのみを行う場合は、**[モニターカラースペース]** を選択します。モニタで出力デバイスのシミュレーションを確認する場合は、**[分版出力カラースペース]** を選択します。最終出力のシミュレーションを、プリンタ (ハードプルーフ) とモニタ (ソフトプルーフ) で行うことができます。



2. ドキュメントを開き、必要に応じて修正します。

3. [ファイル] - [印刷] - [設定] - [プリンタ記述] をクリックし、プリンタを選択します。
4. [ファイル] - [印刷] - [プロファイル] をクリックします。
 - [色分解] (エミュレーション用) および [コンポジット] (プリンタ用) で、適切な出力プロファイルを選択します。
 - シミュレーションを行う場合は、[コンポジット時に色分解をシミュレート] チェック ボックスをオンにします。



注記 QuarkXpressの各オブジェクトには、それぞれ固有のカラーマネージメントが設定されています。ソリッドカラーでは、[環境設定] ダイアログ ボックスの [Quark CMS] の [デフォルトソースプロファイル] で選択した [ソリッドカラー] ([RGB] タブ、[CMYK] タブ、または [Hexachrome] タブ) のカラープロファイルとレンダリング方法が使用されます。インポートしたオブジェクトには、それぞれプロファイルとレンダリング方法が割り当てられています。QuarkXPressでは、イメージカラースペースからシミュレーションカラースペースへの変換と、シミュレーションカラースペースからプリンタカラースペースへの変換の両方で、イメージに割り当てられているレンダリング方法が使用されます。

ドライバの設定

ページレイアウトアプリケーションの場合、PostScriptドライバを使用することが最適です。CMYKデータ、RGBデータ、または両方を同時にカラー管理できます。

[イメージ品質] パネルで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。

[カラー品質] パネルで、[アプリケーションで管理] を選択し、[自動 PANTONE(R)キャリブレーション] チェック ボックスをオンにします。アプリケーションによりカラーがプリンタのカラースペースに変換された場合、

プリンタは、これらのカラーを変更せずにそのまま受け入れます。[環境設定] ダイアログ ボックスの [コンポジット出力] で適切なメディア プロファイルが選択されていることを確認してください。

プリンタの設定

フロントパネルの [用紙の種類] に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

Autodesk AutoCAD 2002で高いカラー精度を得るには

AutoCADにはカラー マネージメント設定がないため、ドライバを適切に設定する必要があります。HP-GL/2 & RTLドライバを使用している場合は、[プロパティ] ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。

- [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
- [カラー] タブで、[グレースケールで印刷] チェック ボックスをオフにし、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。

Microsoft Office 2003で高いカラー精度を得るには

Microsoft Officeにはカラー マネージメント設定がないため、ドライバを適切に設定する必要があります。HP-GL/2 & RTLドライバを使用している場合は、[プロパティ] ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。

- [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
- [カラー] タブで、[グレースケールで印刷] チェック ボックスをオフにし、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。

ESRI ArcGIS 9で高いカラー精度を得るには

ArcGISは、地図データの作成、管理、統合、分析、および配布に使用するスケーラブルなソフトウェア システムです。個人ユーザからネットワークで接続された各国ユーザに至るまで、あらゆる組織に対応しています。

このアプリケーションでは、RGBデータが常にプリンタ ドライバに送信されます。ユーザは複数のプリンタ エンジンから使用するエンジンを選択できます。プリンタ エンジンにより、ArcMapがプリンタ ジョブをプリンタに送信するときの形式と方法が決定されます。ライセンスとプリンタの設定に応じて、1種類から3種類のオプションを使用できます。

- [Windows] : デフォルトです。使用するプリンタに関係なく、いつでも使用できます。インストールされているHP-GL/2 & RTLドライバを使用できます。
- [PostScript] : プリンタがPostScriptをサポートしており、[Name] セクションでPostScriptドライバが選択されている場合にのみ、使用できます。この場合は、ファイルをPostscriptファイルとして出力できます。

このオプションは、特定の状況では便利ですが、通常の使用にはお勧めできません。

- **[ArcPress]** : ArcGISの印刷用拡張機能です。別途購入が必要です。これはソフトウェアRIPで、元のメタファイルをプリンタに送信する前にラスターデータに変換します。従って、プリンタでラスターデータに変換する必要がなくなります。プリンタにラスターデータへの変換機能がないか、プリンタに大きなジョブを処理できるだけのメモリがない場合に便利です。**ArcPressは常にHP RTL (RGB) TrueColorで使用します。**

Windowsプリンタ エンジンを使用した印刷

1. HP-GL/2 & RTLドライバがインストールされていることを確認します。
2. 印刷する準備ができたなら、**[ファイル] - [ページ設定/印刷設定]** をクリックし、HP-GL/2 & RTLドライバを選択します。



3. **[プロパティ]** ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。
 - **[用紙/品質]** タブで、**[印刷品質]** を **[高品質(最高画質)]** に設定します。
 - **[カラー]** タブで、**[グレースケールで印刷]** チェック ボックスをオフにし、**[カラー マッチングの方式]** を **[sRGB]** に設定します。
4. **[OK]** ボタンをクリックします。

5. [ファイル]- [印刷] をクリックします。
 - [プリンタエンジン]: [Windows Printer] を選択します (選択したラスタドライバが使用されます)。
 - [出力画像の品質(リサンプリング率)]: ArcMapの印刷ファイル生成時のサンプルピクセル数を変更します。また、プリンタに送信するファイルの作成に使用される、地図ドキュメントのピクセル数を指定します。
 - 粗い(速い) = 1:5
 - 標準 = 1:3
 - 精密(遅い) = 1:1 (そのまま)

[精密(遅い)] を選択すると、印刷ジョブの処理に大量のリソースを消費します。地図のサイズによっては、処理の完了に時間がかかるか、メモリ不足を示すメッセージが表示される場合があります。このような場合は、[出力画質の品質] を [精密(遅い)] よりも低くしてください。プリンタの入力解像度より高い解像度のイメージを送信しても、印刷品質が向上するわけではありませんので、注意してください。



6. [OK] ボタンをクリックして、印刷を開始します。

ArcPressプリンタ エンジンを使用した印刷

1. 必要なドライバがインストールされていることを確認します。ただし、このドライバはポートとしてのみ機能します。

2. 印刷する準備ができたなら、[ファイル]-[ページ設定/印刷設定] をクリックします。ドライバを選択し(ドライバの設定は影響しません)、[OK] ボタンをクリックします。
3. [ファイル]-[印刷] をクリックします。
 - [プリンタエンジン]: [ArcPress プリンタ] を選択します。
 - [プロパティ] ボタンをクリックします。HP RTL (RGB) TrueColor ドライバを選択し、ドライバに送信される解像度を選択します。



- ガンマ、明るさ、コントラスト、または彩度を調整する場合は、[色調整] タブを選択します。変更結果はプレビューで確認できます。



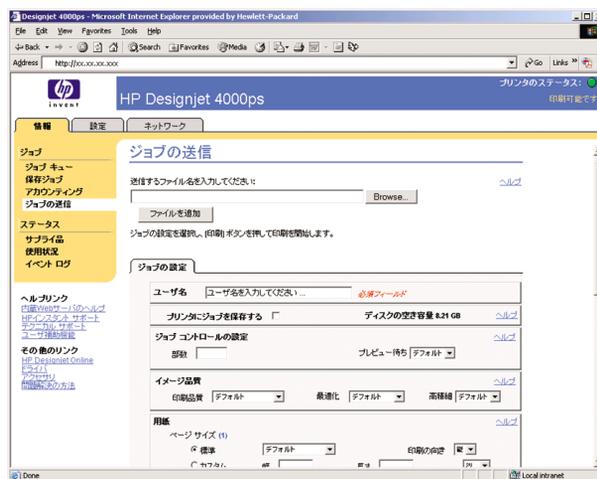
4. [OK] ボタンをクリックして、このダイアログ ボックスを閉じます。

7 印刷ジョブを管理するには

- 99 ページの [ジョブを送信するには]
- 100 ページの [ジョブを保存するには]
- 100 ページの [保存したジョブを印刷するには]
- 100 ページの [ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには]
- 101 ページの [ジョブをキャンセルするには]
- 101 ページの [印刷キューを管理するには]
- 103 ページの [ジョブをネスティングしてロール紙を節約するには]

ジョブを送信するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、13 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]を参照してください)。
2. [ジョブの送信] ページに移動します。



3. [参照] でコンピュータ内を移動し、印刷するファイルを選択します。



注記 内蔵Webサーバ経由でジョブを送信して印刷する場合は、プリンタドライバは必要ありません。また、ファイルのネイティブアプリケーションがコンピュータにインストールされている必要もありません。

4. 複数のファイルを送信する場合は、[ファイルを追加] ボタンをクリックして、ファイルを追加します。

5. ジョブのオプションを設定します。
オプションを **[デフォルト]** のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブにオプションが設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。プリンタの設定はフロントパネルから変更できます。内蔵Webサーバの **[デバイスの設定]** ページで変更できる場合もあります。
6. **[印刷]** ボタンをクリックします。

ジョブを保存するには

ジョブ設定 (サイズや品質など) を後で変更してジョブを再印刷する場合は、ジョブをプリンタに保存しておくとも送信する必要がなくなります。



注記 変更せずに再印刷する場合は、ジョブを保存しなくても印刷のキューから再印刷できます。

ジョブは、印刷のために送信中のときのみ保存できます。

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、13 ページの **[内蔵Webサーバにアクセスするには]** を参照してください)。
2. **[ジョブの送信]** ページに移動します。
3. **[参照]** でコンピュータ内を移動し、印刷するファイルを選択します。
4. 複数のファイルを送信する場合は、**[ファイルを追加]** ボタンをクリックして、ファイルを追加します。同時に送信されるファイルは、すべて同じジョブ設定になります。
5. ジョブの設定で、**[プリンタにジョブを保存する]** オプションを選択することをお勧めします。
6. 他のジョブ オプションも設定します。
7. **[印刷]** ボタンをクリックします。

保存したジョブを印刷するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、13 ページの **[内蔵Webサーバにアクセスするには]** を参照してください)。
2. **[保存ジョブ]** ページに移動します。
3. 各ジョブ名の横にあるチェック ボックスをオンにして、印刷するジョブを選択します (複数可)。
4. **[印刷]** ボタンをクリックして、ジョブを元の設定で印刷します。または、**[印刷の詳細設定]** をクリックして、設定を変更します。

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします (詳細は、13 ページの **[内蔵Webサーバにアクセスするには]** を参照してください)。

2. **[アカウンティング]** ページに移動します。プリンタで最近印刷されたジョブの情報がすべて表示されます。
または、**[ジョブ キュー]** ページに移動し、情報を確認するジョブの名前をクリックします。ジョブのプロパティ ページが表示されます。

ジョブをキャンセルするには

ジョブはキャンセルすることができます。それには、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押すか、内蔵Webサーバでジョブを選択し、**[キャンセル]** アイコンを選択します。

印刷終了時と同じように用紙が排出されます。



注記 複数ページのジョブや大きいファイルの場合、他のファイルよりも印刷が停止するまでに時間がかかります。

印刷キューを管理するには

ここに記載された情報は、プリンタに同梱のドライバかまたは内蔵Webサーバを使用して印刷ジョブを送信する場合にのみ該当します。

このプリンタでは、現在のページの印刷中に他のページをキューに保存することができます。キューには複数のジョブのページを保存できます。



注記 ジョブを印刷中にプリンタが停止した際、キュー機能がオンになっている場合は、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したとき、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

キューをオフにする

必要に応じてキューをオフにすることができます。内蔵Webサーバで、**[設定]** タブ - **[デバイスの設定]** - **[キューイング]** を選択します。または、フロントパネルで、 アイコンを選択して **[キューイング]** を選択します。

キューイング
<input type="radio"/> オン
<input checked="" type="radio"/> オフ

[印刷の開始] オプション



注記 [印刷の開始] オプションは、PostScriptジョブでは使用できません。

キューにあるファイルの印刷を開始する時期を選択できます。内蔵Webサーバで、**[設定]** タブ - **[デバイスの設定]** - **[印刷の開始]** を選択します。または、フロントパネルで、 アイコンを選択して **[印刷の開始]** を選択します。

選択できるオプションは3つあります。

- **[処理後]**：ページ全体の処理が終わってから印刷が開始されます。処理速度は最低で、印刷品質は最高になります。
- **[すぐに]**：ページを処理しながら印刷が行われます。処理速度は最高ですが、データ処理のため印刷が途中で停止することがあります。濃色を使用した複雑なイメージにはお勧めできません。
- **[最適化]**：デフォルトの設定です。ページの印刷開始に最適な時期をプリンタが算出します。通常、**[処理後]** および **[すぐに]** の中間に位置する設定になります。

キュー内のジョブを識別する

キューの内容を確認するには、内蔵Webサーバ (**[情報]** - **[ジョブ キュー]**) を使用するのが最適です。キューの管理や、各ジョブの詳細情報の確認を行うことができます (情報を確認するには、ファイル名をクリックします)。

また、キューはフロントパネルから管理することもできます。フロントパネルからキューを管理するには、 アイコンを選択して **[キューの管理]** を選択します。キュー内のジョブの一覧が表示されます。

各ジョブには識別子が付いていて、以下の形式で表示されます。

<キュー内の位置>: <イメージ名>

現在印刷中のジョブは、位置が「0」になります。次に印刷されるジョブは「1」、直前に印刷されたジョブは「-1」になります。

キュー内のジョブに優先順位を付ける

キュー内の任意のジョブを次に印刷されるように指定するには、ジョブを選択して **[再印刷]** (内蔵Webサーバ) または **[キューの先頭に移動する]** (フロントパネル) を選択します。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングに残ります。このジョブのみを次に印刷するには、ネスティングをオフにしてから、上記の手順でジョブをキューの先頭に移動します。

ジョブをキューから削除する

通常は、印刷後にジョブをキューから削除する必要はありません。新しいファイルが送信されると、ジョブはキューの末尾から自動的に削除されます。ただし、ファイルを間違って送信し、これは印刷しないという場合は、その

ファイルを削除することができます。ファイルを選択して **[削除]** (内蔵Webサーバまたはフロントパネル) を選択します。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

現在印刷中のジョブ (内蔵Webサーバでステータスが**[印刷しています]**、またはフロントパネルでキューの位置が「0」のジョブ) をキャンセルして削除するには、内蔵Webサーバで **[キャンセル]** アイコンをクリックするか、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押し、次にジョブをキューから削除します。

キュー内のジョブのコピーを作成する

キュー内のジョブのコピーを作成するには、内蔵Webサーバでジョブを選択し、**[再印刷]** アイコンをクリックして、部数を指定します。ジョブがキューの先頭に移動します。

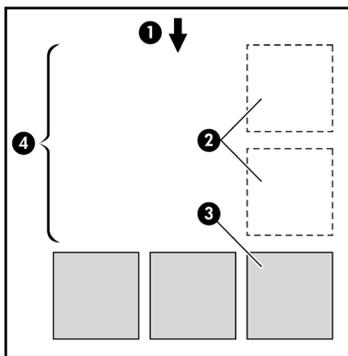
この作業はフロントパネルから行うこともできます。フロントパネルで **[部数]** を選択し、部数を指定して **選択(チェックマーク)** ボタンを押します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

 **注記** **[回転]** が **[オン]** になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

ジョブの印刷が終了している場合は、**[キューの先頭に移動する]** を使用して、ジョブをキューの先頭に移動します。

ジョブをネスティングしてロール紙を節約するには

ネスティングとは、ページを順々にではなく並べて用紙に配置することです。これにより、用紙を節約することができます。



1. 用紙送りの方向
2. ネスティングがオフ
3. ネスティングがオン
4. ネスティングによって節約された用紙

プリンタがページをネスティングする場合

次の両方に当てはまる場合に、ページがネスティングされます。

- プリンタにカット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- フロントパネルの [ジョブ管理] メニューまたは内蔵Webサーバの [デバイス設定] ページで、[ネスティング] がオンになっている。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に並べて収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。

ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが同じ品質設定 ([高速(ドラフト)]、[標準(高画質)]、または [高品質(最高画質)]) になっている。
- すべてのページで、[描画/テキスト] が最適化されているか、または [イメージ] が最適化されている。
- すべてのページの [高精細] 設定が同じである。
- すべてのページの [マージン] 設定が同じである ([広い]、または [ふつう])。
- すべてのページの [左右反転] 設定が同じである。
- すべてのページの [レンダリング用途] 設定が同じである。
- すべてのページの [カッター] 設定が同じである。
- すべてのページのカラー調整が同じである。これらの設定は、Windows ドライバでは [カラー詳細設定]、Mac OS ドライバでは [CMYK設定] と呼ばれています。
- ページがすべて同じカラーか、すべてグレースケールである (一部がカラー、一部がグレースケールではない)。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している (2つのグループは同じネストに混在できない)。
 - HP-GL/2、RTL、CAL S G4
 - PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が300dpiを超えるJPEG、TIFF、およびCAL S G4ページは、他のページとネスティングできない場合がある。

プリンタが別のファイルを待機する時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待機して、その後続くページがファイルにネスティングされているか、既にキューに入っているページにネスティングされているかを確認します。この待機時間は、ネスティング待ち時間と呼ばれます。工場出荷時のデフォルトのネスティング待ち時間は、2分です。つまり、プリンタは、最後のファイ

ルを受け取ってから、最後のネストを印刷するまでに最大2分間待機することになります。この待ち時間は、プリンタのフロントパネルから変更できます。🏠 アイコンをクリックして、**[ネスティングの設定] - [待ち時間]** を選択します。使用可能な範囲は、1～99分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待機している間、残り時間がフロントパネルに表示されます。ネストの印刷(ネスティング待機のキャンセル)は、**キャンセル** ボタンを押すことで実行できます。

8 プリンタの保守を行うには

- 107 ページの [プリンタの外側のクリーニングを行うには]
- 107 ページの [プラテンのクリーニングを行うには]
- 110 ページの [プリントヘッド キャリッジを潤滑にするには]
- 111 ページの [インクカートリッジの保守を行うには]
- 111 ページの [プリンタを移動または保管するには]
- 111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]

プリンタの外側のクリーニングを行うには

プリンタの外側や、通常の操作で触れるその他の部分 (インクカートリッジの引き出し用のハンドルなど) のクリーニングを行います。必要に応じて、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

 **警告** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタのスイッチがオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

 **注意** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

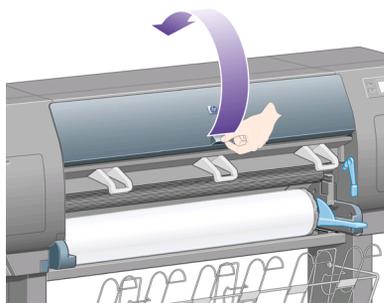
プラテンのクリーニングを行うには

数か月ごとに、または必要に応じて定期的に、プリンタのプラテンのクリーニングを行う必要があります。

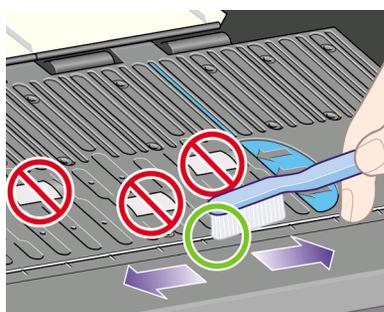
 **注記** 特定の用紙をしばらく使用した後で、それより幅の広い用紙に印刷を行うと、プラテンの左側が汚れ、クリーニングしないとインクが用紙の裏面に残る場合があります。

以下の手順に従って、プラテンのクリーニングを行います。

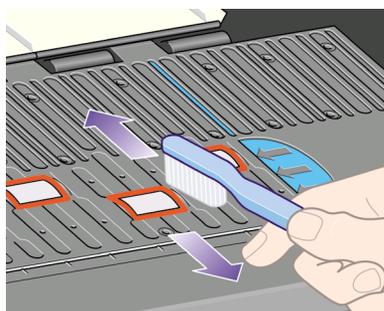
1. プリンタからすべての用紙を取り外します。
2. ウィンドウを開きます。



3. 乾いたブラシで、カッターの溝からインクの付着を取り除きます。



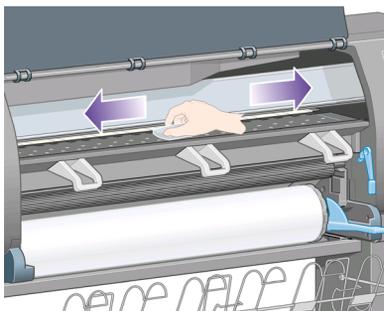
4. 同じ乾いたブラシで、プラテンの表面からインクの付着を取り除きます。



5. 吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピル アルコールを少し付けて、プラテンから落ちたインクの付着を拭き取ります。

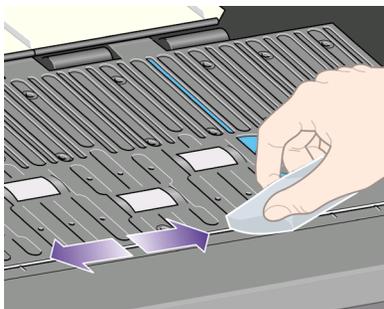


注記 イソプロピル アルコールは、メンテナンス キットに含まれていません。

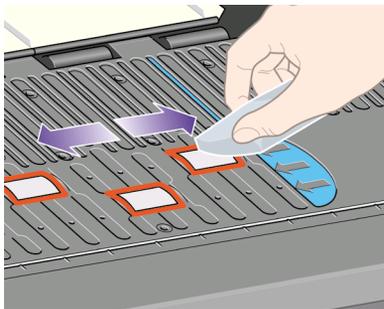


- △ **注意** 市販の洗剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。プラテンに水分が残るため、プラテンを直接濡らさないでください。また、ラバーホイールを濡らさないでください(布の使用も不可)。

6. 湿った布で、カッターの傾斜面のクリーニングを行います。



7. 乾いた布で、ホイールの露出している部分のクリーニングを行います。できれば、このホイールの周辺全体のクリーニングを行ってください。



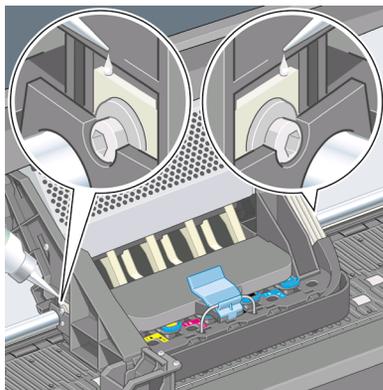
プリントヘッド キャリッジを潤滑するには

プリントヘッド キャリッジは、年に1度程度、潤滑油をさして、スライダ ロッドがスライドしやすいようにします。

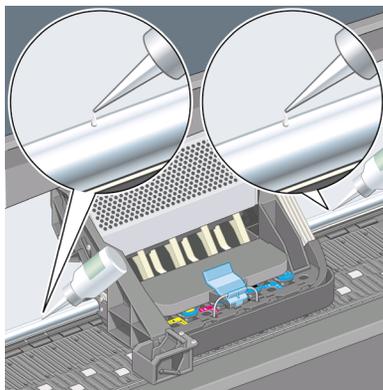
1. キャリッジを所定の位置に移動するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に[プリントヘッド]-[プリントヘッドの交換]を選択します。キャリッジがプリンタの中央部分にスライドします。

 **注意** キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上そのまま放置されると、右端の通常的位置に戻ります。

2. プリンタに付属のメンテナンス キットから、潤滑油を取り出します。必要に応じて、交換用のキットを注文できます。
3. ウィンドウを開き、キャリッジの両側のパッドに、数滴の潤滑油をさします。



4. キャリッジの両側のスライダ ロッドに直接、数滴の潤滑油をさします。



インクカートリッジの保守を行うには

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。

プリンタを移動または保管するには

プリンタを移動したり、長期間保管する必要がある場合は、適切な準備作業を行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッド、またはプリントヘッドクリーナは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プrintヘッドキャリッジが、プリンタ右端のサービスステーションにあることを確認します。
4. フロントパネルに、[印刷可能です]と表示されていることを確認します。
5. フロントパネルの電源ボタンを押して、電源をオフにします。
6. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
7. プリンタに接続されているケーブルをすべて取り外します。
8. 元の梱包材でプリンタを梱包します。

プリンタのファームウェアをアップデートするには

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packardから入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。ファームウェアは、内蔵Webサーバの[ファームウェアのアップデート]ページ([設定]タブにあります)を使用して、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールすることができます。

プリンタの接続にTCP/IPを使用していない(USBまたはAppleTalkを使用している場合など)ために内蔵Webサーバを使用できない場合は、次のWebページからファームウェアのアップデートとインストールソフトウェアを入手できます。

- <http://www.hp.com/support/designjet/fw4000/> または
- <http://www.hp.com/support/designjet/fw4000ps/>

9 イメージ診断印刷を使用するには

- 113 ページの [イメージ診断印刷を印刷するには]
- 114 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]
- 114 ページの [イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには]
- 116 ページの [イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには]
- 119 ページの [イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには]
- 120 ページの [問題が解決されない場合には]

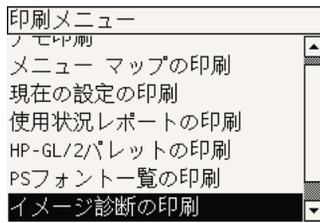
イメージ診断印刷を印刷するには

イメージ診断印刷では、印刷品質の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これを使用すると、印刷品質に問題があるかどうかを確認し、問題がある場合は、問題の原因と解決方法を特定できます。

イメージ診断印刷を使用する前に、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください (詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください)。

イメージ診断印刷を印刷するには、以下の手順に従います。

1. A3サイズ (29.7 × 42cm = 11.7 × 16.5インチ) 以上の用紙がプリンタに取り付けられていることを確認してください。問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルに、問題が検出された時と同じ印刷品質が設定されていることを確認します (詳細は、65 ページの [印刷品質を変更するには] を参照してください)。イメージ診断印刷では、**[描画/テキスト]** と **[イメージ]** の違いは、**[イメージ]** の方がパート2で多くのインクを使用するため、色が暗くなるという点のみです。
[イメージ] を選択した場合、印刷には2分15秒かかります。**[描画/テキスト]** を選択した方が、印刷時間が短くなる場合があります。ただし、これは用紙の種類により異なります。
3. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[情報メニュー]** - **[印刷メニュー]** - **[イメージ診断の印刷]** - **[描画/テキスト]** または **[イメージ]** を選択します。



プリンタが印刷可能になったら、114 ページの [イメージ診断印刷を使用するには] を参照してください。

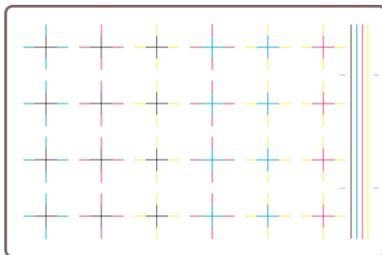
イメージ診断印刷を使用するには

イメージ診断印刷は、番号が付いた3つのパートに分かれています。

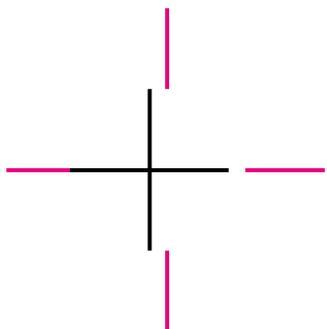
1. パート1では、プリントヘッドの軸合わせのテストが行われています。詳細は、114 ページの [イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには] を参照してください。
2. パート2では、プリントヘッドの動作と用紙送り機構がテストされています。詳細は、116 ページの [イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには] を参照してください。
3. パート2でプリントヘッドに問題があると確認された場合、パート3では、8つのプリントヘッドのどれに問題があるのかが特定されます。詳細は、119 ページの [イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには] を参照してください。
 パート2で何も問題が確認されなかった場合は、パート3の内容は無視してください。

イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには

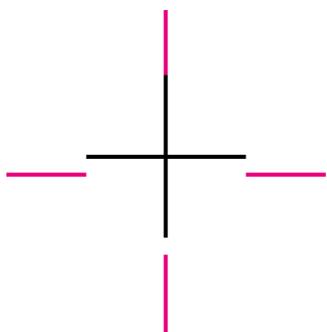
パート1では、カラーの軸合わせおよび両方向の軸合せの問題を確認します。



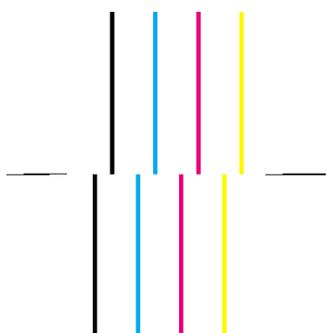
水平方向の軸合わせ不良がある場合、次のように表示されます。



垂直方向の軸合わせ不良がある場合、次のように表示されます。



両方向の軸合わせ不良がある場合、次のように表示されます。



補正処理

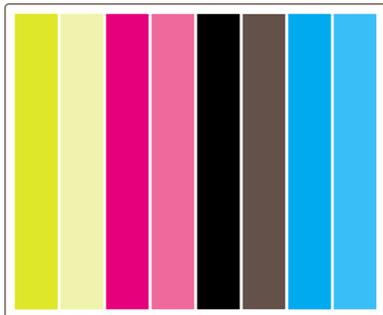
1. 可能であれば、印刷品質が不適切だったときと同じ用紙の種類を使用して、プリントヘッドの軸合わせを行います (一部の用紙はプリントヘッドの軸合わせに適していません)。詳細は、56 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには] を参照してください。

第9章

- 印刷品質が改善されない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

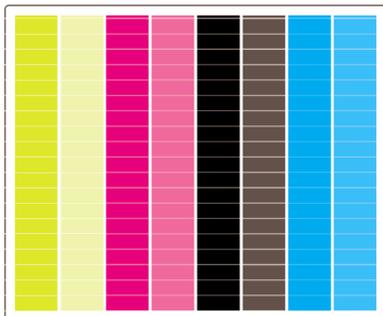
イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには

パート2では、プリントヘッドおよび用紙送りの機構が正しく動作しているかどうかを確認できます。このパートは、色の一貫性や精度の確認には使用しないでください。

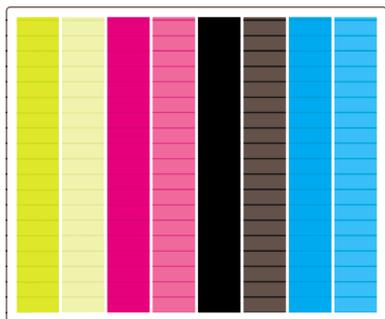


帯状のムラ

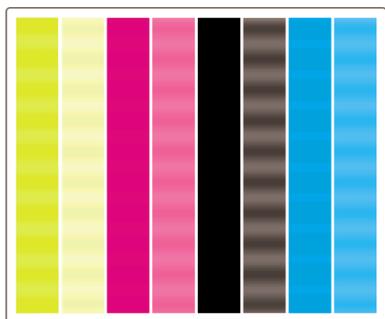
帯状のムラは、印刷したイメージに水平方向の帯状のムラが繰り返し表示される場合に発生します。次のように、薄い帯状のムラが表示される場合があります。



次のように、濃い帯状のムラが表示される場合もあります。



または、次のように、段階的な波状のムラが表示される場合もあります。

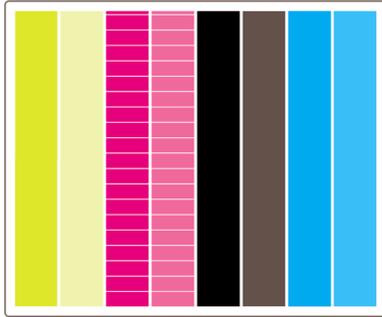


特定の色にのみ表示される水平方向の帯状のムラ

プリントヘッドに問題があると、特定の色にのみ、水平方向の帯状のムラが表示されます。または、特定の色に表示される水平方向のムラが、他の色のムラよりも顕著に表示されます。



注記 グリーンに表示されるムラはあまり目立ちません。このムラは、イエローのプリントヘッドまたはシアンプリントヘッドに原因がある場合があります。グリーンにのみ帯状のムラが表示される場合は、イエローのプリントヘッドが原因です。グリーンとシアンに帯状のムラが表示される場合は、シアンのプリントヘッドが原因です。



補正処理

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
2. プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには] を参照してください。
3. もう一度、イメージ診断印刷を実行してください。それでもムラが表示される場合は、手順4、5に進んでください。
4. 色ごとに2つのプリントヘッドがあるため、イメージ診断印刷のパート3を見て、どのプリントヘッドに問題があるかを確認します。詳細は、119 ページの [パート 3] を参照してください。
5. 問題があるプリントヘッドを交換してください。詳細は、43 ページの [プリントヘッドを取り外すには] および 47 ページの [プリントヘッドを取り付けるには] を参照してください。

すべての色に表示される水平方向の帯状のムラ

プリンタの用紙送りに問題がある場合、すべての色で水平方向の帯状のムラが発生します。



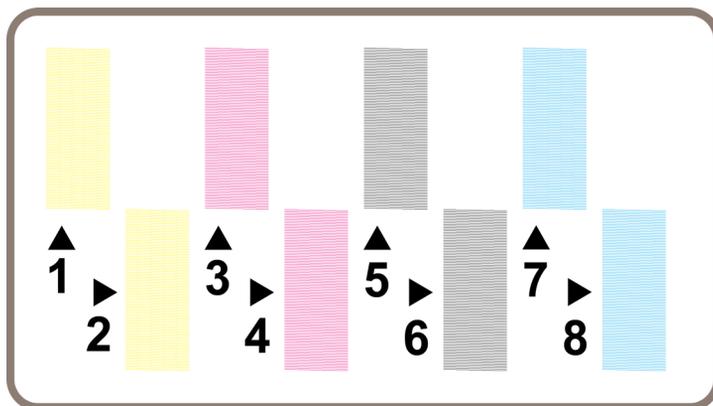
注記 グリーンに表示されるムラは、あまり目立ちません。

補正処理

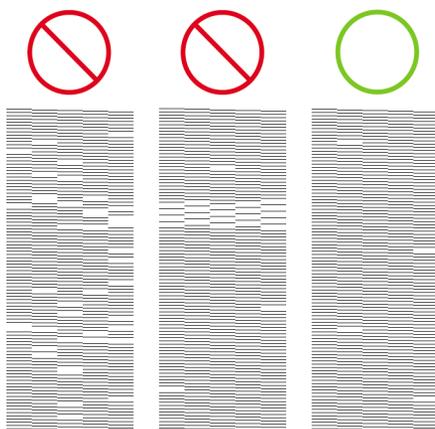
1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
2. 低品質の用紙を使用している場合は、高品質の用紙に変更してみてください。プリンタのパフォーマンスは、推奨されている用紙を使用する場合にのみ保証されます。詳細は、32 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには] を参照してください。
3. 最終印刷に使用するのと同じ用紙の種類で、拡張精度キャリブレーションを実行します。詳細は、121 ページの [拡張精度キャリブレーションを実行するには] を参照してください。
4. 印刷品質が改善されない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには

パート2でプリントヘッドに問題があることを確認した場合、パート3では、特定のプリントヘッドに問題があるかどうかを確認します。このプロットの各長方形には、印刷したプリントヘッドの番号のラベルが付いています。



以下の3つは、黒い長方形の1つを拡大したもので、細い線が長方形を形成していることが分かります。



上の図のうち左の2例は、印刷されない線が多くあるため、プリントヘッドに問題がある可能性があります。左から3番目の例の場合、わずかに数行が欠けていますが、プリンタにより問題が補正されるためプリントヘッドに問題はありません。

補正処理

パート3でプリントヘッドの問題を検出し、パート2では問題がなかった場合は、ただちに補正処理を行う必要はありません。これは、プリンタによって問題が補正され印刷品質が維持されているためです。ただし、パート2でも問題を検出した場合は、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには] を参照してください。
2. 印刷品質が改善されない場合は、問題があるプリントヘッドを交換してください。詳細は、43 ページの [プリントヘッドを取り外すには] および 47 ページの [プリントヘッドを取り付けるには] を参照してください。

問題が解決されない場合には

イメージ診断印刷の処理全体では不具合が検出されなかったにもかかわらず、印刷品質に問題がある場合は、以下の点を確認してください。

- 印刷品質オプションを今より高いレベルにしてみます。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] および 65 ページの [印刷品質を変更するには] を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP製以外のドライバの場合は、<http://www.hp.com/go/designjet/> にアクセスして、適切なHPドライバをダウンロードしてください。
- HP製以外のRIPを使用している場合、設定が不適切である可能性があります。RIPに付属のマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。詳細は、111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには] を参照してください。
- ソフトウェア アプリケーションが正しく設定されているかどうかを確認します。
- 問題がページの上部でのみ発生する場合は、134 ページの [印刷の開始近くで不具合が発生する] を参照してください。

10 拡張精度キャリブレーションを実行するには

プリンタは出荷時にキャリブレーションが行われているため、サポートされている用紙であれば、通常的环境条件では高い精度で用紙を送ります。ただし、状況によっては、キャリブレーションを行ったほうがよい場合があります。

- サポートされていない用紙：他のメーカーから提供されている厚さや硬さの異なる用紙を使用する場合は、キャリブレーションを行うと効果的な場合があります。HPの推奨用紙を使用すると、最高の印刷品質を実現できます（32ページの「サポートされている用紙の種類を選択するには」を参照してください）。
- 通常と異なるが安定した環境条件：温度または湿度（[ユーザズガイド]の「動作環境の仕様について」を参照）が通常と異なるものの、安定した条件下で印刷する場合は、キャリブレーションが効果的です。

ただし、拡張精度キャリブレーションは、イメージ品質に関する問題があり、適切なトラブルシューティング手順がすでに実行されていることを前提とした機能です。特に問題がない場合は、キャリブレーションを実行する必要はありません。

拡張精度キャリブレーションを実行する前に、イメージ診断印刷を使用して、プリントヘッドの軸合わせが正しく行われていることを確認してください（113ページの「イメージ診断印刷を印刷するには」を参照してください）。

 **注記** 理論上は、拡張精度キャリブレーションによって印刷品質が向上するはずですが、キャリブレーションを実行しても品質が向上しない場合は、誤った用紙送り設定を選択したために、出力品質が低下している可能性があります。この場合は、フロントパネルで  または  アイコンを選択し、次に [拡張精度キャリブレーション] - [描画/テキスト] または [イメージ] - [パターンの選択] - [工場出荷時のデフォルト] を選択します。

キャリブレーション処理の概要

1. フロントパネルを使用して、プリンタに保存されているカラーパターンを7回印刷します。7回とも異なる用紙送り設定を使用します。
2. どのパターンが最も正常に印刷されたかを判断します。
3. フロントパネルを使用して、最適なパターンおよび今後使用される用紙送り設定をプリンタに通知します。

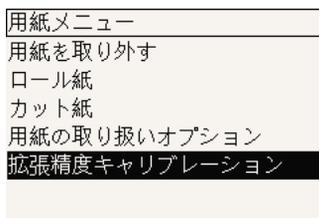
 **注記 1** フロントパネルに表示される用紙の種類ごとに用紙送りの設定が異なるため、キャリブレーションは個別に実行する必要があります。特定の用紙の種類のカリブレーションが行われる場合、その他の用紙の種類の設定はどれも影響を受けません。

注記 2 [最適化：描画/テキスト] および [最適化：イメージ] ではそれぞれ別の用紙送り設定が行われるため、キャリブレーションは個別に実行する必要があります。

注記 3 メーカーが異なる用紙は、同じ種類であっても、それぞれ別の用紙送り設定が必要な場合があります。そのため、キャリブレーションを行っていない用紙に対しては、その設定が効果的でない場合があります。キャリブレーションを実行すると、その用紙の前の用紙送りの設定が上書きされます。

キャリブレーション処理の詳細

1. 印刷に使用する用紙をプリンタに取り付けます。幅41cm (16インチ)、長さ75cm (30インチ) 以上の用紙を使用してください。
2.  または  アイコンを選択し、次に [拡張精度キャリブレーション] を選択します。

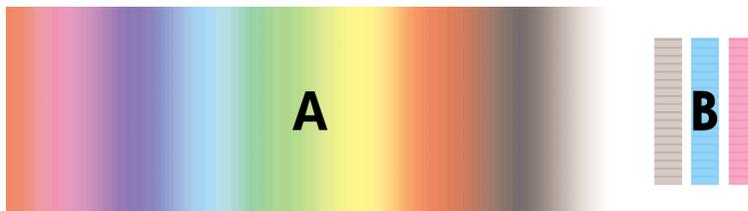


3. 印刷の種類に応じて、[描画/テキスト] または [イメージ] を選択します。



注記 ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルでは、必ず後で印刷に使用すると同じ設定を選択してください ([最適化：描画/テキスト] または [最適化：イメージ])。同じでないものを選択した場合、キャリブレーションを行っても効果はありません。

4. [パターンを印刷します] を選択します。プリンタは、番号付きのパターン (1~7) を印刷します。[描画/テキスト] を選択した場合、各パターンは次のようになります。

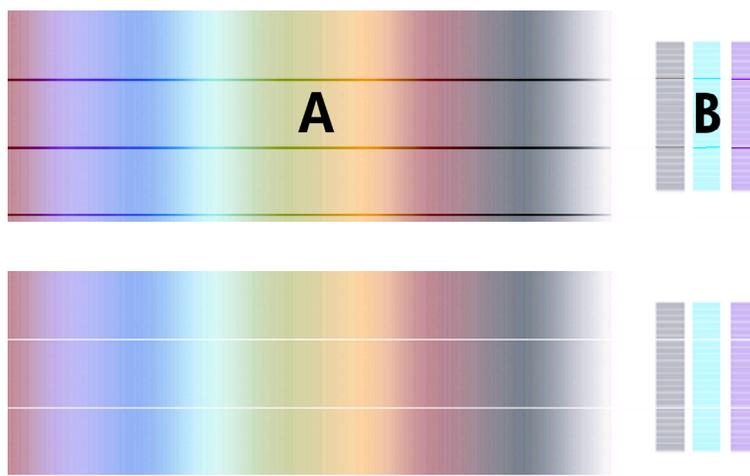


または [イメージ] を選択した場合、各パターンは次のようになります。



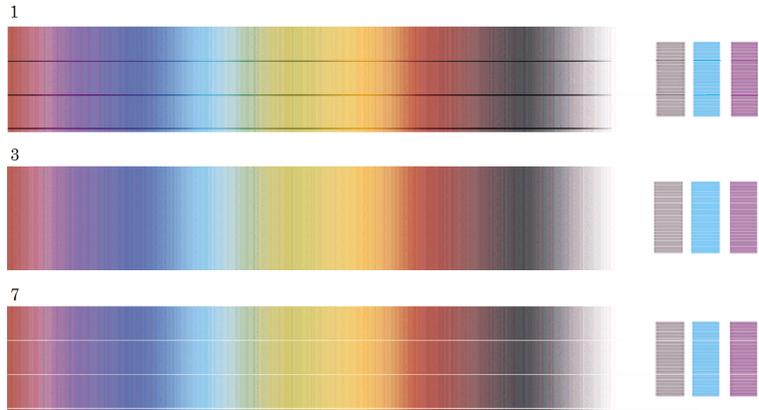
5. **[描画/テキスト]** の場合、印刷には約3分、**[イメージ]** の場合は約5分かかります。キャリブレーションの印刷が完了すると、プリンタは用紙をカットします。
6. 印刷された各パターン (1~7) を見て、どのパターンが最高品質かを判断します。各パターンには、左側に連続したカラー階調度 (A) が表示され、右側に別の内容のもの (B) が表示されます。どちらも状況に合わせて、最適なパターンを判断するのに役立ちます。ただし、光沢紙またはキャンバスを使用している場合は、Aの部分を無視し、Bの部分のみを確認して選択することをお勧めします。
 - カラー階調度の部分 A では、明るい (または暗い) 水平方向の帯 (帯状のムラ) がないかどうか確認してください。これは、用紙送りが適切ではないことを示します。通常は、最初のパターンに暗い帯、最後のパターンに明るい帯が印刷されます (以下の例を参照)。最適なパターンは、帯状のムラがないものです。判断できない場合は、暗い帯のある最後のパターンと、明るい帯のある最初のパターンの間にある、中央のパターンを選択してください。

拡張精度キャリブレーションを実行するには



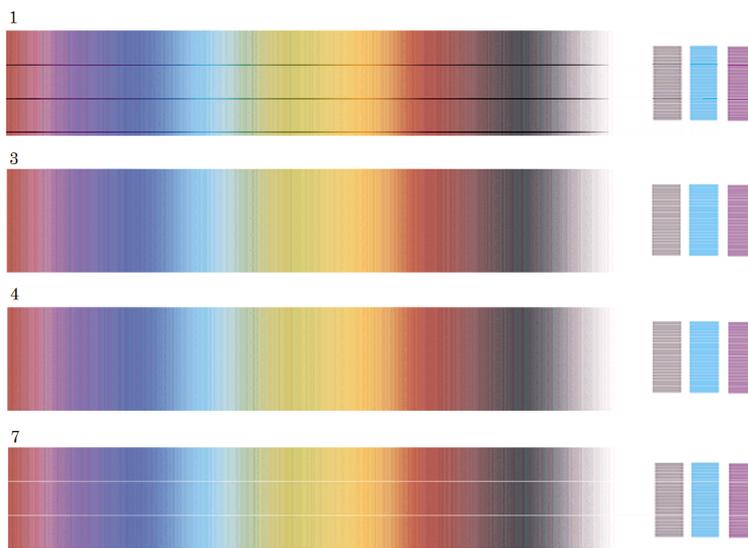
最適なパターンを特定できない場合は、以下の例の説明を参考にしてください。

- 明らかに最適なパターンが1つだけあり、上下のパターンには以下に示す明るい帯または暗い帯がある場合は、このパターンを選択してください。



- 以下に示すように、帯状のムラがない、隣り合った2つのパターンがある場合は、この2つのパターンの上下にあるパターンを参考にして、最適なパターンを選択してください。たとえば、同じパターンが2つあるときに、上のパターンの方が帯状のムラが少ない場合は、すぐ下のパターンを選択してください。

拡張精度キャリブレーションを実行するには



- 帯状のムラがない3つのパターンがある場合は、中央のパターンを選択してください。
 - 印刷されたもののB部分を見ると、一部のパターンが他のパターンよりも暗く見える場合があります。最適なパターンは、最も明るく、明るさが一定して、ざらつきが少なく見えるものです。
7. または アイコンを選択し、次に **[拡張精度キャリブレーション] - [描画/テキスト]** または **[イメージ] - [パターンの選択]** を選択します。
 8. 最適な印刷のパターンの番号 (1~7) を選択します。パターン3と4のように、2つのパターンから選択するのが難しい場合は、パターン3と4の間を選択します。

これで、キャリブレーションは完了です。

キャリブレーションを行ったあと

拡張精度キャリブレーションにより印刷品質の問題が小さくなくても完全に解決しない場合は、手順7を再試行して、別の番号を選択してください。明るい帯がある場合は、最初に選択した番号よりも小さい番号を選択してください。

暗い帯がある場合は、大きい番号を選択してみてください。キャリブレーション後の設定を、プリンタ出荷時の用紙送り設定に戻す場合は、 または アイコンを選択し、次に **[拡張精度キャリブレーション] - [描画/テキスト]** または **[イメージ] - [パターンの選択] - [工場出荷時のデフォルト]** を選択します。

拡張精度キャリブレーションを実行
するには

11 印刷品質の問題

- 127 ページの [一般的なヒント]
- 128 ページの [帯状のムラがある (イメージに横線)]
- 129 ページの [線が印刷されない、または細い印刷品質の問題]
- 129 ページの [イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる]
- 131 ページの [ざらつきが発生する]
- 131 ページの [用紙が平らになっていない]
- 132 ページの [触れたときに印刷が汚れる]
- 132 ページの [用紙にインクが残る]
- 134 ページの [印刷の開始近くで不具合が発生する]
- 134 ページの [線が段状になる]
- 135 ページの [線が二重または間違った色で印刷される]
- 136 ページの [線が連続していない問題]
- 136 ページの [線がぼやけている (インクが線でにじむ)]
- 137 ページの [線が少しゆがんでいる]
- 137 ページの [カラー精度の問題]
- 137 ページの [PANTONEカラー精度の問題]
- 139 ページの [他のHP Designjetと色が一致しない]

一般的なヒント

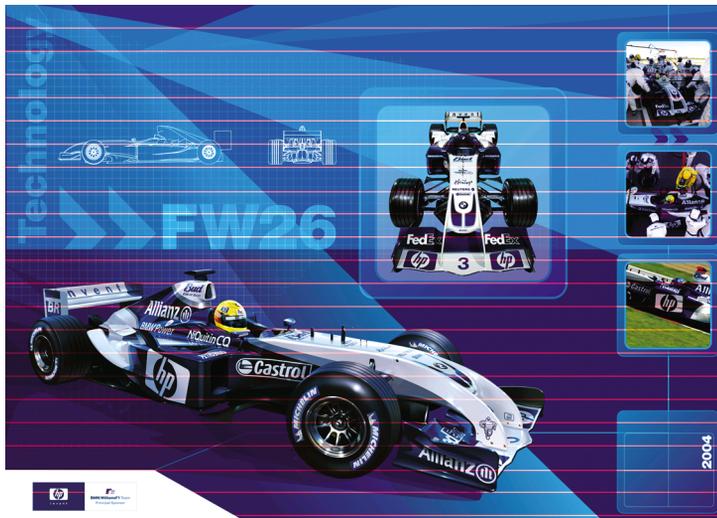
印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検査されており、トラブルがなくパフォーマンスと最高品質の印刷を実現することができるためです。推奨する用紙の詳細については、32 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには] を参照してください。
- フロントパネルで選択されている**用紙の種類**が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。これを確認するには、フロントパネルの または アイコンをハイライトさせます。
- 用紙の種類が同じである場合、一般的にカット紙よりロール紙の方が高い印刷品質を実現できます。カット紙を使用している場合は、印刷品質を常に **[高品質]** に設定することを強くお勧めします。
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうか確認します (65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください)。印刷品質の問題が最も起こりやすいのは、印刷品質を **[高速]** に設定している場合です。

- 印刷速度を遅くしても最高の印刷品質を維持する場合は、[プリントヘッドのモニタ] 設定を [強化] に設定します。詳細は、50 ページの [プリントヘッドのモニタ状況を管理するには] を参照してください。
- 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているか確認します。詳細は、[ユーザズ ガイド] の「動作環境の仕様について」を参照してください。

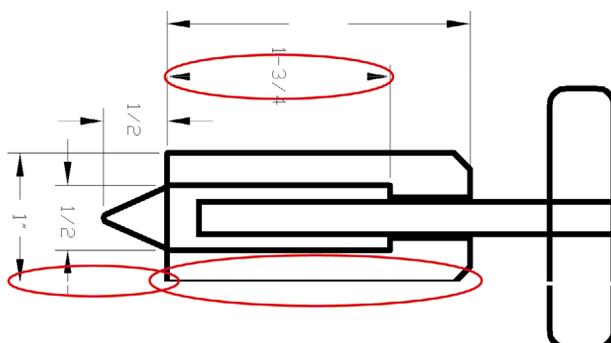
帯状のムラがある (イメージに横線)

以下のように、印刷イメージに横線が表示される場合 (色は異なる場合があります) は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。詳細は、50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには] を参照してください。
3. 厚い用紙に変更してみてください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。
4. 問題が解決されない場合は、イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。詳細は、113 ページの [イメージ診断印刷を使用するには] を参照してください。

線が印刷されない、または細い印刷品質の問題

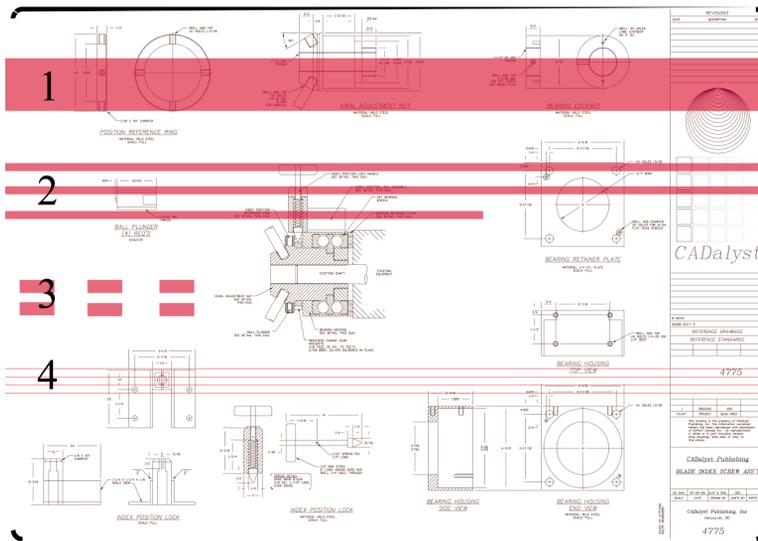


1. 線の太さおよび色の設定が正しいかどうかを、アプリケーションで確認します。
2. プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには] を参照してください。
3. 問題が解決されない場合は、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認して、イメージを印刷してください (65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください)。
4. 厚い用紙に変更してみてください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。
5. 問題が解決されない場合は、イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。詳細は、113 ページの [イメージ診断印刷を使用するには] を参照してください。

イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる

下の図のマゼンタ色で表示されている部分のように、この問題はさまざまな形状で現れます。

1. 太い色付きの帯
2. 細い色付きの帯
3. 不連続状の色付きのブロック
4. 細い線



いずれの場合でも、以下の手順に従うことをお勧めします。

1. 問題があると思われるプリントヘッドの電極部分をクリーニングします (この例では、マゼンタのプリントヘッド)。詳細は、50 ページの [プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには] を参照してください。
2. プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには] を参照してください。
3. 前と同じ設定でイメージを印刷します。
4. 問題が解決しない場合は、問題の原因になっていると考えられるプリントヘッドを交換します。どのプリントヘッドが原因かわからない場合は、イメージ診断印刷を使用して、プリントヘッドを特定します。詳細は、113 ページの [イメージ診断印刷を使用するには] を参照してください。

ざらつきが発生する



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
2. イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。詳細は、113 ページの [イメージ診断印刷を使用するには] を参照してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙された用紙が平らになっておらず、浅く波打っている場合、印刷されたイメージに縦の筋などの不具合が発生することがあります。

これは、インクが染み込んだ薄い用紙を使用した場合に発生する可能性があります。



厚い用紙に変更してみてください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには]を参照してください。

触れたときに印刷が汚れる

黒の顔料は、指やペンで触れると汚れます。これは特に、ベラム紙、半透明ボンド紙、フィルム、フォト用紙、およびトレーシングペーパーを使用した場合に顕著です。

汚れを少なくするには、以下の手順に従ってください。

- 湿度が高すぎない環境で印刷してみます。詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「動作環境の仕様について」を参照してください。
- イメージの純粋な黒のオブジェクトを、こげ茶などの暗い色に変更して、黒インクではなくカラーインクで印刷するようにします。
- HP厚手コート紙を使用します。
- 乾燥時間を増やします (36 ページの [乾燥時間を変更するには]を参照してください)。

用紙にインクが残る

この問題は、複数の理由で発生します。

コート紙の表面に汚れがある

コート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。

この問題が発生した場合は、印刷ジョブをただちにキャンセルする必要があります。キャンセル ボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。それ以外の場合、インクが染み込んだ用紙が原因で、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解消するには、以下を方法を試してください。

- 推奨する用紙の種類を使用します (32 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]を参照してください)。
- 印刷するイメージに強い色彩が含まれている場合は、HP厚手コート紙を使用してみます。
- マージン設定を広くします (68 ページの [マージンを調整するには]を参照)。または、ソフトウェア アプリケーションを使用してページ内のイメージを移動し、マージンを大きくします。
- 必要に応じて、透明フィルムなどの紙以外の材質に変更してみます。

光沢紙の表面に汚れやキズがある

光沢紙は、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。これは、印刷したインクの量と、印刷時の環境条件によって異なります。用紙に触れないようにして、印刷物は注意深く扱ってください。

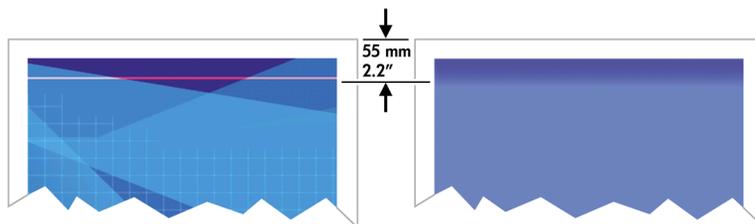
カット紙を1枚スタッカに入れて、印刷直後の用紙がスタッカと直接触れないようにすることをお勧めします。

用紙の裏面にインクが付着する

プラテンのインクが用紙の裏に付着する可能性があります。詳細は、107 ページの [プラテンのクリーニングを行うには] を参照してください。

印刷の開始近くで不具合が発生する

用紙の端から5.5cm以内の、印刷の最初の部分にのみ不具合が発生することがあります。色調がそろっていない細い帯または太い帯が現れます。

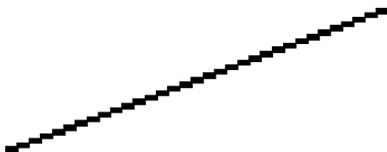


この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 最も簡単な解決方法は、プリンタ ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルで、[マージン設定 - 広い] を選択します。これにより、問題の影響を受ける (ページの始まり) 範囲が印刷されなくなります。詳細は、68 ページの [マージンを調整するには] を参照してください。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。

線が段状になる

印刷時に、イメージの線が段状になるとか、またはぎざぎざになった場合、以下の手順に従ってください。

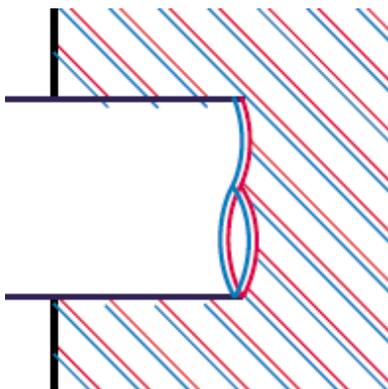


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させてみます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
3. [高精細] オプションをオンにします。

線が二重または間違った色で印刷される

以下に示すように、この問題にはさまざまな種類があります。

- 色付きの線が、別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。詳細は、56 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには] を参照してください。

線が連続していない問題

以下の図のように、線が連続していない場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
2. カット紙よりもロール紙を使用したほうが、縦線を鮮明に印刷できます。カット紙を使用する場合は、印刷品質を **[高品質]** に設定してください。
3. HP 厚手コート紙または HP 光沢フォト用紙2などの厚い紙に変更してみてください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。
4. プリントヘッドの軸合わせを行います。詳細は、56 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには] を参照してください。

線がぼやけている (インクが線でにじむ)

インクが用紙に染み込んでいる場合、線がぼやけてあいまいになります。これは、空気中の湿気が原因になっている可能性があります。

1. 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているか確認します。詳細は、[ユーザーズ ガイド] の「動作環境の仕様について」を参照してください。
2. HP 厚手コート紙または HP 光沢フォト用紙2などの厚い紙に変更してみてください。詳細は、65 ページの [印刷品質設定を選択するには] を参照してください。



注記 既にこれを試している場合は、厚めの用紙で試してみてください。特に、光沢フォト用紙は乾きにくい用紙なので、十分に注意してください。

3. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうか確認します。
4. プリンタの出力を早くするために、フロントパネルで乾燥時間を調整した可能性があります。🕒 アイコンをクリックして、**[乾燥時間の設定] - [乾燥時間]** を選択し、**[最適]** に設定されていることを確認します。

5. 印刷物が個別に乾燥する時間を確保します。印刷物を覆ったり重ねたりしないでください。

線が少しゆがんでいる

用紙自体がゆがんでいる可能性があります。これは、用紙を不適切な環境で使用または保管している場合に発生します。詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「動作環境の仕様について」を参照してください。

カラー精度の問題

カラー精度を実現するには、2つの基本的な要件があります。

1. 用紙の種類に対してキャリブレーションが実行済みであることを確認します。これにより、大量の印刷でも、またプリンタを変えても色の一貫性を実現できます。詳細は、75 ページの [カラー キャリブレーションを実行するには]を参照してください。
2. アプリケーションで適切なオプションを選択します。75 ページの [プリンタで高いカラー精度を得るには]を参照してください。



注記 PostScriptを使用している場合は、ソフトウェアのパレットではなく、内蔵のペンパレットの1つが使用される (デフォルト) ようにプリンタが設定されていることに注意してください。詳細は、146 ページの [ペンの設定が適用されない]を参照してください。

ページ レイアウト アプリケーションでEPSまたはPDFイメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesignやQuarkXPressなどのページ レイアウト アプリケーションは、EPS、PDF、またはグレースケール ファイルのカラーマネージメントをサポートしていません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesignまたはQuarkXPressで使用するのと同じカラー スペースに、EPS、PDF、またはグレースケール イメージが既にあることを確認します。たとえば、SWOP標準に従った印刷機でジョブを印刷することを目標にしている場合は、EPS、PDF、またはグレースケールの作成時に、イメージをSWOPに変換する必要があります。

PANTONE カラー精度の問題

スポット カラーは、前もって混合された特殊なインクで、印刷機で直接使用されます。最も有名なスポット カラーは、PANTONEカラーです。

PostScriptモデルを使用している場合、プリンタには自動PANTONE(R)キャリブレーションという機能があります。これにより、ほとんどのPANTONE ソリッド コーテッド スポット カラーと簡単に一致させることができます。アプリケーションがPANTONEカラーを印刷用に送信すると、該当する

CMYK値の推定値とPANTONE名が送信されます。自動PANTONE(R)キャリブレーション機能は、PANTONE名を認識して、プリンタ モデルおよび選択した用紙の種類に基づいて、CMYKに変換します。

これにより、アプリケーションによって送信された一般的なCMYK値よりも精度の高いカラーのレンダリングが可能になります。本機はPantoneで認定されていますが、PANTONEカラーを完全に再現できるわけではありません。

自動PANTONE(R)キャリブレーションの使用 (最良の選択)

自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用するには、PANTONEカラーを認識するアプリケーションと、キャリブレーション実行済みのPostScriptプリンタが必要です。

自動PANTONE(R)キャリブレーション機能は、PANTONEソリッド コーテッド カラー (サフィックスC) のみをエミュレートします。その他のPANTONEカラーは、アプリケーションによって送信されたCMYK値で印刷されます。

PANTONEカラーの手動変換

PostScript以外のプリンタを使用している場合、またはPANTONEカラーの名前をプリンタに送信しないアプリケーション (Adobe Photoshopなど) を使用している場合は、自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用することはできません。代わりに、プリンタと用紙の種類別に作成された表を使用して、各PANTONEカラーをアプリケーションのCMYK値に手動で変換できます。

アプリケーションにPANTONEカラーをCMYK値に自動的に変換する機能がある場合でも、プリンタまたは用紙の種類は考慮されない可能性があるため、表を使用して手動で変換する方が、よい結果が得られます。

PANTONEキャリブレーション カラー チャートは、EPS、TIFF、およびPDF形式で入手することもできます。このチャートは、アプリケーションに、インポートしたグラフィックからカラーを抽出するスポイト ツールが備わっている場合に便利です。

ヒント

- 自動PANTONE(R)キャリブレーションは、PostScriptプリンタでのみ機能します。
- 自動PANTONE(R)キャリブレーションがドライバでオンになっていることを確認してください。
- アプリケーションによっては、PANTONEカラーを完全にサポートしていない場合もあります。たとえば、Photoshop 7.0は、PANTONEカラーとその名前を送信しません。標準の表からCMYK値を抽出し、その値のみを送信します。
- 一部の色は色域の範囲外になるため、プリンタと用紙の種類に一致させることができない場合があります。

他のHP Designjetと色が一致しない

異なる2機種のプリンタ (HP Designjet 4000シリーズ プリンタとHP Designjet 1000シリーズ プリンタなど) でイメージを印刷した場合、2つの印刷物の色が一致しないことがあります。

それぞれの印刷デバイスで、インクの化学組成、用紙の化学組成、およびプリントヘッドが違っている場合、色を完全に一致させることはできません。ここでは、特定のプリンタを別のプリンタでエミュレートする最適な方法を説明します。その場合でも、印刷結果は完全に一致するとは限りません。

別々のPostScriptドライバ経由で印刷する場合

PostScriptドライバがそれぞれにインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。以下の例では、HP Designjet 4000シリーズ プリンタおよびHP Designjet 1000シリーズ プリンタを使用しているものとします。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。詳細は、111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、<http://www.hp.com/go/designjet>にアクセスしてダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] - [オン] を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルの [用紙の種類] に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. 通常の設定を使用して、HP Designjet 1000シリーズ プリンタで印刷を実行します。
7. 同じイメージを、今度はHP Designjet 4000シリーズ プリンタで印刷する準備を行います。
8. アプリケーションで、イメージのカラー スペースを設定し、HP Designjet 1000シリーズ プリンタとそのプリンタで使用した特定の用紙の種類をエミュレートします。ドライバに送信されるデータは、既にこのエミュレーション カラー スペース (CMYKカラー スペース) に変換されている必要があります。変換方法の詳細については、アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。このようにして、この用紙の種類で印刷が行われたときに1000シリーズが作成した色が、4000シリーズによってエミュレートされます。
9. HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用PostScriptドライバで [カラーマネージメント] セクションに移動し、CMYK入力プロファイルを、アプリケ

ーションで選択したものと同一HP Designjet 1000シリーズ プリンタのカラー スペース (エミュレーション カラー スペース) に設定します。



注記 別のプリンタのエミュレートを行う場合は、RGBカラーではなく必ずCMYKカラーを使用してください。

10. 用紙の白さをエミュレートする場合は、レンダリング用途を [相対カラーメトリック] または [絶対カラーメトリック] に設定します。
11. HP Designjet 4000シリーズ プリンタでイメージを印刷します。

別々のHP-GL/2ドライバ経由で印刷する場合

HP-GL/2ドライバがそれぞれインストールされているプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。詳細は、111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには] を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、<http://www.hp.com/go/designjet> にアクセスしてダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] - [オン] を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルの [用紙の種類] に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用HP-GL/2ドライバで、[カラー] タブを選択し、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。
7. HP Designjet 1000シリーズ プリンタ用HP-GL/2ドライバで、[オプション] タブを選択して、[手動カラー] - [カラー コントロール] - [ディスプレイカラー] を選択します。また、[用紙サイズ] タブを選択して、[用紙の種類] を選択し、[エンハンスド カラー] を選択します。

同一のHP-GL/2ファイルを印刷する場合

一方のプリンタにインストールされたHP-GL/2ドライバを使用してHP-GL/2ファイル (PLTファイルとも呼ばれます) を生成し、生成したファイルを両方のプリンタに送信する場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。詳細は、111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには] を参照してください。

2. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。
HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] - [オン]** を選択します。
3. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
4. フロントパネルの **[用紙の種類]** に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
5. HP Designjet 1000シリーズ プリンタ用に生成したHP-GL/2ファイルを、HP Designjet 4000シリーズ プリンタで印刷する場合は、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで以下の手順に従います。
 - 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページの [カラーマネージメント] セクションで、**[入力プロファイル：RGB]** を **[なし (ネイティブ)]** に設定します。
 - フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルトメニュー] - [カラー オプション] - [RGB入力プロファイル：なし (ネイティブ)]** を選択します。

その他のHP Designjetプリンタを使用する場合は、画面の色がそれぞれのHP-GL/2ドライバを使用して印刷したときと一致するように (選択できる場合はsRGBに)、両方のプリンタを設定します。

12 イメージエラーの問題

- 143 ページの [まったく印刷されない]
- 143 ページの [一部しか印刷されない]
- 144 ページの [イメージの一部が印刷されない]
- 145 ページの [イメージが印刷可能の範囲に小さく印刷される]
- 145 ページの [イメージが誤った向きに回転される]
- 145 ページの [イメージが左右反対に印刷される]
- 146 ページの [印刷が歪むまたは不鮮明になる]
- 146 ページの [同じシート上でイメージが別のイメージと重なる]
- 146 ページの [ペンの設定が適用されない]

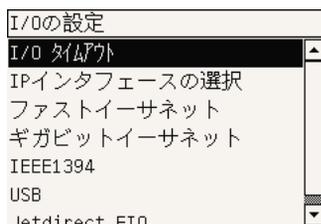
まったく印刷されない

フロントパネルのグラフィック言語の設定が **[自動]** (デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は **[PostScript]**、HP-GL/2ファイルの場合は **[HP-GL/2]** になります (74 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]を参照してください)。次に、再度ファイルを送信します。

この印刷が完了したら、グラフィック言語を **[自動]** に再設定します。

一部しか印刷されない

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、**キャンセル** ボタンを押した可能性があります。押した場合は、データの送信が途中で終了したため、ページを印刷し直す必要があります。
- **[I/Oタイムアウト]** 設定が短すぎる可能性があります。この場合、フロントパネルで、**[I/Oタイムアウト]** 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。  アイコンを選択し、次に **[I/Oの設定] - [I/Oタイムアウト]** を選択します。



- コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある可能性があります。インタフェース ケーブルを確認してください。

- ソフトウェアの設定が現在のページサイズに適しているかどうかを確認してください (長尺印刷など)。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトしていないかどうか確認してください。

イメージの一部が印刷されない

これは通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。

- 取り付けられた用紙サイズの、実際の印刷可能な範囲を確認します。
印刷可能な範囲 = 用紙サイズ - マージン
WindowsのHP-GL/2ドライバでは、[用紙/品質] タブに印刷可能な範囲が表示されます。
- ソフトウェアで認識される印刷可能な範囲 (「印刷領域」または「印刷可能領域」と呼ばれることもあります) を確認してください。たとえば、ソフトウェア アプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- 非常に長いイメージをロール紙に印刷する場合は、ソフトウェアがそのサイズのイメージを印刷できるかどうか確認します。
- 用紙の方向が、ソフトウェアで想定されている方向と同じかどうかを確認します。フロントパネルの **[印刷デフォルトメニュー]** - **[用紙オプション]** - **[回転]** オプションを選択すると、印刷の方向とページの向きを変更できます。ロール紙で回転されたイメージは、正しいページサイズを保持するために、一部が印刷されない可能性があります。
- 幅が足りない用紙サイズの場合、縦置きから横置きにページを回転するように求めるメッセージが表示されることもあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアの印刷可能な範囲を変更します。

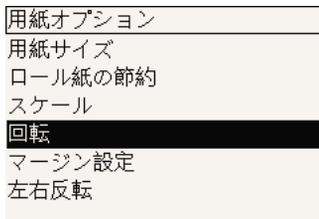
イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAWなどのアプリケーションは、16ビットの内部座標系を使用するため、32,768ピクセルを超えるイメージを処理できません。これらのアプリケーションで、これより大きいイメージを印刷しようとする、イメージの下部が印刷されません。この場合、イメージ全体を印刷するには、イメージ全体が32,768ピクセルより少なくなるように、解像度を下げるしかありません。HP-GL/2プリンタドライバには、**[16ビットアプリケーションとの互換性]** というオプションがあり、このようなイメージの解像度を自動的に下げることができます。このオプションは、ドライバの **[サービス]** タブの **[ソフトウェアのトラブルシューティング]** ボタンをクリックすると表示されます。

イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される

- アプリケーションで選択したページサイズが小さすぎる可能性があります。
- イメージがページの一部であるとアプリケーションで認識されている可能性があります。

イメージが誤った向きに回転される

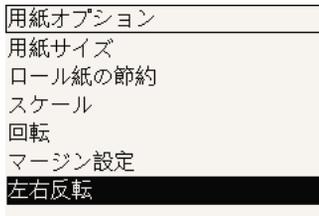
フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー]-[用紙オプション]-[回転] を選択して、設定が正しいかどうかを確認してください。



PostScript以外のファイル：[ネスティング]が[オン]になっている場合、用紙を節約するためにページが自動的に回転することがあります。詳細は、70 ページの [イメージを回転するには]を参照してください。

イメージが左右反対に印刷される

フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー]-[用紙オプション]-[左右反転] を選択して、設定が正しいかどうかを確認してください。

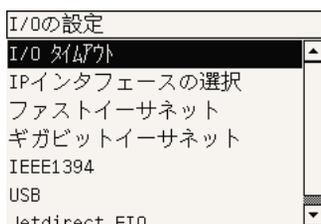


印刷が歪むまたは不鮮明になる

- プリンタをネットワーク (またはコンピュータ) に接続しているインタフェース ケーブルに問題が発生した可能性があります。ケーブルを変えて試してみます。
- フロントパネルのグラフィック言語の設定が **[自動]** (デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は **[PostScript]**、HP-GL/2ファイルの場合は **[HP-GL/2]** になります (74 ページの **[グラフィック言語の設定を変更するには]** を参照してください)。次に、再度ファイルを送信します。
- プリンタで使用しているソフトウェア、ドライバ、およびRIPによっては、この問題を解決する方法があります。詳細については、販売元のマニュアルを参照してください。

同じシート上でイメージが別のイメージと重なる

[I/Oタイムアウト] 設定が長すぎる可能性があります。フロントパネルで設定を小さくして、印刷し直してください。☰ アイコンを選択し、次に **[I/Oの設定]** - **[I/Oタイムアウト]** を選択します。



ペンの設定が適用されない

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- ☰ アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルトメニュー]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[パレットの定義]** を選択してフロントパネルの設定を変更したが、**[印刷デフォルトメニュー]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[パレット]** を選択していない場合が考えられます。
- ソフトウェアによるペンの自動設定を有効にする場合は、フロントパネルで ☰ アイコンを選択し、次に **[印刷デフォルトメニュー]** - **[HP-GL/2の設定]** - **[パレット]** を選択して、**[ソフトウェア]** に設定する必要があります。

13 インク システムの問題

- 147 ページの [インクカートリッジを取り付けられない]
- 147 ページの [プリントヘッドを取り付けられない]
- 147 ページの [プリントヘッド クリーナを取り付けられない]
- 148 ページの [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される]
- 148 ページの [インクカートリッジのステータス メッセージが表示される]
- 148 ページの [プリントヘッドのステータス メッセージが表示される]
- 149 ページの [プリントヘッド クリーナのステータス メッセージが表示される]

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認してください。
2. カートリッジのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか (色のラベルが上になっているか) を確認します。

 **注意** インクカートリッジ スロットの内部はクリーニングをしないでください。

プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうか確認します。
2. プrintヘッドから、青の保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がしたかどうかを確認します。
3. プrintヘッドのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
4. プrintヘッドの向きが正しいかどうか (他のPrintヘッドと比較して) を確認します。
5. プrintヘッドのカバーを閉じて、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

プリントヘッド クリーナを取り付けられない

1. 正しいクリーナ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. クリーナのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
3. クリーナの向きが正しいかどうか (他のクリーナと比較して) を確認します。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プリントヘッドを取り外し、保護フィルムが剥がされていることを確認します。
2. プリントヘッドとキャリッジ間の電極部分のクリーニングを行ってみます。詳細は、50 ページの [プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには] を参照してください。
3. プリントヘッドをキャリッジに取り付け直して、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

インクカートリッジのステータス メッセージが表示される

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- [完了です]: カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- [インクカートリッジがありません。インクカートリッジを取り付けて下さい。]: カートリッジが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- [カートリッジのインク残量が僅かです。]: インクの残量が少なくなっています。
- [カートリッジのインク残量が僅かです。]: インクの残量がきわめて少なくなっています。
- [インクがありません]: カートリッジが空です。
- [インクカートリッジエラー: 再度取付けて下さい]: カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。
- [交換して下さい]: カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、新しいカートリッジと交換してください。
- [変更済み]: インクの補充などカートリッジのステータスに予期しないことが起こりました。

プリントヘッドのステータス メッセージが表示される

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- [完了です]: プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- [プリントヘッドエラー: 取り付けられていません]: プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- [再度取り付けして下さい]: フロントパネルでプリントヘッドを取り外す処理を行う (43 ページの [プリントヘッドを取り外すには] を参照) ように推

奨められますが、プリントヘッドは取り外さずに、フロントパネルの **選択 (チェックマーク)** ボタンを押してください。

- [プリントヘッドエラー：交換して下さい]：プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングしてください。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換してください。
- [取り外して下さい]：このプリントヘッドは印刷用途に適していません (付属のプリントヘッドなど)。

プリントヘッドクリーナのステータスメッセージが表示される

表示されるプリントヘッドクリーナのステータスメッセージには、以下のものがあります。

- [完了です]：クリーナは問題なく正常に動作しています。
- [クリーナーエラー：取り付けられていません]：クリーナが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- [再度取付けて下さい]：クリーナをいったん取り外して、取り付け直してください。
- [正しく取り付けられていません]：クリーナが間違った位置に取り付けられています。
- [寿命です]：クリーナが寿命になりました。
- [プリントヘッドは交換されていません]：新しいプリントヘッドを取り付けた際、付属の新しいクリーナが取り付けられていません。

プリントヘッドクリーナを取り外すか取り付け直す必要がある場合は、プリントヘッドを交換する処理を行う必要があります (43 ページの [プリントヘッドを取り外すには]を参照してください)。フロントパネルに指示が表示されたら、ウィンドウを開きます。フロントパネルに表示されるプリントヘッドに点滅しているものが1つもない場合は、プリントヘッドを交換する必要はありません。ウィンドウを閉じると、プリントヘッドクリーナを交換する処理が開始されます。

14 用紙の問題

- 151 ページの [用紙が正しく取り付けられない]
- 153 ページの [紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)]
- 156 ページの [印刷物が用紙スタッカに正しく積み重ねられない]
- 156 ページの [プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される]

用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が斜めに取り付けられていることがあります。用紙の右端が、プラテンの右端にある半円に揃えられているかどうかを確認してください。特に、カット紙の場合には、先端がプラテンの金属バーに揃えられているかどうかを確認してください。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

ロール紙

- プラテンへの用紙経路で紙詰まりが発生した場合は、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れているため、用紙を整える必要がある場合があります。ロール紙の先端の2cm (1インチ) を切り取って、再度試してください。新しいロール紙の場合でも、この処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。右側のスピンドル レバーは、水平になっている必要があります。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロールが手前になっているかどうかを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られているかどうかを確認します。

カット紙

- カット紙の先端がプラテンのカッターの溝に揃っているかどうかを確認します。
- 手で切った用紙は使用しないでください。形が揃わなくなります。購入したカット紙のみを使用してください。

用紙の取り付けに関連するフロントパネルメッセージと、推奨する補正処理の一覧を以下に示します。

フロントパネルメッセージ	推奨する処理
ロール紙の右端が取り付け線から離れています。	ロール紙が正しく取り付けられていないか、右端がプラテンの半円に合っていないか、 選択(チェックマーク) ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
カット紙の右端が取り付け線から離れています。	カット紙が正しく取り付けられていないか、右端がプラテンの取り付け線に合っていない。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、カット紙を取り付け直してください。
右端が見つかりません。	用紙の右端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
カット紙の端が見つかりません。	カット紙の端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、カット紙を取り付け直してください。
ロール紙の端が見つかりません	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。 選択(チェックマーク) ボタンを押して再試行してください。
取り付けた用紙にスキューが多すぎます。	用紙の取り付け中に、用紙のスキュー (歪み) が多すぎることが検出されました。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、用紙を取り付け直してください。
用紙が小さすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が短すぎると検出されたため、プリンタに取り付けることができません。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「プリンタ機能の仕様について」を参照してください。
用紙が大きすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が長すぎると検出されたため、正しく取り付けることができません (カット紙のみ)。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「プリンタ機能の仕様について」を参照してください。
カット紙が長すぎます。	用紙の取り付け中に、カット紙が長すぎると検出されたため、正しく取り付けることができません。ロール紙ではなくカット紙として認識されていることを確認します。 選択(チェ

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
	ックマーク) ボタンを押して、用紙を取り付け直してください。詳細は、[ユーザーズ ガイド]の「プリンタ機能の仕様について」を参照してください。
レバーが上がっています。	用紙の取り付け中に、用紙取り付けレバーが上がっていました。この状態では、プリンタに用紙を取り付けることができません。選択(チェックマーク) ボタンを押して、用紙を取り付け直してください。

紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)

紙詰まりが発生した場合、通常は[紙詰まりの可能性があります]というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、次の2つのエラーコードのいずれかが表示されます。

- 「81:01」が表示された場合は、用紙がプリンタに送られていません。
- 「86:01」が表示された場合は、プリントヘッド キャリッジが左右に移動できません。



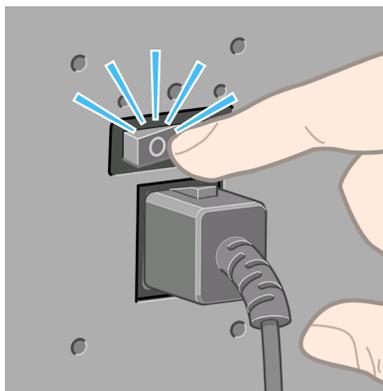
81:01

紙詰まりの可能性があります

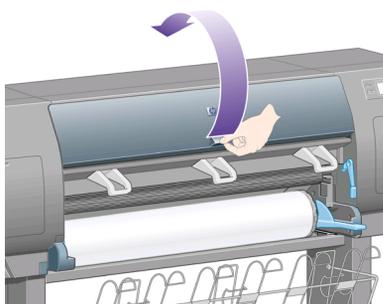
✓を押して、用紙詰まりの解決方法を確認します

プリントヘッドの給紙経路を確認する

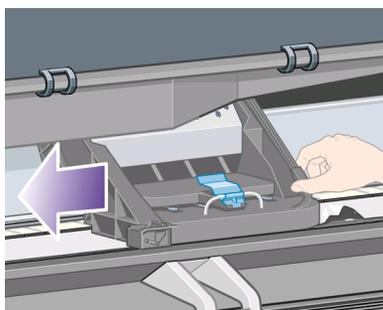
1. 背面のスイッチを押して、プリンタの電源を切ります。



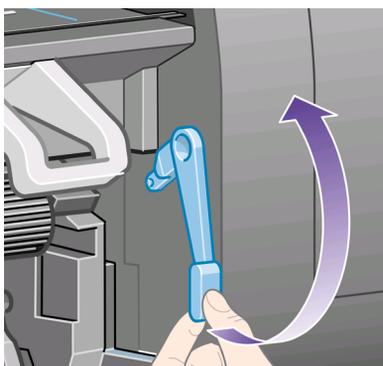
2. ウィンドウを開きます。



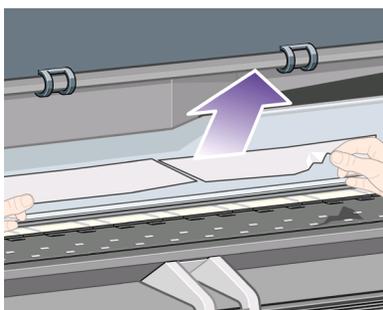
3. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動してみます。



4. 用紙取り付けレバーを上がるまで持ち上げます。



5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。



6. 残りのロール紙またはカット紙をプリンタから慎重に引き出します。
7. プリンタの電源を入れます。
8. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます。詳細は、22 ページの [ロール紙をプリンタに取り付けるには] または 28 ページの [カット紙を取り付けるには] を参照してください。
9. プリンタ内の障害物が原因で詰まった用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができる場合があります。
10. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。詳細は、56 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには] を参照してください。

用紙経路を確認する

- この問題は、ロール紙が終了したときに、ロール紙の端が厚紙の芯に張り付いている場合に発生します。この場合は、ロール紙の端を芯から切り取ってください。プリンタに用紙を給紙できるようにしてから、新しいロール紙を取り付けます。
- それ以外の場合は、前述の 153 ページの [プリントヘッドの給紙経路を確認する] を参照してください。

印刷物が用紙スタックに正しく積み重ねられない

- 小さいカット紙に印刷する場合は、3つのループ ストップを持ち上げます。
- 用紙はロールの端でカールすることが多いため、積み重ねの問題が発生します。新しいロールを取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。
- 異なるサイズの印刷物が混じっていたり、ネスティングしている場合、スタックに複数のサイズの用紙が積み重ねられるため、問題が発生することがあります。

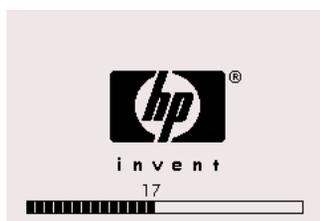
プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される

プリントヘッドの軸合わせを正しく行うため、軸合わせ処理が開始される前に、最大3m (≒10フィート) の用紙が排出される場合があります。これは、正常な動作ですので、中断したり停止したりしないでください。詳細は、56 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには] を参照してください。

15 その他の問題

- 157 ページの [プリンタのスタートアップが完了しない]
- 158 ページの [フロントパネルにメッセージが表示される]
- 161 ページの [「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示される]
- 162 ページの [「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表示される]
- 162 ページの [プリンタで印刷ができない]
- 163 ページの [印刷ジョブがタイムアウトまで待機している]
- 163 ページの [プリンタの印刷が遅い]
- 164 ページの [コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある]
- 165 ページの [ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない]
- 165 ページの [メモリ不足エラーが発生する]
- 166 ページの [AutoCAD 2000でメモリ アロケーション エラーが発生する]
- 166 ページの [プラテン ローラーからきしみ音がする]

プリンタのスタートアップが完了しない



フロントパネルの表示が17の状態ではプリンタのスタートアップが停止する場合は、プリンタのハードディスクのファイルシステムに問題があり、ファイルシステム全体の確認と、必要な修正が行われていることを示します。この問題は、プリンタの電源が入っている状態で電力の供給が停止した場合、またはプリンタのハードディスクに物理的な問題が起こった場合に発生します。

ファイルシステム全体の確認には、通常約30分かかります。この処理速度を速めることはできません。途中でプリンタの電源を切ると、再び電源を入れたときに、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

電力の供給が停止していないのに、この問題が繰り返し発生する場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

フロントパネルにメッセージが表示される

フロントパネルには、プリンタの使用続行の許可、続行する前に必要な処理の指示など、さまざまなメッセージが表示されます。

- 注意が必要な状況が検出された場合、メッセージが表示されてその情報が通知されます。メッセージには、品質が低下している状態やプリンタの保守の必要性を通知するものもあります。メッセージを確認したら、**選択(チェックマーク)** ボタンを押すと表示が消去され、引き続きプリンタを使用することができます。
- プリンタでエラーが発生した場合、エラーコードと短いメッセージがフロントパネルに表示されます。以下の表は、このようなエラー状態から回復するために推奨する処理をまとめたものです。

コード	メッセージ	推奨する処理
13:01	すべてのカートリッジを再度取り付け下さい	すべてのプリントカートリッジを取り外して、取り付け直します。詳細については、37 ページの [インクカートリッジを取り外すには] および 41 ページの [インクカートリッジを取り付けるには] を参照)、またはその両方を実行してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
26.0:01	イエローのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	イエローのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、37 ページの [インクカートリッジを取り外すには] および 41 ページの [インクカートリッジを取り付けるには] を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
26.1:01	マゼンタのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	マゼンタのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、37 ページの [インクカートリッジを取り外すには] および 41 ページの [インクカートリッジを取り付けるには] を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
26.2:01	黒のインクカートリッジを再度取り付けて下さい	黒のカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細につい

(続き)

コード	メッセージ	推奨する処理
		ては、37 ページの [インクカートリッジを取り外すには] および 41 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。
26.3:01	シアンのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	シアンのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、37 ページの [インクカートリッジを取り外すには] および 41 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。
27:03	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	プリントヘッドの検出時にエラーが発生しました。すべてのプリントヘッドを取り付け直してください。詳細については、43 ページの [プリントヘッドを取り外すには] および 47 ページの [プリントヘッドを取り付けるには] および 12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照)、またはその両方を実行してください。問題が解決しない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。
61:01	ファイルフォーマットが間違っています。プリンタがジョブを処理できません。	ファイルフォーマットが間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。プリンタのグラフィック言語設定を確認してください (詳細は、74 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]を参照してください)。Mac OS環境でUSB接続を使用してPostScriptを送信している場合、ドライバおよびアプリケーションの両方でASCIIエンコードを選択してください。また、最新リリースのファームウェアとドライバであることを確認してください。

(続き)

コード	メッセージ	推奨する処理
61:04.1	ソフトウェア (ファームウェア) をアップデートします	プリンタに最新のバージョンがインストールされている場合でも、アップデート処理を繰り返して、このエラーを解決することができるか試してみることをお勧めします。詳細は、111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには] を参照してください。
61:08.1	パスワードで保護されたファイルは印刷できません。	このファイルのパスワードを外してプリンタに送信し直してください。
62:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	パラレルポートでエラーが検出されました。詳細は、12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
63:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	LANポートでエラーが検出されました。詳細は、12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
64:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	USBポートでエラーが検出されました。詳細は、12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
66:08	用紙の種類が変更されているため、ジョブを再送信してください	ジョブが送信された後に用紙の種類が変更されました。取り付けられている用紙にジョブを印刷できません。ジョブを送信し直すか、用紙を変更してください。
71:03	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	メモリ不足によるエラーです。内蔵 Webサーバを使用して、ハードディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。詳細は、

(続き)

コード	メッセージ	推奨する処理
		12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照してください。
76:03	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	ハードディスクに空き容量がありません。問題が解決しない場合は、内蔵Webサーバを使用して、ハードディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。詳細は、12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照してください。
77:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	内蔵Webサーバが動作していないと考えられます。詳細は、12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照してください。問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
81:01	紙詰まりの可能性がります	詳細は、153 ページの [紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)] を参照、またはその両方を実行してください。
86:01	紙詰まりの可能性がります	詳細は、153 ページの [紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)] を参照してください。

プリンタのフロントパネルに、上記以外のエラーコードが表示されている場合は、プリンタを再起動するか (12 ページの [プリンタを再起動するには] を参照)、ファームウェアとドライバが最新バージョンであることを確認するか (111 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには] を参照)、またはその両方を実行してください。問題が解決しない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。

「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示される

これは、エラーメッセージではありません。このメッセージは、[プリントヘッドのモニタ] オプションが [強化] に設定されている場合に表示されます。設定を [最適化] に変更すると、メッセージは表示されません。詳細

は、50 ページの [プリントヘッドのモニタ状況を管理するには]を参照してください。

「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表示される

このメッセージは、プリンタが最適に機能していないプリントヘッドの存在を検出し、品質を維持するために特別なパスを作成する必要がある場合に、印刷中のフロントパネルに表示されます。このメッセージを消去するには、以下のいずれかを選択します。

- 印刷品質のレベルを上げます。詳細は、65 ページの [印刷品質を変更するには]を参照してください。
- プrintヘッドをクリーニングします。詳細は、50 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには]を参照してください。
- イメージ診断印刷を使用して、問題の原因になっているプリントヘッドを特定します。詳細は、113 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]を参照してください。

プリンタで印刷ができない

次のような原因が考えられます。詳細は、163 ページの [印刷ジョブがタイムアウトまで待機している]を参照してください。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。詳細は、74 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認します。詳細は、セットアップ手順を参照してください。
- Mac OS環境でFireWireまたはUSB接続を使用している場合、データ エンコードの変更が必要な場合があります。  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [PostScriptの設定] - [エンコード] - [ASCII] の順に選択します。ASCIIデータを送信するようにアプリケーションを設定します。

印刷ジョブがタイムアウトまで待機している

すべての手順を正しい順序で実行しても (用紙およびインク コンポーネントを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 印刷ファイルに適切なファイルの終了コマンドがないため、プリンタが印刷が完了するまで、指定のI/Oタイムアウトまで待機しています。
Mac OS環境でFireWireまたはUSB接続を使用している場合、 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルト メニュー] - [PostScriptの設定] - [エンコード] - [ASCII] の順に選択します。ASCIIデータを送信するようにアプリケーションを設定します。
- ネスティングがオンになっているため、適切なネスティングを計算する前に、指定のネスティング待ちのタイムアウトまで待機しています。この場合、プリンタには、ネスティングのタイムアウトまでの残り時間が表示されます。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューはWebブラウザのウィンドウに表示されるため、ボタンをクリックして、印刷を開始する必要があります。

プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を [高品質(最高画質)] に設定している場合。[高品質(最高画質)] の場合は印刷に時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、34 ページの [用紙に関する情報を表示するには] を参照してください。
- プリンタをMacintoshコンピュータのAppleTalkシリアル ポートに接続している場合。通常、AppleTalkポートを使用している場合は印刷が遅くなります。EtherTalkインタフェースを使用して、プリンタとMacintoshコンピュータを接続してみてください。
- プリンタをネットワーク経由で接続している場合。ネットワーク上のすべてのコンポーネント (ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル) が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を [長い] に設定している場合。[最適] に変更してみてください。詳細は、[ユーザズ ガイド] の「乾燥時間について」を参照してください。
- プリントヘッドの状態が悪い場合。プリントヘッドに問題があると、印刷品質を維持するために印刷速度は遅くなります。フロントパネルまた

は内蔵Webサーバでプリントヘッドのステータスを確認し、必要に応じてプリントヘッドを修理するか交換してください。

- イメージにインク濃度の高い黒い領域がある場合。このような領域があると、品質を維持するため、一時的に遅い印刷品質オプションに切り替わることがあります。

コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに「受信中です」というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラーメッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかが「ハング」している(アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題の解決するには、以下の手順に従います。

- ソフトウェアで正しいプリンタを選択していることを確認します。
- 他のソフトウェアで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタがネットワークに接続されている場合は、FireWire(IEEE1394)ケーブルまたはUSBケーブルでプリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチボックス、バッファボックス、ケーブルアダプタ、ケーブルコンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェースケーブルを別のものに変えて試してみます。サポートされているケーブルについての詳細は、「インタフェース仕様」を参照してください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。詳細は、74 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには] を参照してください。

ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない

まだ目を通していない場合は、まず 13 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]を参照してください。

- 内蔵Webサーバにパスワードを設定し、そのパスワードを忘れてしまった場合は、 アイコンを選択し、[設定メニュー]-[内蔵Webサーバのパスワードをリセット]を選択します。
- プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー]-[内蔵Webサーバを使用]を選択します。このオプションがオフになっている場合は、オンにします。
- プリンタとの接続がTCP/IP (ネットワークまたはIEEE1394)であることを確認します。USBケーブルでプリンタに直接接続している場合は、内蔵Webサーバは使用できません。
- IEEE1394接続を使用している場合、コンピュータのオペレーティングシステムが「IP over IEEE-1394 (FireWire)」に対応していることを確認します。たとえば、Windows XPおよびWindows 2003 Serverは「IP over FireWire」に対応していますが、Windows 2000は対応していません。Mac OS X 10.3も「IP over FireWire」に対応しています (13 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]を参照してください)。オペレーティングシステムが「IP over FireWire」を使用する設定になっていることを確認してください。
- プリンタのフロントパネルで、使用している接続に対してIPが有効になっていることを確認します。 アイコンを選択し、次に [I/O の設定] を選択します。使用している接続の種類を選択して、[IP 有効] が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の種類の接続を選択する必要があります。
- プロキシサーバ経由でWebにアクセスしている場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵Webサーバに直接アクセスします。直接アクセスするには、ブラウザの設定を変更します。
たとえば、Windows版のInternet Explorer 6を使用している場合は、[ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LANの設定]をクリックし、[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない]ボックスをオフにします。さらに高度な設定を行うには、[詳細設定] タブをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスを [例外]の一覧に追加します。
- フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、また入れ直します。

メモリ不足エラーが発生する

コンピュータでのファイルサイズと、そのファイルの印刷にプリンタで必要となるメモリ量には、直接の関係はありません。実際には、ファイル圧縮などのさまざまな要因があるため、必要なメモリ量を推定することは困難で

す。したがって、大きいファイルを以前に印刷できたとしても、メモリ不足のために印刷できないという可能性もあります。このような場合には、プリンタに対してメモリの追加が必要な場合もあります。

Windows HP-GL/2ドライバを使用している場合は、プリンタのメモリの問題を解決する方法として、[サービス] タブを選択し、[ソフトウェアのトラブルシューティング]-[ビットマップとしてジョブを送信 (コンピュータで処理)] を選択します。

 **注記** このオプションを選択すると、コンピュータでのジョブの処理がかなり長くなる場合があります。

AutoCAD 2000でメモリ アロケーション エラーが発生する

プリンタ ドライバのインストール後、AutoCAD 2000から最初に印刷しようとする時、[メモリ アロケーション エラー]を示すメッセージが表示され、イメージが印刷されない場合があります。

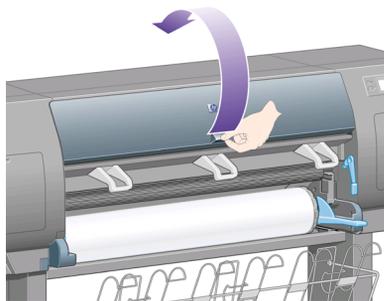
この問題の原因は、AutoCAD 2000です。この問題を解決するには、Plotting アップデート パッチ ([plotupdate.exe]) を、AutodeskのWebサイトである <http://www.autodesk.co.jp/> からダウンロードします。

このパッチは、AutoCAD 2000での印刷に関してその他の問題がある場合に、解決に役立つ可能性があります。

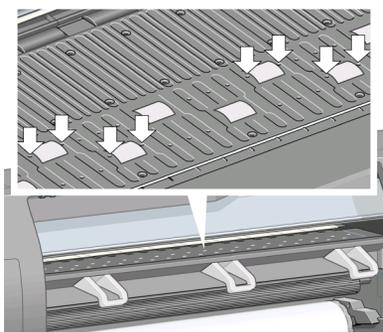
プラテン ローラーからきしみ音がする

プラテン ローラーには、ときどきオイルをさして潤滑する必要があります。プリンタに付属のメンテナンス キットには、製品に適したオイル1本が含まれています。

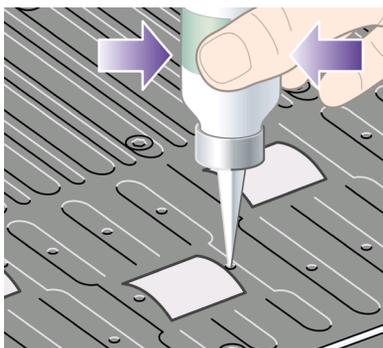
1. ウィンドウを開きます。



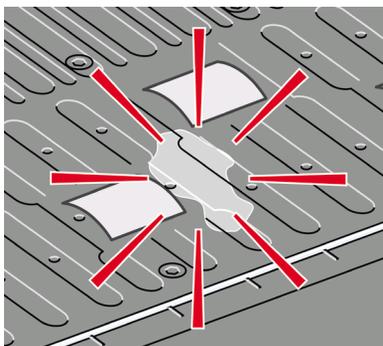
2. ローラーの横にあるプラテンに、小さい穴があります。



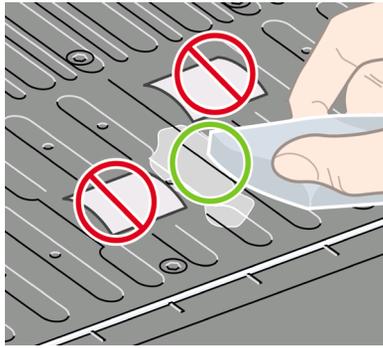
メンテナンス キット付属のオイルの容器を持ち、容器の先端を穴に差し込んで、オイルを3滴さします。



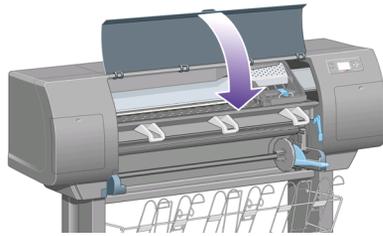
3. プラテンにある他の穴にも同じ手順を繰り返し、すべての穴にオイルを3滴ずつさします。
4. オイルがプラテンにこぼれないように注意してください。



5. こぼれてしまった場合は、キットに付属の布で拭き取ってください。



6. ウィンドウを閉じます。



16 法律情報

- 169 ページの [全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000プリンタ シリーズ]
- 173 ページの [Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書]
- 174 ページの [オープン ソースについて]
- 175 ページの [規格適合情報]
- 178 ページの [適合宣言(DECLARATION OF CONFORMITY)]

全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000プリンタ シリーズ

HP製品	無償保証期間
プリンタおよび関連HPハードウェア	1年間 (お客様の新規購入日から、ただし中古機を除く。)
ソフトウェア	90日間 (お客様の新規購入日から、ただし中古機を除く。)
プリントヘッド	製品に印刷されている「保証期限日」に達するまで、あるいはプリントヘッドで1000cm ³ のHPインクを使い切るまでの、いずれか先に到達したとき。
インクカートリッジ	HPインクを消費するまで、または製品に印刷されている「保証期限日」に達するまでの、いずれか先に到達したとき。

A. HP無償保証の範囲、内容および条件

1. このHewlett-Packard (HP) 無償保証は、本製品の製造者であるHP (以下「弊社」とします) が、明示的な無償保証の権利をお客様に供与するものです。これに加え、お客様は、居住地域の適用法または弊社との特別な書面による合意に基づく、その他の法的権利を有します。
2. 弊社は、上記のHP製品について、上記に定める無償保証期間中、部品および製造上の理由により不具合が発生した場合に、無償で保証いたします。無償保証期間の開始日は、購入日になります。お手元にある日付の入った領収書または納品受領証など、本製品のご購入日が記載された書類が、ご購入日の証明書となります。保証サービスを受ける際には、ご購入日を証明する書類の提出が必要となる場合があります。お客様は、

無償保証期間内に上記HP製品の修理または交換が必要になった場合、本文書の条項に基づき保証サービスを受けることができます。

3. ソフトウェア製品について、弊社の無償保証は、プログラム命令が実行されない欠陥に対してのみ適用されます。弊社はいかなるソフトウェア製品についても、動作の中断について、あるいはエラーが発生しないという保証はいたしません。
4. 弊社の無償保証は、製品を通常の用法に従って使用した結果発生した不具合に対してのみ適用されます。以下のような場合には適用されません。
 - a. お客様の不適切または不十分な保守による場合。
 - b. 弊社が提供またはサポートしていないソフトウェア、インタフェース、メディア、サプライ品を使用した場合。
 - c. 製品仕様または本マニュアルの記載の範囲外での製品操作に起因する場合。

クリーニング サービス、保守メンテナンス サービス (保守メンテナンスキットに含まれる部品、および弊社サービス エンジニアによる作業を含む) など、HP Designjet 4000 シリーズの日常的なプリンタ保守作業は、無償保証の対象になりません。ただし、地域によっては、別途締結したサポート契約によってこのようなサービスを受けることができます。

5. 故障、変化、またはデータの喪失に備え、本プリンタのハードディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたデータのバックアップコピーを定期的に作成してください。サービスを受けるために本製品のユニットを弊社に送付する場合、必ず事前にデータのバックアップを作成し、機密情報、社外秘情報、個人情報などは削除しておいてください。弊社は、本プリンタのハードディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたいかなるファイルまたはデータの破損または喪失に対しても責任を負いません。また、弊社は、喪失したファイルまたはデータの復元も行いません。
6. HPプリンタ製品について、補充用またはその後ご購入頂いたHPサプライ品 (インク、プリントヘッド、インクカートリッジ) を使用頂いても、お客様へのHP無償保証またはお客様とのHPサポート契約には影響いたしません。ただし、HP製品以外のインクカートリッジ、またはHP製品以外の補充用のインクカートリッジその他HP製品以外のサプライ品の使用によるプリンタの故障や破損については、無償保証の範囲外とし、修理に必要なとされる技術者派遣費、技術費および、材料費を請求させていただきます。
7. HP製品の不具合に対して適用される救済措置は、以下に限定されます。
 - a. 無償保証期間中、この無償保証の対象となるHPソフトウェア、メディア、または消耗品について、不具合のあるものを回収し、それに代わる別の製品をお届けします。
 - b. 無償保証期間中、弊社独自の判断に基づき、不具合のあるハードウェア製品またはコンポーネント部品を、技術者を派遣して修理するか、または交換します。コンポーネント部品の交換が必要と弊社が判断した場合、お客様に対し、(i) 不具合のある部品と引き換えに交

換部品を提供し、(ii) 必要に応じて電話等による部品取り付けのサポートを行います。

- c. 万一、この無償保証の対象となっている不具合のある製品の修理または交換に対応ができない場合は、不具合の通知を受けてからしかるべき期間内に、製品の購入代金を返金いたします。
8. お客様から故障した製品またはコンポーネント部品を弊社にご返却いただくまで、弊社には交換または返金の義務はありません。この無償保証による交換によって返却されたコンポーネント、部品、またはハードウェア製品は、弊社の所有物となります。上記の内容にかかわらず、弊社は、故障した部品の返却をお客様に要求しない場合もあります。弊社は、ソフトウェア、メディア、消耗品等の代替品のお届け、または製品もしくはコンポーネント部品の修理、交換、またはその他のサポート等の正確な実施時期についてお約束することはできません。お客様からこれらの実施時期のご指定があった場合にも、当該ご指定の時期にこれらのサポート等が実施できないことについて、弊社はいかなる責任も負いません。
9. 特に明記しない限り、地域の法律の定める範囲内において、パフォーマンスと信頼性の向上のため、同種類の製品について、新しい材料、または新しい材料と同等な使用済み材料を使用して製造する場合があります。弊社は、製品の修理または交換を行う際、(i) 修理または交換の対象となる製品と同等の製品またはその材料を使用しますが、再利用品になる場合があります。または、(ii) 元の製品が生産中止になっている場合、元の製品と同等の製品またはその材料を使用します。
10. この無償保証は、本文書に記載された条項に基づき、すべての国/地域に対して適用され、弊社または弊社認定のサービス プロバイダが保証サービスを提供し、弊社が本製品を販売したあらゆる国において実施されます。ただし、保証サービスの有効性と応答時間は、国/地域により異なる場合があります。弊社では、法律上または規制により、動作を想定していない国/地域で製品を動作させるために、弊社製品の形状、適合性、または機能を変更することはありません。
11. 本文書に記載されている弊社製品が、弊社または正規輸入業者によって提供されている地域では、弊社認定のサービス部門に対して、その他のサービス契約が適用される場合があります。
12. 法律の定める範囲において、この無償保証に明示的に規定される場合を除き、弊社および弊社指定の協力会社は、弊社の製品およびサービスに関して、上記以外のいかなる保証も、債務の負担もいたしません。弊社は、市場性、品質、特定目的に関する整合性について、いかなる保証も債務の負担もいたしません。

B. 責任の制限

法律の定める範囲において、この無償保証で特に明記されている責任を除き、契約、不法行為、その他の法的原因に基づいているか否かに関わらず、またそうした損害の可能性を予期または報告していたか否かに関わらず、弊社または弊社指定の協力会社は、直接的、間接的、偶発的または必然的な損

害、および通常のまたは特別な事情による損害その他一切の損害(収益または資金の損失を含む)に対していかなる責任も負いません。

C. 国/地域別の法律

1. この無償保証は、特定の法的権利をお客様に与えるものです。その他の権利は、米国とカナダでは州によって、またはその他の国/地域ではその国/地域によって異なる可能性があります。お客様が有するその他の権利については、国/地域の法律をご確認ください。
2. この無償保証の一部が特定の国/地域の法律と一致していない場合は、その国/地域の法律に合致するよう修正されます。当該国/地域の法律上許されていない場合を除き、本保証の条件は除外、制限、または変更されません。さらに、本保証の条件は、当該国/地域のお客様へのHP製品の販売に適用される、当該国/地域の法律の定める範囲内で法的拘束力のある権利義務となります。

改訂：2004年8月1日

Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書

注意：本ソフトウェアの使用にあたり、お客様は、以下に記載するHPソフトウェア使用許諾条件に従うものとします。本ソフトウェアを使用することによって、お客様はこれらの使用許諾条件に同意したものとみなされます。お客様がこれらの条件に同意しない場合であって、本ソフトウェアの購入金額の払い戻しを受けるためには、本ソフトウェアをご返却していただく必要があります。また、本ソフトウェアが他の製品と共に提供されている場合は、払い戻しのために、当該製品全てを未使用でご返却していただく場合があります。

HPソフトウェア使用許諾条件

HPと別途契約を締結しない限り、以下の条件が、HP Designjet 4000プリンタ シリーズのソフトウェアの使用に適用されます。

定義 HP Designjet 4000プリンタ シリーズ ソフトウェアには、HPソフトウェア製品(本ソフトウェア)およびオープンソースソフトウェアコンポーネントが含まれます。

「オープンソースソフトウェア」には、当該ソフトウェアの関連資料に記載されたオープンソース使用許諾契約の条項に基づいて使用許諾されるApache、Tomcat、MySQLおよびomniORBを含むさまざまなオープンソースソフトウェアコンポーネントが含まれますが、これらに限定されません(下記の「オープンソースソフトウェア」の項を参照してください)。

使用許諾 HPは、お客様に、HP Designjet 4000プリンタ シリーズにプレインストールされた本ソフトウェアの複製物ひとつを使用する権利を許諾します。「使用」とは、本ソフトウェアを保管、ロード、実行、または表示する行為をいいます。お客様は、本ソフトウェアの改変、ならびに本ソフトウェアの使用許諾する機能または使用をコントロールする機能を損なうような行為はできません。

所有権 本ソフトウェアの所有権および著作権は、HP、Hewlett-Packard Development Company L.P. または供給元である第三者に帰属します。お客様は、本使用許諾によって、本ソフトウェアに関していかなる権利も所有権も取得しません。本使用許諾条件に違反した場合、本ソフトウェアの供給元である第三者は、当該権利を保護することができます。

複写および翻案 お客様は、保存目的ならびに本ソフトウェアを許諾された範囲内で使用するために複製または翻案が不可欠の手段であるときに限り、本ソフトウェアを複製または翻案することができます。本ソフトウェアに付されたすべての著作権表示は、すべての複製物または翻案物の上に表示されなければなりません。お客様は、本ソフトウェアをいかなる公衆ネットワーク上にも複製できません。

逆アセンブルまたは解読 HPの書面による事前の承諾を取得しない限り、お客様は、本ソフトウェアを逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。ただし、一部の地域の法律によっては、限定的な逆アセンブルまた

は逆コンパイルに対しHPの合意が不要な場合があります。要求された場合、お客様は、逆アSEMBルまたは逆コンパイルについて合理的な範囲の詳細情報をHPに提供しなければなりません。お客様は、本ソフトウェアの使用のために必要でない限り、本ソフトウェアを解読できません。

譲渡 本ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様に対する本使用許諾は自動的に終了します。譲渡時には、お客様は、すべての複製物および関連文書を含めて、本ソフトウェアを譲受人に引き渡さなければならないものとします。また、譲受人は、当該譲受の条件としてHPソフトウェア使用許諾条件を承諾しなければなりません。

解除 本使用許諾条件のいずれかに違反した場合、HPは、通知をもって本使用許諾を終了することができます。当該終了をもって、お客様は、本ソフトウェア、その複製物、翻案物、およびいかなる形態であるかを問わず他の一部として統合されたものすべてを、直ちに破棄しなければなりません。

輸出時の条件 本ソフトウェア、その複製物または翻案物は、適用される法律や規則に違反して輸出または再輸出することはできません。

米国政府の権利制限 本ソフトウェアおよび付属する文書は、全て民間の費用負担により開発されたものです。これらは、DFARS 252.227-7013 (1988年10月)、DFARS 252.211-7015 (1991年5月)、またはDFARS 252.227-7014 (1995年6月) で規定された「商用コンピュータ ソフトウェア」、あるいはFAR 2.101(a) で規定された「商用品目」、あるいはFAR 52.227-19 (1987年6月) (あるいはこれに相当する関連官庁の規定または契約条項) で規定された「制限付きコンピュータ ソフトウェア」のいずれかが適用可能なものとして提供され使用許諾されます。お客様は、適用されるFARまたはDFARS条項、あるいは製品に付属するHP標準ソフトウェア契約によって当該ソフトウェアおよび付属文書に提供される権利のみを付与されるものとします。

オープン ソース ソフトウェア オープン ソース ソフトウェアは個別のソフトウェア コンポーネントから構成され、それぞれのソフトウェア コンポーネントに独立した著作権と使用許諾条件があります。お客様は個別のパッケージに含まれる使用許諾条件を確認し、お客様の権利を理解する必要があります。使用許諾書は、プリンタに同梱の**プリンタの使い方 (Using your printer)**CDの [licenses] フォルダに収録されています。オープン ソース ソフトウェアの著作権は、それぞれの著作権者が保有します。

オープン ソースについて

- 本製品には、Apache Software Foundation社 (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。
- com.oreilly.servletのパッケージに含まれるソース コード、オブジェクトコード、および文書は、Hunter Digital Ventures, LLCによって使用許諾されています。

規格適合情報

プリンタで使用されているインク システムの最新のMaterial Safety Data Sheets (MSDS) を取得するには、次の住所宛にご請求ください。Hewlett-Packard Customer Information Center, 19310 Pruneridge Avenue, Dept. MSDS, Cupertino, CA 95014, U.S.A.

また、次のWebページでもご請求いただけます。http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/psis_inkjet.htm

規制適合モデル番号

適合する規制を識別する目的上、製品には規制適合モデル識別番号が割り当てられています。この製品の規制適合モデル番号はBCLAA-0401です。この規制適合番号は、商品名 (HP Designjet 4000プリンタ シリーズ) または製品番号 (Q1273X、Q1274X、Xは任意の1文字) とは異なるものです。

電磁的両立性 (EMC)



警告 この製品はクラスA製品です。この製品をご家庭で使用する場合は、電波障害が発生する可能性があります。

この場合、ユーザは適切な措置を行うように求められることがあります。

FCCステートメント (米国)

The U.S. Federal Communications Commission (in 47 cfr15.105) has specified that the following notices be brought to the attention of users of this product.

Shielded cables

Use of shielded data cables is required to comply with the Class A limits of Part 15 of the FCC Rules.



注意 Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

Normes de sécurité (カナダ)

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe A prescrites dans le règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.

DOCステートメント (カナダ)

This digital apparatus does not exceed the Class A limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

EMIステートメント (韓国)

사용자 안내문 : A 급 기기

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의 하시기 바라며, 만약 잘못 구입 하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환 하시기 바랍니다.

VCCIクラスA (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コードの安全警告

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMIステートメント (台湾)

警告使用者：這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

EMIステートメント (中国)

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

騒音

Geräuschemission (Germany) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN45635 T. 19.

適合宣言(DECLARATION OF CONFORMITY)

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Supplier's name:	Hewlett-Packard Company
Supplier's address:	Avenida Graells, 501 08174 Sant Cugat del Vallès Barcelona, Spain

declares that the product

Regulatory Model ⁽³⁾ :	BCLAA-0401
Product family:	HP Designjet 4000 Printer series
Product options:	All

conforms to the following product specifications

Safety:	IEC 60950-1:2001 / EN 60950-1:2001
EMC :	CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class A ⁽¹⁾ EN 55024:1998 + A1 EN 61000-3-2:2000 EN 61000-3-3:1995 + A1:2001 FCC Title 47 CFR、 Part 15 Class A ⁽²⁾

Additional information

The product herewith complies with the requirements of the Low-Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC, and carries the CE marking accordingly.

1. The product was tested in a typical configuration with HP Personal Computer systems and peripherals.
2. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 - This device may not cause harmful interference.
 - This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
3. The product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspect of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports;

this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.



Josep-Maria Pujol
Hardware Quality Manager
Sant Cugat del Vallès (Barcelona)
July 9th, 2004

規格適合に関する問い合わせ先

ヨーロッパ : Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140,
D-71034 Böblingen, Germany.

米国 : Hewlett-Packard Company, Corporate Product Regulations Manager,
3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304, USA. Tel: (650) 857 1501

オーストラリア : Hewlett-Packard Australia Ltd, Product Regulations
Manager, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria, 3130, Australia.

索引

A

ArcGIS 95
AutoCAD 95

C

CALS G4 74

H

HP-GL/2 74
HP純正以外の用紙 35

I

InDesign 87

J

JPEG 74

M

Microsoft Office 95

P

PDF 74
Photoshop
 HP-GL/2 & RTLドライバ
 78
 PostScriptドライバ 83
PostScript 74

Q

QuarkXPress 92

T

TIFF 74

い

イメージが小さい 145
イメージの問題
 イメージが小さい 145
 ペンの設定が無効 146
 一部のみ印刷 143
 一部のイメージ 144
 印刷が不鮮明 146
 印刷が歪む 146
 左右反対のイメージ 145

空白のページ 143
誤った向きに回転 145
重なっているイメージ
146

イメージの回転 70
イメージの拡大縮小 71
イメージ診断印刷 113
インク システムのステータ
ス 60
インクカートリッジ
 保守 111
 取り付けられない 147
 取り付ける 41
 取り外す 37
 情報の確認 61

え

エラー メッセージ 158

お

オーバーサイズ用の紙サイズ
68

か

カスタム ページ サイズ 63
カット紙
 取り付ける 28
 取り外す 32
カット紙を取り付ける 28
カット紙を取り外す 32
カラー エミュレーション モー
ド
 選択する 78
カラー キャリブレーション
75
カラー精度
 PANTONE 137
 プリンタ間 139
 一般 137

き

キャリッジの潤滑 110
キャリブレーション
 カラー 75

こ

このガイドの使用方法 5
コンポーネント (プリンタ) 7

さ

ざらつき 131
サポートされている用紙 32

す

スリープ モード待ち時間 16

そ

ソフトウェア 10
ソフトウェア使用許諾 173

た

タイムアウトの待機 163

ね

ネスティング 103

は

バレット
 設定の変更 72

ふ

ファームウェアのアップデー
ト 111
フロントパネル
 エラーメッセージ 158
 コントラスト 16
 単位 17
 言語 13
フロントパネルのコントラス
ト 16
ブザーのオン/オフ 16
プラテン ローラーを潤滑す
る 166
プラテンのクリーニング 107
プリンタ ソフトウェア 10
プリンタで印刷ができない
162
プリンタのクリーニング 107

- プリンタの主なコンポーネント 7
 - プリンタの主な機能 6
 - プリンタの保管 111
 - プリンタの再起動 12
 - プリンタの移動 111
 - プリンタの電源のオン/オフの切り替え 11
 - プリントヘッド
 - クリーニング 50
 - モニタ 50
 - 修復 50
 - 取り付けられない 147
 - 取り付ける 47
 - 取り付け直し、取り付け直し 148
 - 取り外す 43
 - 情報を確認する 62
 - 軸合わせ 56
 - 電極部分のクリーニング 50
 - プリントヘッドクリーナ
 - 取り付けられない 147
 - 取り付ける 59
 - 取り外す 57
 - プリントヘッドの品質低下 162
- へ**
- ペンの設定が無効 146
 - ページサイズ
 - カスタム 63
- ほ**
- ぼやけた線 136
- ま**
- マージン
 - 変更 68
 - 幅なし 68
- め**
- メディア プロファイル
 - ダウンロード 35
 - メディア プロファイルのダウンロード 35
 - メモリエラー 165
 - メモリエラー (AutoCAD) 166
 - メモリ不足エラー 165
- ゆ**
- ゆがんだ線 137
- れ**
- レンダリング用途 77
- ろ**
- ローラーからきしみ音がする 166
 - ローラーの潤滑 166
 - ロール紙
 - スピンドルに取り付ける 19
 - プリンタに取り付ける 22
 - 取り外す 27
 - ロール紙をスピンドルに取り付ける 19
 - ロール紙をプリンタから取り外す 27
 - ロール紙をプリンタに取り付ける 22
- ん**
- 一部のみ印刷 143
 - 一部のイメージ 144
 - 乾燥時間
 - キャンセル 36
 - 変更 36
 - 使用状況
 - インクカートリッジ 61
 - 使用状況に関する情報
 - プリンタの使用状況 62
 - 保証 169
 - 保証に関する注記 62
 - 保証条項 169
 - 内蔵Webサーバ
 - アクセス 13
 - アクセスできない 165
 - インク システムのステータス 60
 - インクと用紙の使用状況 100
 - キューの管理 101
 - ジョブのキャンセル 101
 - ジョブの送信 99
 - ジョブを保存 100
 - パスワード 15
 - プリンタの使用状況に関する情報 62
 - 保存したジョブを印刷 100
 - 言語 15
 - 電子メール アラート 16
 - 印刷が不鮮明 146
 - 印刷が歪む 146
 - 印刷が遅い 163
 - 印刷の向き 69
 - 印刷ジョブ
 - インクの使用状況 100
 - キャンセル 101
 - キューの管理 101
 - ネスティング 103
 - 保存 100
 - 再印刷 100
 - 用紙の使用状況 100
 - 送信 99
 - 印刷品質
 - 変更する 65
 - 選択する 65
 - 印刷品質の問題
 - ざらつき 131
 - ぼやけた線 136
 - ゆがんだ線 137
 - インクがにじむ 136
 - インクが残る 132
 - 一般 127
 - 印刷上部 134
 - 帯状/線状の塗りつぶし 129
 - 帯状のムラ 128
 - 横線 128
 - 段状になった線 134
 - 汚れる 132
 - 用紙が平らになっていない 131
 - 連続していない線 136
 - 間違った色 135
 - 品質の問題
 - 細かい線 129
 - 左右反対のイメージ 145
 - 左右反転 70
 - 情報
 - プリントヘッド 62
 - 推奨する用紙 32
 - 最大速度 67
 - 標高の調整 17
 - 横置き 69
 - 機能 (プリンタ) 6
 - 段状になった線 134

索引

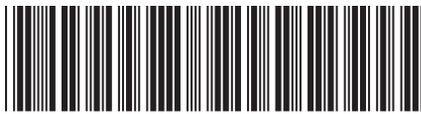
- 汚れる 132
- 法定規格通知 175
- 潤滑、キャリッジ 110
- 用紙
 - HP純正以外 35
 - 印刷の向き 69
 - 取り付けられない 151
 - 情報を表示する 34
- 用紙が平らになっていない 131
- 用紙の取り付けの問題 151
- 用紙の種類
 - サポートされている用紙 32
 - フロントパネルでの表示名 32
 - 推奨する 32
- 用紙を取り付けられない 151
- 用紙スタッカ
 - 積み重ねの問題 156
- 用紙スタッカでの積み重ねの問題 156
- 空白のページ 143
- 紙詰まり 153
- 細い線 129
- 縦置き 69
- 芯アダプタ 20
- 言語 13
- 診断 113
- 誤った向きに回転 145
- 通信の問題 164
- 適合宣言 178
- 重なった線 73
- 重なっているイメージ 146
- 間違った色 135
- 電子メール アラート 16
- 高速出力 67
- 黒点の補正 76



リサイクル用紙
使用

© Hewlett-Packard Company, 2004
011/2004
Q1273-90018

Hewlett-Packard Company
Avenida Graells, 501
08174 Sant Cugat del Vallès
Barcelona
Spain



Q1273-90018

Printed in
Imprimé en
Stampato in